はじめに

スタディサプリ　倫理にようこそ。

この授業は，共通テストや一部の二次・私大を受験する人に，土台となる知識をまんべんなくつけてもらうためのものです。

教科書レベルを欄外も含めて網羅し，25講に分けて解説していきますが，講義内での情報は，あくまでも収録時点のものとなります。

①受講の仕方

予習は必要ありません。学校で習っていなくても関係ありません。復習だけで結構です。

②板書について

基礎〔ベーシック〕を黄，応用〔スタンダード〕を白，発展〔ハイレベル〕を赤で。ただ，授業はあくまでも聞くものだと思うので，極力少なくしています。テキストの空白を多くしてありますのでそこに書きこんでもらえれば十分です。**特別にノートを用意する必要はありません。**

③復習について

理想としては…，**テキストをざっと見直す⇒確認テスト⇒**（教科書・参考書など読み物）**⇒一問一答集⇒過去問など問題演習**というのが一連の流れです。そこに用語集や図説資料などを利用した調べ物を，適宜追加します。ただ，出来るようになれば何でも結構です。

※覚えていないのに問題を解くのですか？　とよく聞かれます。すでに覚えているなら解く必要はないですよね。解いてから覚えるのではなく，解いて，間違えて覚えるのです。

④推薦図書

・読み物系⇒教科書（学校で買ったもの）
・図説資料⇒清水書院・第一学習社・浜島書店など各社
・用語集　⇒山川出版社・清水書院など各社
・一問一答⇒山川出版社・学研など各社

追記：「売れているもの」は市場〔マーケット〕で生き残っているわけですから，信用度は高いです。

楽しい＋自分自身のモチベーションを上げる素敵な科目ですよ！
あとは講義で。

伊藤賀一

目　次

第１講　青年期	p 4
第２講　青年期の自己理解	p 10
第３講　古代ギリシャ思想①	p 16
第４講　古代ギリシャ思想②・ユダヤ教	p 26
第５講　キリスト教	p 32
第６講　イスラーム	p 40
第７講　インド思想と仏教	p 48
第８講　中国思想	p 58
第９講　日本の風土と思想	p 68
第10講　日本仏教の展開	p 74
第11講　日本の近世思想	p 88
第12講　日本の近代思想①	p 102

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第13講	日本の近代思想②・現代思想	p 112
第14講	西洋近代思想の誕生	p 122
第15講	近代の合理的精神	p 132
第16講	社会契約説・啓蒙思想	p 142
第17講	近代市民社会の倫理	p 152
第18講	功利主義	p 158
第19講	社会主義思想	p 168
第20講	実存主義	p 176
第21講	プラグマティズム	p 186
第22講	現代のヒューマニズム	p 192
第23講	現代思想	p 200
第24講	現代社会の諸課題①	p 214
第25講	現代社会の諸課題②	p 226

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第１講　青年期

１　人間とは？

①代表的な定義

A　**ホモ＝サピエンス〔英知人〕⇒リンネ**（スウェーデン）

B　**ホモ＝ファーベル〔工作人〕⇒ベルクソン**（仏）

C　**ホモ＝ルーデンス〔遊戯人〕⇒ホイジンガ**（蘭）

②その他の定義

A　ホモ＝シンボリクス（象徴的動物）⇒カッシーラー（独）

B　裸のサル⇒モリス（英）

C　**「人間はポリス的〔社会的〕動物である」⇒アリストテレス**（ギリシャ）

D　**「人間は考える葦である」⇒パスカル**（仏）

E　その他

ホモ＝レリギオースス（宗教人），ホモ＝エコノミクス（経済人），ホモ＝ロークエンス（言葉を操る人）など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　青年期

①青年期の位置づけ

A　**青年期**⇒近代以降の発想

子どもから大人への準備期間。

※近世までは**通過儀礼〔イニシエーション〕**を経ていきなり大人に。

B　**青年期の延長**

良好な栄養状態により身体機能は早期化（＝**発達加速度現象**）したものの…。

※**マーガレット＝ミード**（米）のサモア諸島での研究。

②青年期の特徴

A　**青年期スパート**

あ　身体的には**第二次性徴**（せいちょう）

い　精神的には**自我のめざめ**

B　**疾風怒濤**（しっぷうどとう）**の時代**⇒シュトゥルム＝ウント＝ドランク（独の文学運動）に由来

孤独感や劣等感〔劣等コンプレックス〕などの不安や緊張を引き起こす不安定な時期。

C　**第二反抗期**

D　**心理的離乳**（りにゅう）⇒**ホリングワース**（米）

E　**第二の誕生**⇒**ルソー**（仏）の教育書『エミール』より

F　**マージナル＝マン〔境界人・周辺人〕**⇒**レヴィン**（独）による青年分析

G　**両面価値的〔アンビヴァレント〕**な部分に悩む

H　**ヤマアラシのジレンマ**⇒フロイト（墺）がショーペンハウアー（独）の寓話（ぐうわ）を引用

③青年期の課題

A　**オルポート**（米）による人格〔パーソナリティ〕の６基準

B　**エリクソン**（米）による８つの発達段階と**発達課題**

人生周期〔ライフサイクル〕という発想。青年期の発達課題は**アイデンティティ〔自我同一性〕**の確立。

※個性化＋社会化に失敗すると，**アイデンティティの危機〔拡散〕**状態に陥る。

C　**ハヴィガースト**（米）による６つの発達段階

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※「モラトリアム〔猶予期間〕人間」用語

A　スチューデント＝アパシー⇒学生の無関心
大学入試後の燃え尽き症候群〔バーンアウト＝シンドローム〕を経て…。

B　**ピーターパン＝シンドローム**⇒永遠の少年
大人になれない男性の心理状態。

C　シンデレラ＝コンプレックス⇒“王子待ち”の妄想女子
依存心が強く自立できない女性の心理状態。

D　パラサイト＝シングル
親の経済力に寄生し，自立できない独身者。

E　フリーター〔フリーアルバイター〕
非正規労働者の代表格。派遣労働者と類似点は多いが，専門技術をもつ自由契約者〔フリーランサー〕とは異なる。

F　**ＮＥＥＴ〔ニート〕**
働かず，就学せず，職業訓練も受けていない状態の若者。イギリスで発生した用語。

G　ＳＮＥＰ〔スネップ〕
未婚無業者のうち，普段一人か，家族以外が周囲にいない状態の人。孤立無業者。

H　青い鳥症候群⇒メーテルリンク（ベルギー）の童話『青い鳥』より
夢や理想ばかりを追い求め，転職を繰り返すような若者。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第１講　倫理確認テスト

1　一般的な「人間」の定義として正しくないものはどれか？

①　直立二足歩行　②　道具や火の使用

③　言語の使用　④　進化をする

2 「人間」の定義を，知恵や理性をもつこととし，ホモ＝サピエンス（英知人）と呼んだスウェーデンの博物学者とは？

①　リンネ　②　ベルグソン

③　ホイジンガ　④　マーガレット＝ミード

3 「人間はポリス的〔社会的〕動物である」と言った，古代ギリシャの哲学者は？

①　ソクラテス　②　プラトン　③　アリストテレス　④　エピクロス

4　成年式，婚礼などの通過儀礼をカタカナで何というか？

①　イニシエーション　②　シュトゥルム＝ウント＝ドランク

③　ライフサイクル　④　アイデンティティ

5　青年期を「心理的離乳」と定義した，アメリカの心理学者とは？

①　マーガレット＝ミード　②　ホリングワース

③　オルポート　④　エリクソン

6　ドイツの心理学者レヴィンは，青年期をどのように定義したか？

①　第二次性徴　②　疾風怒濤の時代

③　第二の誕生　④　マージナル＝マン〔境界人・周辺人〕

7　ドイツ生まれのアメリカの精神分析学者エリクソンは，人の８つの発達段階のうち，青年期の発達課題（＝獲得すべきもの）を何と設定したか？

①　基本的信頼　②　勤勉性

③　アイデンティティ〔自我同一性〕　④　他者との親密性

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

8　アイデンティティの危機〔拡散〕状態の特徴としてふさわしくないものを選べ。

①　自意識過剰　　②　積極的モラトリアム

③　勤勉さの拡散　　④　否定的アイデンティティの選択

9　大人になりきれない男性を，ある戯曲になぞらえて何というか？

①　スチューデント＝アパシー　　②　ピーターパン＝シンドローム

③　シンデレラ＝コンプレックス　　④　青い鳥症候群

10　働かず，就学せず，職業訓練も受けていない状態の若者を何というか？

①　フリーター　　②　ＮＥＥＴ〔ニート〕

③　ＳＮＥＰ〔スネップ〕　　④　浪人生

解答

1	④	2	①	3	③	4	①	5	②
6	④	7	③	8	②	9	②	10	②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第２講　青年期の自己理解

１　欲求・不満・葛藤（かっとう）

①自己実現の欲求

A　**マズロー**（米）の欲求階層説⇒**欲求の５段階説**

人間の欲求を, 欠乏欲求と成長欲求の２つに大別したうえで５段階に分類。

B　欠乏欲求

生理的欲求→安全の欲求→所属と愛情の欲求→承認と自尊心の欲求

C　成長欲求

→自己実現の欲求

②自己への不満

A　**劣等（れっとう）コンプレックス**

アドラー（墺）は, 人は必ず**劣等感**をもつが, それは成長の欲求であり, 克服の過程で各自の性格がつくられると分析した。

B　**欲求不満〔フラストレーション〕**

C　**葛藤〔コンフリクト〕**

複数の欲求が強く働き, どちらにも決めがたい状態。

※**レヴィン**（独）は, 葛藤を「**接近―接近型**」（～したいが～もしたい),「**回避―回避型**」（～も避けたいし～も避けたい),「**接近―回避型**」（～したいが～は避けたい）の３つに分類した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③不満への適応→フロイト（墺）の研究

A　欲求不満〔フラストレーション〕の解消

適応行動（**合理的解決**・近道反応・**防衛機制**）と不適応行動（失敗反応）。

B　防衛機制の種類

あ　**抑圧**（よくあつ）

不安や苦しみの原因となる欲求が，自分には無いかのように思い込む。

い　**合理化**

欲求が満たされないことについて，もっともらしい理由をつけ自分を正当化する。

う　**同一視**

他者がもつ能力や価値などを，自分がもっているように思い込み満足する。

え　**投影**（とうえい）**〔投射〕**

認めがたい感情を投げかけ，相手がその感情をもっていると思い込む。

お　**反動形成**

あえて反対の行動をとり，好ましくない欲求や感情を抑える。

か　**逃避**

解決を目指さず他に逃げ込む。

き　**退行**（たいこう）

子どものような態度をとり甘える。

く　**代償〔補償〕**

類似する代わりのもので欲求を満たす。

け　**昇華**（しょうか）

性的な衝動や攻撃性などの欲求を，社会的に価値ある活動に転化する。

C　防衛機制は一時的な適応

根本的な解決には，状況を冷静に認めて欲求をうまく抑制・調整し，適度なストレス発散や，**耐性**（たいせい）**〔トレランス〕**を身につけつつ目標の達成をはかること（＝**合理的解決**）が必要。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　性格類型論・特性論

①性格・人格〔パーソナリティ〕

いわゆる「その人らしさ」で，**能力**（知的･技能的側面），**気質**（情緒(じょうちょ)的側面），**性格**（意志的側面）の**３要素**からなる。

※これらは一般的に，**生得(せいとく)的〔遺伝的〕要因**と**環境的要因**が互いに影響しあうことで形成されると考えられている。

②ユング（スイス）による分類

人間の性格を，**リビドー**という心的エネルギーが外界と内面のどちらに向かいやすいかによって，**外向型**と**内向型**に大別(たいべつ)。

※さらに，思考・感情・感覚・直観のどれが優先するタイプかに分け，計８通りに分類。

③シュプランガー（独）による分類

人々の生活を方向づけるさまざまな価値観を整理し，**理論型**，**経済型**，**審美(しんび)型**，**社会型**，**権力〔政治〕型**，**宗教型**の６つに分類。

④クレッチマー（独）による分類

人間の性格〔気質〕と体型の関連を指摘し，**分裂気質**（細長型），**躁鬱(そううつ)〔循環(じゅんかん)〕気質**（肥満型），**粘着(ねんちゃく)気質**（筋骨(きんこつ)型）の３つに分類。

⑤ビッグファイブ理論

A　外向性 or 内向性

B　愛着性 or 分離性

C　統制性 or 自然性

D　情動性 or 非情動性

E　遊戯性 or 現実性

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　幸福と生きがい

人は皆，**幸福に生きたい**と思っているが，**幸福**とはいったい何を指すか？　また，どんな健康状態であれ経済状態であれ，本当の幸福を手に入れようとするなら，自分にとって**生きがい**とは何か，生きる意味はどこにあるか，という問いを避けて通ることはできない。

①フランクル（墺の精神医学者）の『夜と霧』

ユダヤ人の**フランクル**は，第二次世界大戦中，ヒトラー率いるナチス＝ドイツがホロコースト〔大量虐殺（ぎゃくさつ）〕のためにヨーロッパ各地に設置した**強制収容所**に送られた。彼は，収容所の中で，**生きる意味**を見いだせず希望を失った人は，病気や衰弱で死に至る可能性が圧倒的に高かったと振り返っている。

※彼は，生きる意味を問うこととは，自分を主語に「私は人生に何を期待できるか」を考えることではなく，人生を主語に「人生は自分に何を期待しているか」を考えることだとした。

②神谷美恵子（かみやみえこ）（日本の精神科医）の『生きがいについて』

神谷美恵子は，自分の存在が誰かのため，何かのために必要だと自覚することで，人は張り合いをもって生活できると述べた。彼女は，**ハンセン病〔らい病〕**患者の，**生きがい**を喪失（そうしつ）した絶望感と，生きがいを見いだした至福感とに接した体験に基づいて，物質的な充足とは次元の異なる，精神的な価値によって心が満たされることの大切さを感じた。

第２講　倫理確認テスト

1　欲求階層説（＝欲求の５段階説）を展開したアメリカの心理学者とは？

①　ホリングワース　②　オルポート

③　ハヴィガースト　④　マズロー

2　１の唱えた「成長欲求」で，欲求の５段階の最高の階層にあたるものとは？

①　安全の欲求　②　所属と愛情の欲求

③　承認〔尊重〕の欲求　④　自己実現の欲求

3　複数の欲求が強く働き，どちらにも決めがたい状態を何というか？

①　自我のめざめ　②　両面価値的〔アンビヴァレント〕

③　葛藤〔コンフリクト〕　④　反動形成

4　ドイツの心理学者レヴィンは，３を３つのパターンに分類したが，ふさわしくないものはどれか？

①　接近―接近型　②　異常―接近型

③　回避―回避型　④　接近―回避型

5　欲求不満を解消するための適応行動として，ふさわしくないものはどれか？

①　合理的解決　②　近道反応　③　防衛機制　④　失敗反応

6　フロイトの研究した防衛機制のうち，「昇華」の例としてふさわしいものはどれか？

①　失恋の経験を，詩や小説にする。

②　強い主人公が活躍する漫画を読み,「自分も強くなった」と思い込み満足する。

③　自分が相手を嫌いなのに，相手が自分を嫌いなんだと思い込む。

④　テスト前なのに勉強せず，身体を鍛える。

7　性格〔パーソナリティ〕の３要素としてふさわしくないものはどれか？

①　能力　②　気質　③　性格　④　耐性

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

8　スイスの心理学者ユングは，人間の性格を「心的エネルギー」の向かう傾向によって外向型と内面型に大別したが，その「心的エネルギー」を何と呼んだか？

①　フラストレーション　②　モラトリアム
③　トレランス　④　リビドー

9　強制収容所に送られた体験から「生きる意味」について書かれた，オーストリアの精神医学者フランクルの著書とは？

①　『エミール』　②　『青い鳥』
③　『夜と霧』　④　『生きがいについて』

10　長らく不治の伝染病だと誤解され，日本では激しい差別と偏見の下で1996年まで隔離政策が続けられていた疾病とは？

①　天然痘〔疱瘡〕　②　ハンセン病〔らい病〕　③　コレラ　④　赤痢

解答

1	④	2	④	3	③	4	②	5	④
6	①	7	④	8	④	9	③	10	②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第３講　古代ギリシャ思想①

１　ギリシャ自然哲学（前６世紀～）

①古代ギリシャ世界と神話（前８世紀～）

A　**ギリシャ神話**⇒オリンポス十二神など

紀元前８世紀に登場した**ポリス〔都市国家〕**市民の間に語り継がれ，神話を基にした叙事詩も生まれた。

あ　**ホメロス**の叙事詩『**イリアス**』『**オデュッセイア**』

い　**ヘシオドス**の『**神統記**（しんとうき）』『仕事と日々』

B　アイスキュロス，ソフォクレス，エウリピデスが三大悲劇作家

②ギリシャ自然哲学（前６世紀～）

閑暇〔スコレー〕を手に入れたポリス市民は，**観想〔テオリア〕**の態度を身につけ，それが**哲学〔フィロソフィア・愛知〕**の基礎となった。彼らは，宇宙を含む世界のすべてを**神話〔ミュトス〕**で説明する**神話的世界観を否定**し，人間のもつ言葉と**理性〔ロゴス〕**に基づき，自然や社会を冷静に見つめ，合理的にとらえようとした（＝**合理的世界観**）。

そうした流れを受けて，自然のあらゆる現象を生み出す根源（こんげん）には，ある構成元素（＝**万物**（ばんぶつ）**の根源〔アルケー〕**）が変わることなく存在するという考えが生まれ，これが**ギリシャ自然哲学**の出発点となった。

おもな**自然哲学者**と「万物の根源〔アルケー〕」

A　**タレス「水」**

B　**アナクシマンドロス「無限なるもの〔ト＝アペイロン〕」**

C　**アナクシメネス「空気」**

D　**ピタゴラス「数」**

E　**ヘラクレイトス「火」**

F　**パルメニデス「有るもの」**

G　**エンペドクレス「四元素〔土・水・火・風〕」**

H　**デモクリトス「原子〔アトム〕」**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　ソフィスト（前５世紀〜）

①自然〔ピュシス〕から人為〔ノモス〕へ

紀元前５世紀半ば以降，貴族制から**民主制**へ移行した都市国家**アテネ**では，家柄や財産に関わりなく，弁論の能力や教養があれば，市民は誰でも政治上の有力者になることができた。そういった風潮の中で，人々の学問や思索の対象は，**自然〔ピュシス〕**から，法・制度・習慣・道徳など人間がつくった**人為**（じんい）**〔ノモス〕**へと移った。

②ソフィスト〔職業教師〕

ソフィストと呼ばれる知識人は，謝礼を取る**職業教師**として青年たちに一般教養や法律･政治を教え，とくに民会や法廷での**弁論術〔レトリケー〕**を重視した。

※しかし，弁論術は，論争に勝ち自説を認めさせることを目的としていたので，物事の真偽（しんぎ）を重視せず，**詭弁**（きべん）を用いるソフィストも多かった。

A　**プロタゴラス**（前500年頃〜前430年頃）

万物の根源〔アルケー〕を自然物に求めず，あらゆる物事の真偽の判断基準は個々の人間の主観的な考え方・感じ方であるとし，**「人間は万物の尺度である」**と言った。

※絶対的真理を否定し，**相対的真理**を提唱。

B　**ゴルギアス**（前483年〜前376年）

「何も存在しない,存在しても認識され得ない,認識しても伝達され得ない」と言い，絶対的真理を否定。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　ギリシャ三大哲学者（前５世紀〜前４世紀）

①ソクラテス（前 470 頃〜前 399 年）

アケメネス朝とのペルシャ戦争に勝利したのち，民主制の全盛期も過ぎて堕落しつつあったアテネは，続くスパルタとのペロポネソス戦争では苦戦の連続だった。その頃に現れた**ソクラテス**は，ソフィストたちの相対的真理に対し，人として生きていくうえでの普遍的な**絶対的真理**を探究した。

A　人物

アテネ生まれ。父は石工（いしく），母は**助産師**（じょさんし）〔**産婆**（さんば）〕。アテネ全盛期に前半生を過ごす。スパルタに敗れ，混乱・衰退期を迎えた**アテネにおいて，ポリス市民としての道徳の回復をめざした**。70 歳頃，危険な教えで青年を中心に**人心を惑**（まど）**わしたとして市民の反感を買い**，**刑死**した。

B「ただ生きるのではなく善（よ）く生きよ」

ソクラテスは，すべての事物には**徳〔アレテー〕**（＝卓越性）があるとし，人間の徳は，**魂〔プシュケー〕**を善くし，**善く生きる**ことであると考えた。

※人間は**善美**（ぜんび）**の事柄**について知れば必ず善い行いをし（＝**知行合一**（ちこうごういつ）），魂の徳を知れば徳を備え（＝**知徳合一**），善く生きて徳を備えれば幸福になる（＝**福徳一致**）と説いた。

C　思想の出発点

友人がデルフォイのアポロン神殿で「ソクラテス以上の知者はいない」という神託（しんたく）を受け，確認のために訪れた神殿で**「汝**（なんじ）**自身を知れ」**という言葉を目にする。ソクラテスは，自分が善美の事柄について知らないことを自覚していた（＝**無知の知**）ので，これを思想の出発点とした。

※人間は**知への愛〔フィロソフィア〕（＝哲学）**をもつべきだと考えた。

D　**問答法〔助産術・産婆術〕**

相手に自分の考えについて述べさせ，対話を通じて考えの不十分さや誤りに気付かせる方法。相手の無知を暴露（ばくろ）する皮肉〔エイロネイア〕な方法であったため，反感をもつ市民も多かった。

E　処刑

「国家の神々を認めず新たな神霊〔ダイモーン〕を崇（あが）め，青年たちを堕落（だらく）させた」という理由で死刑を宣告された。脱獄を勧める者もいたが，ソクラテスは**「悪法もまた法なり」**と述べ，たとえ判決が不当なものであるにせよ法を破ることは不正であり，不正を犯すことは「善く生きる」ことに反すると考え，判決に従った。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②プラトン（前 427 ～前 347 年）

ソクラテスの弟子**プラトン**は，世界のあらゆる事物は，**永遠不滅の本質・真の実在**である**イデア**を原型としているとした。彼によれば，**感覚**（視覚・聴覚・嗅覚など）を手掛かりにして，**理性**だけがイデアを捉えることができる。

プラトンは，世界は感覚で捉える**現象界**と理性で捉える**イデア界**に分かれる，という二元論的世界観をもち，イデア界こそが真の世界で，現象界はその影にすぎないとした（＝**洞窟の比喩**）。さらに彼は，人間の魂は，生まれる以前はイデア界にいたとし，今いる現象界においても，すでに知っているイデアを**想起〔アナムネーシス〕**することができるとした。また，不完全な人間の魂が完全なイデアに憧れ，それを求める愛を**エロース**と呼んだ。

A　人物

アテネの名門貴族の家に生まれる。当初は政治家志望であったが，20 歳頃からソクラテスに学ぶ。28 歳の時，師の刑死に衝撃を受け，堕落した政治に絶望して各地を遊学した後，40 歳でアテネ郊外に**学園アカデメイア**を開く。60 歳代でシチリア島に政治顧問として招かれ，**哲学者が統治する理想国家を実現しようとしたが失敗**。失意のうちにアテネに帰り，80 歳で亡くなるまで大量の著書を書き続けた。主著『**ソクラテスの弁明**』『**クリトン**』『**パイドン**』『**饗宴**』『**国家**』。

B　理想のイデア界を現実の現象界に実現するために…

あ　**魂の三部分**

人間の魂は，魂を指導する**理性**と，理性に従い意欲的に行動する**気概〔意志〕**と，本能的な**欲望**の３つからなるとした。

い　**四元徳**

理性は最高のイデア，**イデアの中のイデア**とされる**善のイデア**を認識する**知恵の徳**をもち，気概は理性に従う意志である**勇気の徳**をもち，欲望はそれを制御する**節制の徳**をもっていると考えた。さらにその３つが相互に**調和**すれば**正義の徳**が実現するとした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

C　理想の国家を追及

プラトンは, 魂の三部分と四元徳を**国家論**に応用し, 理想の国家を追及した。

あ　**国家の三階級**

個人の集合体である国家には，**統治者階級（王）・防衛者階級（軍人）・生産者階級（庶民）**という三階級があり，王は理性の魂を，軍人は気概の魂を，庶民は欲望の魂を強くもつとした。

い　**理想国家**

人間はそれぞれの資質（理性・気概・欲望の魂）にふさわしい階級に属すべきと考え，三階級がそれぞれの徳（知恵・勇気・節制の徳）を発揮し，相互に**調和**を保てば，**国家全体として正義の徳が実現する**と説いた。

う　**哲人政治**

統治者階級（王）には，理性の魂を最も強くもつ**哲学者**がなるべき，とした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③アリストテレス（前 384 ～前 322 年）

プラトンの弟子**アリストテレス**は，哲学のみならず倫理学・論理学・政治学・生物学・天文学などを広く研究し，「**万学**(ばんがく)**の祖**」とされる。彼は，プラトンのイデア論や国家論のような「理想主義」ではなく,「現実主義」的な思想を展開した。

A　人物

マケドニア王の侍医(じい)の家に生まれる。17 歳でアテネに行き，プラトンの学園アカデメイアで 20 年間学ぶ。のち各地を遍歴し，40 歳頃から 7 年間マケドニアで王子（のちのアレクサンドロス大王）の教師団に加わり，やがて支配下のアテネ郊外に**学園リュケイオン**を創設した。大王が亡くなると，アテネでマケドニアに反抗する動きが起き，国外に亡命して翌年死去した。主著『**形而上学**(けいじじょうがく)**〔メタフィジカ〕**』『**ニコマコス倫理学**』『政治学』。

※リュケイオンでは，屋根付き回廊(かいろう)〔ペリパトス〕をぶらぶら歩きながら議論したので,「逍遙(しょうよう)〔ペリパトス〕学派」と呼ばれた。

B　真の実在＝イデアではなく個々の事物

プラトンは，理性でしかとらえられないイデアを真の実在とし，この世界の事物はその影にすぎないとした。一方, アリストテレスは, イデアは個々の事物の素材である**質料〔ヒュレー〕**に**形相**(けいそう)**〔エイドス〕**として内在しており，個々の事物は真の実在といってよいとした。

※たとえば机の場合，木材が質料で，形や機能が形相。

C「万物は自らの形相に向かう」

アリストテレスは，事物が変化・成長することは，質料に潜む可能性（＝**可能態〔デュナミス〕**）が, 現実化された状態（＝**現実態〔エネルゲイア〕**）になることだとした。

※種子が桜の木へ, タマゴがニワトリへと成長するように，人間もまた…。

D　徳〔アレテー〕の解釈→現実主義

アリストテレスは，人間の生活を①享楽的(きょうらくてき)生活（＝快楽を求める）②政治的生活（＝名声を求める）③蓄財的(ちくざいてき)生活（＝富を求める）④**観想〔テオリア〕的生活**（＝真理を求める）に分類し，観想的生活を送ることこそが人間の幸福であり，**最高善**(ぜん)であるとした。

※観想的生活を送るには徳を備えなければならないと考え，徳を**知性的徳**と**倫理的徳〔習性的徳〕**に分類した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

E　**中庸**（ちゅうよう）**〔メソテース〕**

倫理的徳〔習性的徳〕を身につけるには，感情や欲望の過剰と不足という両極端を避けることが必要。

※中庸は「２つの中間＝平均」という意味ではなく，具体的場面に応じた適度さのこと。無謀（過剰）―勇気（中庸）―臆病（不足）など。

F　人間の定義

アリストテレスは，人は本来，国家や社会を離れて生きることはできないと考え，**「人間はポリス的〔社会的〕動物である」**と言った。

G　アリストテレスの国家論→現実主義

あ　**正義**

時や場所を超えて成り立つ**全体的正義**と，特定の場面においてのみ成り立つ**部分的正義**。

※部分的正義はさらに**配分的正義**（＝能力や業績に応じた配分）と**調整的〔矯正**（きょうせい）**的〕正義**（＝均等化）に分かれる。

い　**友愛〔フィリア〕**

互いが自分への好意を認識している関係。一方的でなく**相互的なもの**。

※友愛の動機は有用性・快楽・卓越性の３つがあり，卓越性に基づく深い親愛こそが真の友愛。

う　政治形態論→現実主義

権力者の数により①**君主制**②**貴族制**③**共和制**があるが，それぞれが堕落すると①**独裁〔僭主**（せんしゅ）**〕政治**②**寡頭**（かとう）**政治**③**衆愚**（しゅうぐ）**政治**になってしまう，とした。

※アリストテレスは君主制を理想としつつ，現実的には共和制が実現可能な政治形態と考えた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第３講　倫理確認テスト

1　叙事詩『イリアス』『オデュッセイア』でトロイ戦争や英雄について描いた人物とは？

①　ホメロス　②　ヘシオドス　③　アイスキュロス　④　ソフォクレス

2　「理性」を古代ギリシャ語で何というか？

①　ポリス　②　スコレー　③　テオリア　④　ロゴス

3　万物の根源〔アルケー〕を「数」とした自然哲学者とは？　なお，この人物は音楽と数を重視し，宗教と学術が一体となった教団を組織し，弾圧された。

①　タレス　②　ピタゴラス　③　ヘラクレイトス　④　デモクリトス

4　「人間は万物の尺度である」と言い，相対的真理を唱えたソフィストとは？

①　アナクシマンドロス　②　パルメニデス

③　プロタゴラス　④　ゴルギアス

5　ソクラテスの行った，相手に考えを述べさせ，対話を通じて考えの不十分さに気付かせる手法を何というか？

①　通過儀礼　②　役割実験　③　合理化　④　問答法

6　ソクラテスの著書について，正しいものを一つ選べ。

①　『ソクラテスの弁明』　②　『クリトン』

③　『ニコマコス倫理学』　④　著書なし

7　プラトンの開いた教育機関とは？

①　学園アカデメイア　②　学園リュケイオン

③　エピクロスの園　④　なし

8　プラトンのいう「魂の三部分」としてふさわしくないものはどれか？

①　理性　②　気概〔意志〕　③　欲望　④　正義

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　「万学の祖」と呼ばれるギリシャの哲学者とは？

①　ヘラクレイトス　　②　ソクラテス

③　プラトン　　④　アリストテレス

10　アリストテレスが時・場所を超えて成り立つと考えた正義は，次のうちどれか？

①　全体的正義　　②　部分的正義

③　配分的正義　　④　調整的〔矯正的〕正義

解答

1	①	2	④	3	②	4	③	5	④
6	④	7	①	8	④	9	④	10	①

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第４講　古代ギリシャ思想②・ユダヤ教

1　ヘレニズム思想（前４世紀～前３世紀）

紀元前４世紀後半，これまでギリシャ人〔ヘレネス〕の生活基盤であったポリス〔都市国家〕は，マケドニアの**アレクサンドロス大王**による東方(とうほう)遠征などの戦乱で政治的独立を失い，崩壊していった。大王がギリシャ人を東方に移住させたことなどで東西交流が盛んになり，**ヘレニズム文化**（＝ギリシャ風文化）が地中海周辺に広がった。

※ポリスが崩壊すると，その一員としてではなく，世界の中の私(わたくし)個人（＝**世界市民・コスモポリテース**）としての生き方が，強い関心を集めた。

①エピクロス派

A　**エピクロス**（前 341 頃～前 270 年頃）を祖とする思想

B　**快楽主義**

快楽とは，身体の苦痛や魂の不安から解放された状態。この状態を**アタラクシア〔魂の平安〕**という。

C　**「隠れて生きよ」**が生活信条

アタラクシア〔魂の平安〕を実現するには，文明化された都市の政治や生活から離れ，自然の中で生きるべきと説いた。

※エピクロス派はアテネ郊外に**「エピクロスの園(その)」**という学園を開き，神々や**死後の世界を必要以上に恐れることなく**，安らかで質素な共同生活を送った。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②ストア派

A　**ゼノン**（前 335 頃〜前 263 年頃）を祖とする思想

B　**禁欲主義**

人間は，理性に従うことで怒りや肉体的欲求などの**パトス〔情念〕**を抑制し，幸福になれると説いた。

※そのために，いかなる感情にも心を動揺させない**アパテイア〔不動心〕**を獲得することを理想とした。

C　**「自然に従って生きよ」**が生活信条

自然を支配するロゴス〔理法〕（＝人間の場合は理性）に従う，すなわち自然と調和して生きることをめざした。

※ゼノンが講義したアテネ郊外の公共の建物を「ストアポイキレ〔彩色柱廊（さいしきちゅうろう）〕」といい，ストア派の語源となった。

D　**世界市民主義〔コスモポリタニズム〕**

ストア派の思想家たちは，社会のあり方についても言及し，国家・民族・階級を問わず，万人がロゴス〔理性〕に従ってパトス〔情念〕を抑えて生きれば，等しく幸福になれると説いた。

※ギリシャとオリエント〔東方〕を思想的に統合する動き。

E　古代ローマへ継承

あ　**キケロ**（前 106 〜前 43 年）➞政治家

い　**セネカ**（前５頃〜後 65 年）➞皇帝ネロの師

う　エピクテトス（55 頃〜 135 年頃）➞もと奴隷

え　**マルクス＝アウレリウス**（121〜180年）➞五賢帝の最後

※『自省録（じせいろく）』の著者。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　ユダヤ教

①成立の過程

A　**イスラエル人〔ヘブライ人・ユダヤ人〕**

西アジアの砂漠の遊牧民。過酷な自然状態の中で生き，紀元前 2000 年頃，現在の**パレスチナ地方〔カナーン〕**に定住したのち，一部はエジプトに移住。

※のち，エジプト新王国の圧政により奴隷状態となる。

B　**出**（しゅつ）**エジプト**（前 13 世紀）

預言者モーセに率いられてエジプトから脱出。イスラエル人は，脱出の成功を神**ヤハウェ〔エホバ〕**による救済と信じ，唯一絶対の**人格神**・造物主（ぞうぶつしゅ）・**裁きの神**であるヤハウェに従う**契約**を交わした民族として自らを規定した。

※ヤハウェは，諸民族の中からイスラエル人を選び，モーセを通してシナイ山上で**十戒**（じっかい）を根幹とする**律法〔トーラー〕**を与えた。そして，それを守れば見返りとして苦難から救うと約束した，とされる。

※十戒は，「あなたには，私をおいて他に神があってはならない」「あなたはいかなる像も造ってはならない」「安息日（あんそくび）を心に留め，これを聖別せよ」など。

C　**バビロン捕囚**（ほしゅう）（前 6 世紀前半）

イスラエル人は，故郷であるカナーンの地に国を建て，前 10 世紀にはダヴィデ王・ソロモン王父子の下で栄えた。しかし，それは経済的繁栄をもたらすと同時に貧富の差を発生させ，やがてヤハウェ信仰の純粋性が損なわれる事態もしばしば生じた。のち王国は北のイスラエル王国と南のユダ王国に分裂。その後，北はアッシリアに滅ぼされ，南は新バビロニアに征服された。前 6 世紀前半には，数回にわたりユダ王国のイスラエル人の多くが，首都バビロンに連れ去られた。

※このような困難な状況の中で人々に正しい生き方を説いたのが，イザヤ・エレミア・エゼキエルなど，神ヤハウェの言葉を伝える預言者であった。

※彼らは，神の裁きが下されることを警告する一方で，神が**メシア〔救世主〕**をこの世に送ってくれるだろう，と説いた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②ユダヤ教の確立（紀元前６世紀～）

A　終末観

イスラエル人〔ヘブライ人・ユダヤ人〕は，ヤハウェへの信仰を守り，律法と預言者の言葉を通じて神が自民族だけを選び関わり続けることを確信し（＝**選民思想**），救世主による救済を待望するようになった。そして，苦難は神に選ばれた民としての試練であり，**最後の審判**の日には，永遠の命を与えられ救済されると信じた。

B　**ユダヤ教**の確立

前538年，アケメネス朝（ペルシャ）により新バビロニアが滅ぼされると，イスラエル人はバビロンから解放された。帰国した彼らは，**エルサレム**に神殿を再興し，**『旧約聖書』**を聖典とする民族宗教を確立した。

※『旧約聖書』は，「創世記（そうせいき）」「出エジプト記」などの歴史書や預言書から成り立っている。“旧約”（＝神との旧（ふる）い契約）とは，あくまでもキリスト教側からみた呼称。

C　再度の苦難

紀元前１世紀後半，イスラエル人はローマ帝国の支配下に置かれた。その時，ユダヤ教の祭司階級（**サドカイ派**）や，律法を字句通り解釈しそれに従う生活を重んじた**パリサイ派**は，支配をただ受け入れ，貧困に苦しむ民衆を救おうとしなかった。

※それぱかりか，律法を守れない人々を罪人（つみびと）として差別したので，民衆の間には，このような現状からの救済を求め，救世主への待望が大いに高まった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第4講　倫理確認テスト

1　古代ギリシャ人たちの自称・総称を何というか？

①　ソフィスト　②　ダイモーン　③　ヘレネス　④　バルバロイ

2　紀元前4世紀後半，東方遠征をしたマケドニアの王とは？

①　ホメロス　②　ヘラクレイトス

③　ゴルギアス　④　アレクサンドロス

3　エピクロス派の生活信条とは？

①「万物は流転する〔パンタ・レイ〕」　②「人間はポリス的動物である」

③「隠れて生きよ」　④「自然に従って生きよ」

4　エピクロス派にふさわしいものを一つ選べ。

①　理想主義　②　現実主義　③　快楽主義　④　禁欲主義

5　ストア派の祖とされる思想家は？

①　タレス　②　プロタゴラス　③　プラトン　④　ゼノン

6　『自省録』を著した，ストア派のローマ皇帝とは？

①　キケロ　②　ネロ

③　エピクテトス　④　マルクス＝アウレリウス

7　ユダヤ教の聖典とは？

①　聖典なし　②『旧約聖書』

③『新約聖書』　④『旧約聖書』と『新約聖書』

8　シナイ山上でヤハウェから「十戒」を受け取ったとされる預言者は？

①　セネカ　②　モーセ　③　イザヤ　④　エレミア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　ユダヤ教の特色としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　中庸〔メソテース〕　②　律法〔トーラー〕の重視

③　選民思想　④　終末観

10　紀元前１世紀後半，イスラエル人〔パレスチナ人・ユダヤ人〕を支配下においた国とは？

①　マケドニア　②　エジプト新王国

③　新バビロニア　④　ローマ帝国

解答

1	③	2	④	3	③	4	③	5	④
6	④	7	②	8	②	9	①	10	④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第５講　キリスト教

1　イエスの思想

①イエスの登場（１世紀）

A　出自

ユダヤ人の大工ヨセフを父，**マリア**を母として生まれる。30歳頃，預言者**ヨハネの洗礼〔バプテスマ〕**を受けた。

B　伝道活動

「時は満ち，**神の国**は近づいた。悔い改めて神の**福音**(ふくいん)〔エヴァンゲリオン〕（＝喜ばしい知らせ）を信じなさい」とパレスチナ地方の人々に呼びかけた。

※イエスは「神のものは神へ，カイザル〔皇帝〕のものはカイザルへ」と言い，具体的な国家ではなく，人々の精神的なつながりとして神の国が実現するとした。

※「心の貧しい人々は幸いである。天の国はその人たちのものである」

―山上(さんじょう)の垂訓(すいくん)―

C　**律法の内面化**

イエスは，神殿祭祀(さいし)中心主義のサドカイ派を無視した。また，律法中心主義のパリサイ派を形式主義として厳しく批判した。そして，本来の律法の精神に立ち返り，表面的な文字にとらわれず教えを実践することを説いた。

※パリサイ派が安息日に麦の穂を摘んだ人を非難したとき，イエスは「安息日は人のためにあるもので，人が安息日のためにあるのではない」と言った。

※姦通(かんつう)の現場で人々に捕らえられた女を前に「あなたがたの中で罪を犯したことのない者が，まず，この女に石を投げなさい」と言った。

D　神ヤハウェについて

当時のユダヤ教が，はるか天上の近寄りがたい「裁きの神」とみなしていたのに対し，人々（＝ユダヤ人に限らない）の身近にいる父のような「許す神」「愛の神」であるとした。

E　**神の愛〔アガペー〕**

無差別・無条件で万人(ばんにん)に注がれる愛。無償の愛。

※人々には「心を尽くし，精神を尽くし，思いを尽くして，あなたの神である主(しゅ)を愛しなさい」と，**神への愛**を説いた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

F　**隣人愛**（りんじん）**→**出会った全ての人を隣人と考える

イエスは「あなた自身を愛するように，あなたの隣人を愛しなさい」と言い，神の下（もと）で人を分け隔（へだ）てなく愛せば，公平と正義が実現された神の国が到来し，**最後の審判**で救われるとした。

※イエスは弟子たちと町や村を巡り歩き，ユダヤ教の社会規範に反してでも，社会的弱者とともにあろうとした。

G　イエスの**黄金律**（おうごんりつ）

「何事でも人々からしてほしいと望むことは，人々にもそのとおりにしなさい」と述べ，相手の立場に身を置いて接するよう説いて回った。

②イエスの死とキリスト教の成立（１世紀）

A　教えの浸透

民衆の多くはイエスを信じ，彼の教えに従うようになった。

※しかし，その伝道はユダヤ教指導者たちの反感を招いた。

B　イエスの死

30 年頃，ユダヤ教指導者たちは，イエスを「人々を扇動する反逆者，神を冒瀆（ぼうとく）する者，世を乱す者」だとして，ローマ帝国のユダヤ属州総督ピラトに訴えた。

※イエスは，**エルサレム**のゴルゴダの丘で**十字架**にかけられ処刑された。

C　**イエス＝キリスト**

ペテロを中心とした**使徒**（しと）（＝イエスの直（じき）弟子）たちの間で，十字架上で死んだイエスは**神の子**であり，**救世主〔メシア，ギリシャ語でキリスト〕**であるという教えが説かれた。

※イエスは神によって３日目に**復活**したと説き，これを信じる者は罪を許され，新たな永遠の命を生きることができるという信仰が生まれ，**キリスト教**が成立した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　キリスト教の拡大

①パウロと異邦人伝道（１世紀）

パウロ（？～65年頃）は，パリサイ派のユダヤ教徒として，キリスト教を迫害していた。しかし，イエスの死の２年後，劇的な**回心**(かいしん)を経験し，以後はキリスト教の伝道を行った。

A　**贖罪思想**(しょくざい)

パウロは，神の子イエスの教えと十字架上の死を，人間が宿命的に背負う**原罪**(げんざい)をあがなうものと説いた。

※原初の人間とされる**アダム（♂）とイヴ（♀）**は，エデンの園で神の言いつけに背き，禁断の果実を食べて追放されたとされる（＝楽園追放）。

B　**信仰義認説**(ぎにん)

パウロは，キリスト教信仰の核心を「人が義（＝正しく誠実な魂の状態）とされるのは，律法の行いではなく，イエスの福音への信仰による」とした。

C　**キリスト教の三元徳**(さんげんとく)

パウロは，**信仰**と**希望**と**愛**をもって生きることを人々に説いた。

D　**異邦人伝道**(いほうじん)

パウロは，神の愛や贖罪思想は異邦人（＝ユダヤ人以外の民族）にも及ぶとして，パレスチナ地方以外の地中海沿岸にも伝道し，キリスト教が**世界宗教**になる基礎を築いた。

※ペテロらが創始し，パウロが教義を確立した初期のキリスト教を原始キリスト教という。

②キリスト教の拡大（１世紀～４世紀）

ペテロ（＝ローマ教会の創始者）やパウロの伝道により，キリスト教は社会的弱者を中心に**ローマ帝国**全土に広がり，上層市民にも信徒が現れるようになる。この過程で『**新約聖書**』がギリシャ語で記され，ユダヤ教の『旧約聖書』とともにキリスト教の聖典となった。

64年　ネロ帝の迫害

　※ペテロやパウロがローマで殉教(じゅんきょう)。

303年　ディオクレティアヌス帝の大迫害

313年　コンスタンティヌス帝が**ミラノ勅令でキリスト教を公認**

　※最高指導者が**教皇**(きょうこう)**〔法王〕**を名乗る**ローマ教会**を中心に勢力を伸ばす。

325年　**ニケーアの公会議**

　※アタナシウス派が正統，アリウス派は異端とされる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※のちアタナシウス派の説は**「神」「神の子キリスト」「聖霊」を同一**とする**三位一体説**（さんみいったい）として確立され，正統教義の根本となった。

392年　テオドシウス帝によりアタナシウス派**キリスト教がローマ帝国の国教**となる

③教父（きょうふ）哲学とアウグスティヌス（4世紀末～5世紀前半）

キリスト教が国家権力と結びついていくにつれ，一般信徒を指導する聖職者身分が成立し，**ローマ教会**の組織化が進んだ。その過程で，教義を明文化・体系化し，教会の権威や神学の確立に貢献した教会公認の神学者・理論家を**教父**といい，彼らが確立した思想を（古代）**教父哲学**という。

A　**アウグスティヌス**（354～430年）

主著『**告白**』によれば，放蕩（ほうとう）生活→マニ教→アリストテレス哲学→新プラトン主義哲学から，偶然聞こえた隣家の子どもの「取って読め」という声に誘われ聖書を読み，32歳でキリスト教に回心。

※のち『**三位一体論**』『**神の国**』を著し，教会の正統教義や権威を拡大して「**最大の教父**」と呼ばれた。

B　**神の恩寵（おんちょう）と恩寵予定説**

アウグスティヌスは「全ての人間は原罪を背負っているので，自由意志ではなく神からの一方的な無償の恩恵（おんけい）によってのみ救済され，善に向かうことができる」と考えた。

そして，誰が救われるかはあらかじめ決められているとし，神の絶対性を説いた。

C　**七つの徳**

ギリシャ哲学も学んだアウグスティヌスは，キリスト教の三元徳（信仰・希望・愛）にギリシャの四元徳（知恵・勇気・節制・正義）を取り込んだ。

※ユダヤ教・キリスト教の思想〔ヘブライズム〕と，ギリシャの思想〔ヘレニズム〕を融合させ，続く中世の思想基盤をつくることになった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④ローマ＝カトリック教会とギリシャ正教会〔東方正教会〕(11 世紀)

A　ローマ教会（西ローマ帝国のちフランク王国）

西の**ローマ教皇**を最高指導者とする**ローマ＝カトリック教会**に発展。

B　コンスタンティノープル教会（東ローマ帝国〔ビザンツ帝国〕）

東のビザンツ皇帝を最高指導者とする**ギリシャ正教会〔東方正教会〕**に発展。

⑤スコラ哲学とトマス＝アクィナス（12 世紀～ 13 世紀）

中世の西ヨーロッパでは，**ローマ＝カトリック教会**の絶大な権力が行き渡っており，当時の学者・知識人とは，聖職者や修道士であった。**スコラ学**は，神学と哲学を中心とする総合的学問で，特にその哲学部分を**スコラ哲学**といった。

A　**「哲学は神学の婢（はしため）〔侍女（じじょ）〕」**

当時は**神学が最高の学問**とされ，東のビザンツ帝国やイスラーム世界から流入したギリシャ哲学や自然科学は低い地位に置かれた。

※しかし，スコラ哲学は，11 世紀末～ 13 世紀まで続いた十字軍の遠征によって東西文化の交流が深まる過程で合理化・体系化され，教会唯一の公認哲学となった。

B　**トマス＝アクィナス**（1225 頃～ 1274 年）

修道院に入った後，ナポリ大学で**アリストテレス哲学**を知る。家族の反対を振り切ってドミニコ会に入り，パリ大学で神学を学び，のち教授となり各地で講義を行い（中世）**スコラ哲学を大成**した。

※主著『**神学大全（たいぜん）**』で信仰（＝神学）と理性（＝哲学）の区別を論じ，それらは相反するものではなく，理性が信仰を補う存在と考え，**信仰の優位**を維持しつつ，両者の**調和的な統合**をはかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第５講　倫理確認テスト

1　キリスト教における「神の喜ばしい知らせ」を何というか？

①　十戒　　②　律法　　③　洗礼　　④　福音

2　キリスト教における「愛」としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　友愛〔フィリア〕　　②　神の愛〔アガペー〕

③　神への愛　　④　隣人愛

3　イエスの言葉を次から一つ選べ。

①「汝自身を知れ」

②「自然に従って生きよ」

③「あなたには，私をおいて他に神があってはならない」

④「何事でも人々からしてほしいと望むことは，人々にもそのとおりにしなさい」

4　イエスが十字架にかけられ処刑された，キリスト教の聖地とは？

①　アテネ　　②　バビロン　　③　エルサレム　　④　ローマ

5　ローマ教会の創設者（初代ローマ教皇〔法王〕）とされる使徒とは？

①　ヨハネ　　②　ペテロ　　③　ユダ　　④　パウロ

6　キリスト教の三元徳としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　正義　　②　信仰　　③　希望　　④　愛

7　アタナシウス派の三位一体説の「三位」としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　神　　②　神の子キリスト　　③　聖霊　　④　教皇〔法王〕

8「最大の教父」アウグスティヌスの著書としてふさわしくないものを一つ選べ。

①『告白』　　②『三位一体論』　　③『神の国』　　④『神学大全』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　中世で最高の学問とされたものは？

①　哲学　②　神学　③　自然科学　④　心理学

10　中世スコラ哲学者の大成者とは？

①　ディオクレティアヌス帝　②　アウグスティヌス

③　トマス＝アクィナス　④　エラスムス

解答

1	④	2	①	3	④	4	③	5	②
6	①	7	④	8	④	9	②	10	③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第6講　イスラーム

1　イスラームの成立とムハンマド

①イスラーム成立以前のアラブ社会

A　アラビア半島

南はアラビア海に面し，東西をペルシャ湾と紅海（こうかい）に挟まれる西アジアの半島。人々は砂漠にオアシスが点在する厳しい自然の中で農耕や遊牧をし，隊商〔キャラバン〕を組む商業活動も得意としていた。

B　アラブの繁栄（6世紀後半）

6世紀後半，ササン朝ペルシャ（現在のイラン）と東欧のビザンツ帝国が戦いを繰り返した。従来，アジアとヨーロッパを結ぶ「オアシスの道〔絹の道・シルクロード〕」を運ばれてきた各種商品は，戦乱を避けてアラビア半島西部を経由するようになり，特に大都市**メッカ**の商人は，この国際的な中継貿易を独占し，大きな利益をあげた。

C　社会の乱れ（7世紀前半）

アラブ社会では，個人はあくまでも部族の一員で，**部族ごとに偶像崇拝の多神教（たしんきょう）が存在**した。人々は同族への愛情が強く，他の部族には敵意を向けたので，社会全体としては，まとまりを欠いていた。

※多くの利益を得た豪商の間では，貨幣の力こそ万能という考えも広がり，人々の社会生活・日常生活も乱れがちだった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②ムハンマドによるイスラームの成立（７世紀）

A　**ムハンマド〔マホメット〕**（570 頃～ 632 年）

メッカのクライシュ族に生まれた大商人。青年期から隊商とともに各地を旅し，ユダヤ教やキリスト教などの教えにも触れていたと考えられる。40 歳の頃，郊外ヒラー山の洞窟で「起きて，警告せよ」という神**アッラー**の啓示（けいじ）を，天使ガブリエルから授けられたとされる。

B　**イスラーム〔イスラーム教〕**の成立

ムハンマドは，モーセやイエスが選ばれたのと同じように，唯一絶対神により選ばれた，**最大･最後の預言者**であると自覚し，**「神への絶対服従」**（＝イスラーム）という教えを説き始めた。

C　イスラームへの迫害

イスラームの教えは，部族制に基づく多神教ではなく，ユダヤ教やキリスト教と同じ**一神教**であった。ムハンマドは，偶像崇拝や富の独占を批判したことで，豪商たちから迫害を受けた。

D　**聖遷**（せいせん）**〔ヒジュラ〕**（622 年＝イスラーム暦（れき）元年）

ムハンマドは，彼の教えを信じる人々を率いて**メッカからメディナへ移住**した。そして，**ムスリム**（＝イスラーム教徒）たちの**共同体〔ウンマ〕**が形成された。

※ムスリムは，民族・部族・身分・貧富の違いにかかわらず平等で，聖職者も存在しなかった。

E　メッカの征服

630 年，強力になったムハンマド率いるムスリム軍が**メッカを征服**。**カーバ神殿**の多神教の神像を全て破壊し，聖殿とした。このようなウンマ拡大のための異教徒との戦いを，**聖戦〔ジハード〕**という。その後２年間で，アラビア半島の諸部族は次々にムハンマドの支配下に入り，ゆるやかな統一が実現された。

※イスラームの三大聖地とは，第１のメッカ，第２のメディナ，ムハンマドがアッラーに謁見するため，天使ガブリエルに導かれ昇天したとされる**「岩のドーム」**がある，第３のエルサレムである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　イスラームの教えと発展

①イスラームの教え

A　偶像崇拝の厳禁

アッラーは，ユダヤ教・キリスト教のヤハウェと同一の神。人間的な感情をもつ**人格神**で，モーセ・イエス・ムハンマドらを預言者として遣わしたとされる。

※あらゆる事物を超越した，全知全能・唯一絶対の存在なので，どんな形の物によっても表現することはできない。

B　『**クルアーン〔コーラン〕**』→イスラームの聖典

アッラーが，天使の仲介によりムハンマドを通じ人間に与えた言葉（＝聖句（せいく））。ムハンマドの死後にアラビア語でまとめられ，結婚・相続などの私的な規範の他，公的な政治・外交・社会・文化活動にも言及している（＝聖俗（せいぞく）一致）。

※クルアーンとは「読まれるもの」「朗誦（ろうしょう）されるもの」を意味する。文体も詩のようであり，読むだけでなく声に出すべきものとされる。

C　イスラーム法〔シャリーア〕

聖典『クルアーン』と，ムハンマドの言行録（げんこうろく）〔ハディース〕をもとにした慣行（かんこう）・行動規範の**スンナ**からなる。9 世紀に成立。

※信仰や日常生活の規範から行政法や国際法などまで，細かく規定されている。

②六信・五行

６つの信仰と５つの行うべきこと。これらは同じように重視され，信仰心が深くても行為を伴わなければ意味がないとされる。

A　六信

1　アッラー

宇宙の創造者，唯一絶対で全知全能の神。

2　天使

神と預言者を仲介するもの。

3　聖典〔啓典〕

『クルアーン』や，『旧約聖書』『新約聖書』の一部など。

※しかし，ユダヤ教に対しては選民思想を批判，キリスト教に対しては三位一体説を多神教への妥協だとして否定している。

4　預言者〔使徒〕

アダム，ノア，アブラハム，モーセ，イエスなどを含む。最大にして最後の預言者がムハンマド。

5　来世

この世の終わりに下される最後の審判の結果，信仰を守り義務が遂行できたか，現世の報いを受ける場。

※ジハードで死んだ者は，火獄〔地獄〕に落ちることはなく，必ず楽園〔天国〕に行けるとされる。

6　天命

この世の全ては，神によって定められたことである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

B　**五行**

1　**信仰告白**〔シャハーダ〕

「アッラーは唯一神，ムハンマドは神の使徒〔預言者〕」と唱える。

2　**礼拝**（れいはい）〔サラート〕

どこにいても１日５回，定められた時刻に定められた手順で，聖地メッカの方角に向かって五体投地を行い祈る。

3　**断食**（だんじき）〔サウム〕

健康な成人男女は，**ラマダーン**月〔断食月，イスラーム暦９月〕の夜明けから日没まで，水を含む一切の飲食を断つ。

4　**喜捨**（きしゃ）〔ザカート〕

資産に応じて貧民のための税金を納める。

5　**巡礼**〔ハッジ〕

生涯に一度は，巡礼月〔イスラーム暦 12 月〕に聖地メッカのカーバ神殿を訪れる。

③イスラームの発展

A　ムハンマドの死後

ウンマの分裂を回避するため，ムハンマドの継承者である**カリフ**〔ハリーファ〕が選ばれ，最高指導者となった。しかし，どのような人物を選ぶかという論争から，イスラームは多数派の**スンナ派**と少数派の**シーア派**に分裂した。

B　その後のイスラーム

アラビア半島のムスリムたちは，イラン・イラク・シリア・エジプトなどの征服を行い，８世紀半ばまでにイベリア半島からインダス川沿岸までを統治し，古代オリエント世界に代わりイスラーム世界が形成された。

※アラビア語が公用語となり，カリフやのちのスルタン〔支配者〕は，イスラーム法に基づく政治・外交を行った。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第６講　倫理確認テスト

1　イスラームの三大聖地としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　メッカ　　②　メディナ　　③　エルサレム　　④　ローマ

2　622年，ムハンマドが，彼の教えを信じる人を率いてメッカからメディナへ移住したことを何というか？

①　出エジプト　　②　異邦人伝道　　③　聖遷〔ヒジュラ〕　　④　巡礼

3　イスラーム教徒を何というか？

①　ソフィスト　　②　バプテスマ　　③　ムスリム　　④　スンナ

4　イスラーム共同体を何というか？

①　ポリス　　②　神の国　　③　ウンマ　　④　ジハード

5　次のうち，イスラームの「六信」に入らないものを一つ選べ。

①　アッラー　　②　天使　　③　天命　　④　巡礼

6　次のうち，イスラームの聖典と関係のないものを一つ選べ。

①　『クルアーン』　　②　『旧約聖書』　　③　『新約聖書』　　④　『ヴェーダ』

7　次のうち，イスラームの「五行」に入らないものを一つ選べ。

①　信仰告白　　②　来世　　③　礼拝　　④　喜捨

8　断食が行われる月で，イスラーム暦９月を何というか？

①　ラマダーン　　②　ハディース　　③　シャリーア　　④　キャラバン

9　イスラームの少数派を何というか？

①　サドカイ派　　②　アタナシウス派　　③　スンナ派　　④　シーア派

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

10　ムハンマドの継承者とされるイスラーム最高指導者を何というか？

①　カリフ　　②　使徒　　③　教皇〔法王〕　　④　メシア

解答

1	④	2	③	3	③	4	③	5	④
6	④	7	②	8	①	9	④	10	①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第７講　インド思想と仏教

1　仏教以前のインド思想

①バラモン教

紀元前1000年頃，**アーリヤ人**がインド北部のガンジス川上流に定住。農耕社会を形成し，自然界の諸現象を神格化した多神教を信仰するようになった。やがて祭祀（さいし）や儀式が重視されるようになると，司祭者である**バラモン**は，彼らが生み出した**ヴァルナ**（＝「色」の意味で，のちの**カースト制度**のもと）という厳しい身分秩序の頂点に立ち，さまざまな特権を手にした。これが**バラモン教**の始まりとなった。

※ヴァルナは，バラモン〔司祭者〕・クシャトリヤ〔王族・武士〕・ヴァイシャ〔農民・商工業者〕・シュードラ〔隷属民（れいぞくみん）〕の４つに大別されるが，約3000のジャーティ〔出生〕に細分化もされている。

A　**ウパニシャッド哲学**

紀元前７～６世紀になると，バラモン教の**聖典『ヴェーダ』**に付属する**奥義書（おうぎしょ）『ウパニシャッド』**から哲学が生まれ，インド思想の母体となった。

※ヴェーダは，神々への賛歌（さんか）集である『リグ＝ヴェーダ』など４種に大別される。

B　**輪廻転生（りんねてんしょう）**

全ての命あるものは，いったん死んでも，生きていた時の行為である**業（ごう）〔カルマ〕**を原因に必ず生まれ変わり（＝転生），これを無限に続ける（＝輪廻）。

※現世における行為が積み重なり，来世での形や運命が決定づけられるという考えを，**因果応報（いんがおうほう）**という。

※輪廻転生の思想は，来世でよい報いを受けられるよう善行（ぜんこう）を勧めるプラス面と，前世での業〔カルマ〕により現世が決まっているため努力を否定するマイナス面がある。

C　**解脱（げだつ）**

バラモン教に限らず，のちの**ジャイナ教・仏教・ヒンドゥー教**を含むインド思想においては，輪廻の苦しみから解放され安らぎを得ることを共通に**悟り（さとり）**とする。

※ヒンドゥー教は，バラモン教から発展し，創造神ブラフマー・維持神ヴィシュヌ・破壊神シヴァを三神一体の最高神とする思想を中心に，さまざまな神を崇拝する多神教。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　**梵我一如**(ぼんがいちにょ)

ウパニシャッド哲学では，宇宙の根源にある不変の原理（＝**ブラフマン・梵**(ぼん)）と自己の本質（＝**アートマン・我**(が)）は一体，という真理がある。この理解により解脱が可能と考えられたので，**苦行**(くぎょう)や**瞑想**(めいそう)〔**ヨーガ**〕に励むことが重視された。

②ジャイナ教

A　自由思想家の登場

紀元前６世紀以降，商工業が盛んになり，各都市を中心とする小国家の繁栄の中で，バラモンの権威が揺らぎ，クシャトリヤやヴァイシャの新興商人が力をもつようになった。この頃，バラモン教の伝統にとらわれない，独立した自由思想家が次々と現れた。

※彼らはバラモン教の多神や身分の不平等，祭祀中心主義を批判し，『ヴェーダ』の権威を否定した。

B　**ジャイナ教**の成立（前６世紀後半）

開祖の**ヴァルダマーナ**〔**マハーヴィーラ**〕は，**六師外道**(ろくしげどう)（仏教以外の６派の反バラモン教の思想家６名）の一人。彼は，輪廻からの解脱をめざし，徹底した苦行と無所有に努めるとともに，生き物に対する慈悲の行為として**不殺生**(ふせっしょう)〔**アヒンサー**〕を実践しなければならないと説いた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　仏教

①シャカ〔釈迦〕と仏教の成立

A　**ゴータマ＝シッダッタ〔シャカ〕**（前 463 ～前 383 年頃？〔諸説あり〕）

インド北部，シャカ族の小国の王子として生まれる。**四門出遊**（しもんしゅつゆう）（＝城の東門で老人，南門で病人，西門で死人に会い，北門で修行者に導かれる）を経験したとされ，29 歳で出家し修行者となる。その後，６年間苦行を経験したが，それをやめ菩提樹（ぼだいじゅ）の下でひたすら瞑想（めいそう）を続けたところ，35 歳で悟りを開き**ブッダ〔仏陀〕**となった。かつての修行仲間５人に**初転法輪**（しょてんぽうりん）と呼ばれる最初の説法をした後は，弟子のアナンダらとインド各地に教えを説いて回り，80 歳で入滅（にゅうめつ）したとされる。

B　仏教の成立

シャカ〔ブッダ〕は，バラモン教の身分制度などを批判し，一切の衆生（しゅじょう）（＝人間を含む生き物全て）は，**法〔ダルマ〕**と呼ばれる真理の前では，皆平等であるとした。

※また彼は，苦行や禁欲の経験を経て輪廻などの苦悩を生み出す原因である**三毒**（さんどく）（＝貪（とん）〔むさぼり〕・瞋（じん）〔怒り〕・癡（ち）〔愚かさ〕）を断ち切ることを説いた。

〈***Note***〉

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②ブッダの教え

A　**縁起**→全ての存在は**縁あって起こる**もの。

ブッダは，物事には必ず原因（因）や条件（縁），すなわち因縁があり，万物は互いに依存し合い，独立で成り立つものはないと説いた。

※変化しない絶対的なものなど存在せず，全てが変化する相対的なもの。
　それこそが不変の真理＝**「縁起の法」**であるとした。

B　**四法印**→４つの普遍的真理

人生の全ては苦しみにほかならない。その原因は「全てのものは常に変化している」「不変の実体などなく，全ては縁起により成り立っている」ことを知らない（＝**無明**）からである。それを知りさえすれば，自己や所有物に対する執着（＝**我執**）などの**煩悩**を消し去り，心が何事にもとらわれない**涅槃〔ニルヴァーナ〕**の境地に達することができる。

1　**一切皆苦**

この世の全ては苦しみである。

2　**諸行無常**

この世の全ては常に変化している。

3　**諸法無我**

不変の自我のような実体はない。

4　**涅槃寂静**

煩悩が消えて自由で安らかな境地。

C　**四諦**→４段階の真理

1　**苦諦**

人間と世界の根本の姿は苦しみである。

※四苦（＝生老病死）と**八苦**（＝四苦＋愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五蘊盛苦）

2　**集諦**

苦を引き起こす原因として，無知・欲望・執着などの煩悩がある。

3　**滅諦**

煩悩を完全に滅することで，平安の境地に達する（＝**解脱**）。

4　**道諦**

解脱のためには，快楽にふけることや苦行に専念するという両極端を避け（＝**中道**），正しい修行の道に集中し，実践することが大切である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　**八正道(はっしょうどう)**→極端を避けた８つの実践方法

ブッダは，自分は万能の救済者などではなく，真理と修行法を指し示すことができるだけの存在とし，自身を崇拝対象とすることを否定した。４つの真理は，苦しみの中に生きる者が８つの正しい修行法により自ら悟るものと捉えていた。

1　正見(しょうけん)　→正しい見解
2　正思(しょうし)　→正しい思考
3　正語(しょうご)　→正しい言葉
4　正業(しょうぎょう)　→正しい行為
5　正命(しょうみょう)　→正しい生活
6　正精進(しょうしょうじん)→正しい努力
7　正念(しょうねん)　→正しい思念
8　正定(しょうじょう)　→正しい瞑想

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③原始仏教から部派仏教へ

A　ブッダ死後の原始仏教

遺言（ゆいごん）に基づき弟子たちが教えを広めていき，その過程で経典（きょうてん）を整理する結集（けつじゅう）も行った。

※『**法句経**（ほっくきょう）〔**ダンマパダ**〕』『**スッタニパータ**』は，現存する最古の経典とされる。

B　**自利**（じり）と**利他**（りた）

ブッダの教えには，出家して自らの悟りを完成させる面と，**慈悲**（じひ）の心を基に世俗の中で人々の救済をめざす面とがあった。

※慈悲とは，人間に限らず生命あるもの全てをいつくしみ憐（あわ）れむ心のこと。

C　出家者と在家（ざいけ）信者

出家者は厳しい戒律を守り，僧（男＝比丘（びく），女＝比丘尼（びくに））として修業した。在家信者には戒律のうち**五戒**（ごかい）（不殺生（ふせっしょう）・不偸盗（ふちゅうとう）・不邪淫（ふじゃいん）・不妄語（ふもうご）・不飲酒（ふおんじゅ））のみが課された。そして，**仏**〔ブッダ〕・**法**〔ダルマ〕・**僧**の集団〔サンガ〕を**三宝**（さんぽう）として敬（うやま）いつつ，日常生活を送ることが説かれた。

D　**部派仏教**

紀元前３世紀頃，仏教教団は，ブッダの言行に忠実で保守的な少数派の**上座部**（じょうざぶ）と，ブッダの精神面を重視し進歩的な多数派の**大衆部**（だいしゅぶ）に分かれた。そして，それがさらに分裂し，約20の部派に分かれていった。

④上座部仏教〔南伝（なんでん）仏教〕

部派仏教のうち**上座部仏教**は，解脱をめざす者は出家して精進（しょうじん）すべきとして，出家者のみに悟りの可能性を認めた。彼らは，ブッダが決めたとされる戒律を忠実に守り，**自己の悟りを第一に求めた**。そして，煩悩のない境地に到達した，最高の修行者である**阿羅漢**（あらかん）を理想とした。

※上座部仏教は，南のスリランカ，さらにミャンマーやタイなどの東南アジアに伝わった（＝**南伝仏教**）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤大乗仏教〔北伝仏教〕

A　**大乗仏教**

紀元前１世紀，部派仏教に否定的な集団が，大衆部仏教から発展させたとされる。大乗仏教は，全ての人々の救済を第一にめざす修行者を理想とし，それを**菩薩**と呼んだ。

※「大乗」は大きな乗り物という意味。自己のみの悟りに専念する上座部仏教を「小乗」仏教と批判した。

※大乗仏教は，中央アジアを経て中国・朝鮮・日本に伝わった（＝**北伝仏教**）。

B　**一切衆生悉有仏性**

大乗仏教では，生命あるものは全て仏〔ブッダ〕になる可能性があるとした。

※釈迦如来以外にも，薬師如来・阿弥陀如来・大日如来など複数の仏が存在する。

C　**六波羅蜜**

布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧という，出家者が実践すべき６つの徳目。

D　**中観派**→インドで発生

大乗仏教の思想は，２～３世紀には，『中論』の著者**ナーガールジュナ〔竜樹〕**により**空の思想**として理論化された。

※心や身体など全ての存在は自らというものをもたず（**無自性**），固定的な実体ではないと考えた。

※「空」は「無」ではなく，曇りない知恵の目で真相を見抜くことを意味する。

E　**唯識派**→インドで発生

４～５世紀には，**アサンガ〔無着・無著〕**と『倶舎論』の著者**ヴァスバンドゥ〔世親〕**の兄弟が出た。彼らは，一切の事物は人が認識する心の動き，すなわち**識**が生み出した表象であり，それ以外は実在していないとする**唯識**思想を説いた。

※「唯識」とは，全ての事象・事物は意識の産物にすぎないという意味。

F　その後

中国では中観や唯識といった大乗仏教の教理を完成した。７世紀にはインド・中国の双方からチベットにも伝播して国家の保護を受け（＝**チベット仏教〔ラマ教〕**），さらにモンゴルまで伝わった。

※中国では多くの経典が鳩摩羅什や玄奘〔三蔵法師〕により漢文に翻訳された。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第7講　倫理確認テスト

1　紀元前1000年頃，インド北部のガンジス川上流に定住した遊牧民とは？

①　イスラエル人　　②　ゲルマン人
③　アーリヤ人　　④　モンゴル人

2　バラモン教のウパニシャッド哲学で，宇宙の根源にある不変原理を何といったか？

①　イデア　②　アルケー　③　ブラフマン〔梵〕　④　アートマン〔我〕

3　ジャイナ教の開祖とは？

①　ヴァルダマーナ〔マハーヴィーラ〕　②　ナーガールジュナ〔竜樹〕
③　アサンガ〔無着〕　④　ヴァスバンドゥ〔世親〕

4　シャカの説いた四法印のうち，「煩悩が消えて自由で安らかな境地」とはどれか？

①　一切皆苦　②　諸行無常　③　諸法無我　④　涅槃寂静

5　シャカの説いた四諦のうち，「苦を引き起こす原因として，無知・欲望・執着といった煩悩がある」という真理とはどれか？

①　苦諦　②　集諦　③　滅諦　④　道諦

6　解脱のために両極端を避けることを，仏教用語で何というか？

①　中庸　②　中道　③　無明　④　涅槃

7　現存する最古の仏教経典の一つとされるものは何か？

①　『リグ＝ヴェーダ』　②　『法句経〔ダンマパダ〕』
③　『中論』　④　『倶舎論』

8　上座部仏教で理想とされる，最高の修行者とは？

①　如来　②　菩薩　③　阿羅漢　④　比丘・比丘尼

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　中観派のナーガールジュナ〔竜樹〕により理論化された，大乗仏教思想とは？

①　三毒　②　縁起の法　③　八正道　④　空の思想

10　6世紀，日本に伝わった仏教とは？

①　原始仏教　②　上座部仏教〔南伝仏教〕

③　大乗仏教〔北伝仏教〕　④　チベット仏教

解答

1	③	2	③	3	①	4	④	5	②
6	②	7	②	8	③	9	④	10	③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第８講　中国思想

1　諸子百家

①諸子百家の登場→春秋末期～戦国時代

A　封建制度の確立

中国最初の王朝とされる**殷**を紀元前 11 世紀に滅ぼした**周**の王は，**天**から**天命**を受けた**天子**として華北を支配した。周王は，一族・功臣や土着の首長に地位と封土〔領地〕を与えて諸侯とし，代々仕えさせせた。また，諸侯に従う卿・大夫・士も地位と領地を与えられた。

B　**諸子百家**の登場

前８世紀には周が力を失い，分裂と抗争が続く**春秋時代**となり，前５世紀末以降の**戦国時代**には，各地の諸侯も王を名乗るようになり，戦国の七雄と呼ばれる秦・趙・魏・韓・楚・斉・燕が，強国として並び立っていた。そして，富国強兵をめざす各国に，さまざまな思想や政策を説く人々が現れた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②諸子百家の種類

A　**儒家（じゅか）→孔子（こうし）・孟子（もうし）・荀子（じゅんし）**

後述する

B　**道家（どうか）→老子（ろうし）・荘子（そうし）**

後述する

C　**墨家（ぼっか）→墨子（ぼくし）**

兼愛（けんあい）・交利（こうり）・非攻（ひこう）・節用（せつよう）

※儒家の「仁（じん）」を別愛として批判。言行録に『墨子』がある。

D　**法家（ほうか）→韓非子（かんぴし）**・李斯（りし）・商鞅（しょうおう）ら

法治（ほうち）主義

※韓非子は儒家の荀子の弟子。

E　名家（めいか）→公孫竜（こうそんりゅう）ら

名称とそれが示す事柄を明らかにする論理学

F　兵家（へいか）→孫子（そんし）・呉子（ごし）ら

戦略・戦術論

G　縦横家（じゅうおうか）→蘇秦（そしん）・張儀（ちょうぎ）ら

外交論

H　陰陽家（いんようか）→鄒衍（すうえん）ら

陰陽五行説（いんようごぎょうせつ）

I　農家（のうか）→許行（きょこう）ら

農本（のうほん）主義

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　儒家

①孔子（前 551 ？～前 479 年）

A　人物

魯という小国に生まれ，50 歳で司法大臣となるが，のち政争に敗れ流浪の旅に出る。14年にわたり諸国で政治論を説いて回るが採用されず魯に戻り，**子弟の教育に尽くし** 72 歳で死んだ。弟子による言行録に『**論語**』がある。

B　**仁**

孔子は，**春秋時代末期**の秩序崩壊危機に際し，家族に対する親愛の情こそが社会の基本であり，それを広めていくことが人の生きる道で，最高の徳であると主張した。

※具体的には，親や兄弟に尽くす家族愛（＝**孝悌**）と，他者へのまごころや思いやり（＝**忠恕**）が理想的な愛であり，ひたすら他者のことを考え，見返りを求めてはならないとした。

C　**克己復礼**→「己に克ちて礼に復るを仁と為す」

己の勝手な欲望を克服し，上下関係に基づく行動規範である**礼**に従うことを説き，それが結果的に国を治める道につながると述べた（＝**修己治人**）。

D　**徳治主義**

孔子は，人間が従うべき正しい道理としての「**道**」を説くとともに，為政者が最高の徳である仁を備えた**君子**となり，その徳をもって統治すべきであると提唱した。

E　孔子のことば―『論語』より―

「吾十有五にして学に志し，三十にして立ち，四十にして惑わず，五十にして天命を知る，六十にして耳順う，七十にして心の欲するところに従いて矩をこえず」

「学びて思わざれば則ち罔く，思いて学ばざれば則ち殆し」

「己の欲せざるところは人に施すことなかれ」

「朝に道を聞かば夕に死すとも可なり」

「巧言令色，鮮なし仁」

※「未だ生を知らず，いずくんぞ死を知らん」「怪力乱神を語らず」→合理主義的態度

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②孟子（前 372 頃〜前 289 年頃）

A　人物

鄒という小国に生まれ，幼少時に父を失う。母は「孟母三遷の教え」や「孟母断機の教え」などの逸話で有名。学問を修め諸国を遊説するが，覇権を争う戦国時代に徳治主義を説いても，理想主義的すぎて受け容れられなかった。晩年は弟子の教育と著述に専念した。弟子による言行録に『**孟子**』がある。

B　**性善説**

孟子は，孔子の思想を受け継ぎ発展させた。人間の本来の心は善という説をとるが，心の養い方を間違えれば善は失われるとし，孔子と同様に**教育を重視**した。

C　**四徳**と**四端**

孟子は，人には生まれながらにして４つの徳（＝四徳）の芽生えとなる心（＝四端）が備わっているとした。

１　「**仁**」の芽生え→**惻隠の心**（他人の不幸を憐れむ）
２　「**義**」の芽生え→**羞悪の心**（不善を恥じ悪を憎む）
３　「**礼**」の芽生え→**辞譲の心**（謙遜し他者を立てる）
４　「**智**」の芽生え→**是非の心**（善と悪とを見分ける）

D　**浩然の気〔不動心〕**

教育や習慣により四端を養い育てていくと，人は四徳を実現でき，身体に根源的な気力がみなぎる。

※孟子は，そのような人を**大丈夫**と呼んで理想とした。

E　**五倫**

孟子は，人間関係の基本として，父子の**親**，君臣の**義**，夫婦の**別**，長幼の**序**，朋友の**信**という５つを掲げた。

※これを守ることで，戦乱で乱れた社会秩序を回復することができると説いた。

F　**王道政治**

政治に関しては，孔子と同じく**徳治主義**の立場をとったが，もはや世の中は春秋時代から戦国時代に突入しており，孔子が理想化した周王朝の封建制度への復帰はありえないと考えた。

※王道政治とは，当時行われていた武力による支配（＝**覇道政治**）ではなく，人民の幸福を真に考え，仁と義をもって国を治めるというもの。しかし，この考えが実行される環境にはなかった。

G　**易姓革命**

孟子は，人の本性は天から授かった天命であり，天の意志は人民の声になって表れると考えた。すなわち，人民の支持を受けた者こそが政治を行うべきであり，王（天子）が徳に反する覇道政治を行えば支持を失い，天命が別の者に移るとした。

※「易姓」は天子の姓が易わることで，「革命」は天命が革ること。

※革命には，平和的に位を譲る禅譲もあれば，武力による放伐もあるとした。

③荀子（前 298 頃～前 235 年頃）

A　人物

戦国時代末期に趙に生まれ，学問を積んだ。50 歳の時，斉に遊学し大いに認められた。讒言にあい斉を去った後，楚に招かれて地方長官となり，辞職後は弟子の教育と著述に専念した。主著に『荀子』がある。

B　**性悪説**

荀子は，基本的には孔子の教えを継承しつつも，孟子とは逆に，人間の本来の心は欲望に支配されているとした。

C　**礼治主義**

争乱の原因となる人々の欲望や利己心を矯正するため，社会規範として礼を遵守するべきであると主張した。

※**弟子の韓非子**や李斯は荀子の思想をさらに強化・発展させ，**法家**として法律と刑罰で秩序を維持する**法治主義**を生んだ。

④儒学の成立（前２世紀後半）

A　**秦**による弾圧（前３世紀後半）

紀元前 221 年，秦が初の統一王朝となり，戦国時代は終わった。**始皇帝**は，焚書・坑儒という厳しい思想統制で**儒家を弾圧，法家を登用**し**法治主義**をとった。

B　**前漢**による官学化（前２世紀後半）

当初は法家・道家の教えが力をもったが，武帝の時代には，儒家の**董仲舒**の提案により**儒家の思想〔儒教〕が官学とされ**，経典として**五経**（『**詩経**』『**書経**』『**礼記**』『**春秋**』『**易経**』）が整えられた。そして，これらを研究する学問は**儒学**と呼ばれるようになった。

※董仲舒は，孟子の説いた四徳（仁・義・礼・智）に「**信**」を加え**五常**とした。

※儒学は，後漢の頃に経典の字句解釈を重んじる**訓詁学**として発展し，詳しい注釈書がつくられた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤朱子学の成立（12 世紀後半）

A　**四書**の重視

宋代には，難解な五経に代わり『**論語**』『**孟子**』『**大学**』『**中庸**（ちゅうよう）』が重視されるようになった。両者を合わせ，**四書五経**という。

B　**朱熹**（しゅき）〔**朱子**（しゅし）〕（1130 ～ 1200 年）

南宋の官僚であった朱熹は，字句解釈にこだわる従来の訓詁学に対し，当時**宋学**と呼ばれていた儒学を大成して**朱子学**を提唱した。

C　**理気二元論**

朱熹は，人間を含む万物は「**気**」という物質で構成されると同時に，その存在根拠や道徳的規範は「**理**」という宇宙の原理として天から賦与されているとした。そして，人の本性は「理」（＝**性即理**（せいそくり））という善であるが，肉体すなわち「気」に乱されており，悪はそこに由来すると考えた。

※「理」＝人の本性として心に備わる**本然の性**（ほんぜん），「気」＝感情や欲求として肉体に備わる気質の性とされる。朱子は，気質の性を本然の性に変化させることをめざした。

D　**居敬窮理**（きょけいきゅうり）

朱熹は，人間は学問に努力すれば聖人君子になれるとし，感情や欲求を抑えて敬（つつしみ）の心をもち（＝居敬），事物の理を探求（＝窮理）することを主張した。

※居敬窮理によって知を深めていくことを，**格物致知**（かくぶつちち）という。

⑥陽明学の成立（16 世紀前半）

A　**王陽明**〔王守仁（しゅじん）〕（1472 ～ 1528 年）

明の官僚であった王陽明は，外面的な知識や修養に頼って人間を矯正（きょうせい）しようとする朱子学を批判し，**陽明学**を提唱した。

B　**致良知**（ちりょうち）

王陽明は，無学な子どもや庶民でも，その心は生まれながらに「理」という善を備えていると考えた（＝**心即理**（しんそくり））。そして，誰もがもつ善悪を判断する心である**良知**（りょうち）を発揮していけば，善が実現すると説いた。

C　**知行合一**（ちこうごういつ）

真の知は実践を伴う，と朱子学を机上の学問として批判したので，陽明学は学者だけでなく庶民にも広く支持された。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　道家

①老子（前５世紀？）

A　人物

孔子よりやや遅れて出たといわれるが，生没年が不明で，実在を疑う説もある。主著『**老子**』。

B　**無為自然**（むいしぜん）

老子は，道徳や文化を否定し，人智の計らいを超えた**道**（タオ）（無（む）とも）に従う自然に任せた生き方こそ理想だとし，**儒家を批判**した。

※無為自然とは，何もしないのではなく，無欲に生きることをいう。

C　**小国寡民**（しょうこくかみん）

民衆からの過重な徴税を批判し，君臣の区別なく，全ての人々が農業に従事する小さな国で，自給自足の共同体政治が行われることを理想とした。

※老子は，私的な欲望を増大させることは最大の罪悪であり，戦争もそこから生じると考えた。そして，争いのない社会のためには，文明から遠ざかり，あるがままの素朴な生活に満足することが大切だと説いた。

D　老子のことば―『老子』より―

乱れた世に必要なのは，儒家の勧めるような学問ではなく，柔和（にゅうわ）でへりくだった態度（＝**柔弱謙下**（じゅうじゃくけんげ））で人との争いを避け，自然に身を任せて生きることだと説いた。

「大道廃れて仁義あり」（だいどうすた）

「学を断てば憂（うれ）いなし」

「上善（じょうぜん）は水の如（ごと）し」

②荘子（前４世紀後半）

A　人物

孟子よりやや遅れて出たとされる。老子の説いた「道(タオ)」の概念をさらに発展させた。主著『**荘子**』。

※**道家**(どうか)の**老荘思想**(ろうそう)（のち**道教**(どうきょう)へ発展）のいう「道」は，万物の根源で，天地に先立って生じ，感覚では捉えられず，名づけようもなく，言葉では表現できない，とされた。儒家のいう天下に秩序をもたらす道徳的な「道(みち)」とは異なる。

B　**万物斉同**(ばんぶつせいどう)

荘子は，あらゆる事物は同一性をもつ，ということを「道」の本質とし，一切の差別や対立を超えた境地(きょうち)に真の安らぎを求めた。

C　**心斎坐忘**(しんさいざぼう)

無為自然の世界に遊び（＝**逍遙遊**(しょうようゆう)），何物にもとらわれない生き方をする人を**真人**(しんじん)〔至人(しじん)〕として理想化した。そして，そこに至るには，自然に身を任せて自らの心身すら忘れ去ることが重要だと説いた。

D　老子との違い

老子の思想が論理的で反儒学的な性格をもつのに対し，荘子の思想は比喩(ひゆ)的・神秘的な性格が強かった。

※『荘子』にみられる**「胡蝶**(こちょう)**の夢」「無用の用」**の話は，人間の判断する価値による区別など相対的なものにすぎない，ということを説いている。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第８講　倫理確認テスト

1　諸子百家が現れた時期は，次のうちどれか？

①　殷　　②　周　　③　春秋・戦国時代　　④　三国時代

2　諸子百家のうち，「兼愛」「交利」「非攻」「節用」を説いた集団は？

①　儒家　　②　道家　　③　墨家　　④　法家

3　以下の語句のうち，孔子と関係ないものを一つ選べ。

①　孝悌忠恕　　②　克己復礼　　③　修己治人　　④　無為自然

4　孔子のいう愛である「仁」についての説明としてふさわしいものを一つ選べ。

①　互いの幸福を願う愛

②　親愛の情をさまざまな人間関係に広げていく愛

③　無償・無差別の与える愛

④　一切衆生に向けられる慈しみの愛

5　孟子のいう四端のうち，「義」という徳の芽生えとなるものは？

①　惻隠の心　　②　羞悪の心　　③　辞譲の心　　④　是非の心

6　四徳を実現すると身体にみなぎるとされる，根源的な気力とは？

①　浩然の気〔不動心〕　　②　孝悌忠恕　　③　柔弱謙下　　④　逍遙遊

7　孟子は，父子の親，君臣の義，夫婦の別，長幼の序，朋友の信，を合わせて何といったか？

①　梵我一如　　②　五経　　③　五常　　④　五倫

8　荀子の主義を指すものとして適切なものは？

①　禁欲主義　　②　徳治主義　　③　礼治主義　　④　法治主義

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　老荘思想は，のち何に発展したか？

①　仏教　　②　儒教　　③　道教　　④　陰陽道

10　知行合一を説き，朱子学を批判した思想家とは？

①　墨子　　②　韓非子　　③　荘子　　④　王陽明

解答

1	③	2	③	3	④	4	②	5	②
6	①	7	④	8	③	9	③	10	④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第９講　日本の風土と思想

1　日本の風土

①風土とは

A　**風土**

ある地域に共通した一定の特徴を生み出す背景で，気候条件・自然条件が基本となる。

※その条件の中で暮らす方法や，形成されるものの考え方などが風土となる。

B　**和辻哲郎**（わつじてつろう）（1889 ～ 1960 年）の著書『**風土**』による３類型

1　**モンスーン型→東アジア・南アジア**・東南アジア

農耕中心で**定住性**が特徴。**自然は豊かで気まぐれ**なことから，**受容的・忍従的**（にんじゅうてき）**な精神**を育（はぐく）む。

2　**砂漠型→西アジア**・中央アジア・北アフリカ

遊牧中心で移住性が特徴。自然は乾燥し厳しいことから，**対抗的・戦闘的な精神**を育む。

3　**牧場型→ヨーロッパ**

農耕・牧畜中心で，開拓と定住性が特徴。自然は規則的で穏（おだ）やかなことから，**自発的・合理的な精神**を育む。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②日本の風土

A　**自然風土**

日本の大部分は，温帯モンスーンの影響を受けて雨や日光に恵まれ，**四季の変化**に富んでいる。

※自然は，**恵み**をもたらす感謝の対象であると同時に，**台風**や大雪，**火山の噴火**や**地震**・津波といった**暴威**(ぼうい)を振るうものである。しかし，それらは季節の移り変わりの中で，一過性のものと捉えられることが多い。

B　**精神風土**

人は自然に対し対抗的でなく**受容的**な,征服的でなく**忍従的**な性格をもつ。

※人間は自然と調和し，自然のうちに生かされている，と考える。

C　その他のキーワード

1　**島国**

2　**ほぼ単一**のヤマト〔日本〕**民族**

※アイヌや琉球民族の存在。

3　**農耕民族→ムラ**〔村落〕

4　**和**の重視

5　**ウチ・ソト**→集団内と集団外

6　ハレ・ケ→非日常と日常

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　日本思想の発生

①古代の日本思想

日本では，人間の力を超えた不可思議な自然現象や自然物を総じて**カミ〔神〕**と呼んでおり，風や雷（かみなり），山や海，巨木や巨石なども信仰の対象とされた。

※日本には，**中国や朝鮮から仏教や儒教が伝来**し，大きな影響をもたらしたが，神々への崇拝が廃（すた）れることはなかった。このことは，**国内文化と外来文化が共存・重層**してきた，排他的でない日本文化の特色を象徴している。

A　縄文時代（約１万 3000 年前～前６世紀頃）

あらゆる自然物に霊威を感じ，畏（おそ）れ敬う**アニミズム**〔精霊信仰〕が始まる。

B　弥生時代（前５世紀頃～紀元３世紀頃）

シャーマン（＝カミや霊と交流し予言や神託（しんたく）を伝える巫者（ふしゃ））による**祭祀（さいし）**や呪術（＝**シャーマニズム**）が盛んになる。

C　大和（やまと）時代（４世紀頃～７世紀）

さまざまなカミを**八百万神（やおよろずのかみ）**として祀（まつ）る，**神道（しんとう）〔古（こ）神道〕**が成立。

※ 氏神（うじがみ）や産土神（うぶすながみ），鎮守神（ちんじゅがみ）なども含まれる。

※神道は，固有の教義をもたない，日本の伝統的な生活習俗の総称ともいえる。

D　奈良時代（８世紀）

歴史書『**古事記**』『**日本書紀**』（＝記紀（きき））の編纂。代表的な神々が，**日本神話**として描かれる。

※**イザナギノミコト・イザナミノミコト**や**天照大神（アマテラスオオミカミ）**などが，天皇につながる神として一定の世界観の中で記述されている。

※世界は，**高天原（たかまがはら）**（＝天上，神々の世界）・**葦原中国（あしはらなかつくに）**（＝地上，人間の世界）・**黄泉国（よみのくに）**（＝地下，死者の世界）に分かれる。さらに，理想の世界として，海の彼方（かなた）に常世国（とこよのくに）がある。

※全ての神々や世界は，**おのずからなった**（＝自然に発生した）ものとされる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②日本人の倫理観

日本人は, 道徳的に善いことを「きれい」「明るい」, 悪いことを「きたない」「暗い」と表現することが多い。自己の利害を考える汚き心を克服し，他者のために献身する**清き心**と，隠し事や偽りのない**明き心**を合わせて**清明心**と呼ぶ。清明心は，特に神の前で重視されるので，祭祀の時は心身に付着した**穢れ**を除くため，**禊・祓い**を行う。

※古代に発生した清明心は，中世には私利私欲のない**正直**の心，近世には人を欺かず偽らない純粋な**誠**の心として受け継がれた。それは，潔さや恥を知ることを重視する**武士道**にも色濃く表れている。

※アメリカの文化人類学者**ルース＝ベネディクト**は, 終戦直後の著書『**菊と刀**』で, 欧米の「**罪**」の文化に対し，日本は「**恥**」の文化だとした。

③日本人の美意識

A　**仏教的無常観→**物事は一定でなく移り変わるからこそ…

鎌倉時代の**鴨長明**『**方丈記**』や**兼好法師**『**徒然草**』で強調。

B　**幽玄→**奥深く余情のあるさま

室町時代の**観阿弥・世阿弥**父子が大成した**能**〔**猿楽能**〕の理念。

※世阿弥は『**風姿花伝**〔**花伝書**〕』や『**花鏡**』を著し，演技者がめざす有り様を花にたとえながら，演技者としての心得を説いた。

C　**わび→**簡素なものに無常と美を見いだす

安土桃山時代の**千利休**が大成した**茶道**で重んじられた精神。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第９講　倫理確認テスト

1　『風土』を著した日本の倫理学者とは？

①　西田幾多郎　②　和辻哲郎　③　九鬼周造　④　柳田国男

2　『風土』の中で，日本は何型の風土に分類されるか？

①　モンスーン型　②　砂漠型　③　牧場型　④　経済型

3　日本のムラ内で，秩序維持のために重視されたものとして，最もふさわしいものを一つ選べ。

①　気まぐれ　②　和　③　シャーマニズム　④　正直

4　自然物に霊威を感じ畏れ敬うことを何というか？

①　モンスーン　②　アニミズム

③　シャーマニズム　④　ファシズム

5　日本では，さまざまなカミ〔神〕を総称して何というか？

①　八百万神　②　氏神　③　産土神　④　鎮守神

6　奈良時代に編纂された，現存する日本最古の歴史書とは？

①　『三経義疏』　②　『古事記』　③　『日本書紀』　④　『万葉集』

7　日本神話で，地下にある死者の世界とは？

①　高天原　②　葦原中国　③　黄泉国　④　常世国

8　日本文化を考察した，アメリカの文化人類学者ベネディクトの著書とは？

①　『夜と霧』　②　『神の国』　③　『菊と刀』　④　『日本道徳論』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　日本で行われる，水を使って穢れを除く方法を何というか？

①　禊　　②　祓い　　③　坐禅　　④　洗礼

10　能〔猿楽能〕の理念としてふさわしいものを一つ選べ。

①　清明心　　②　誠　　③　わび　　④　幽玄

解答

1	②	2	①	3	②	4	②	5	①
6	②	7	③	8	③	9	①	10	④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第10講　日本仏教の展開

1　仏教の受容

①仏教伝来（６世紀半ば頃）

A　**大乗仏教〔北伝仏教〕の伝来**

朝鮮の**百済**（聖明王）から，日本のヤマト政権（欽明天皇）に公伝。

※それ以前にも，大陸・半島からの渡来人の中には私的に仏教を信仰していた人もいた（＝私伝）。

※同じ頃，百済から儒教・道教・法家の思想・漢字なども伝わった。

B　**崇仏論争**

538（または552）年の公伝時，**蘇我氏**（崇仏派）と**物部氏**（排仏派）が展開。

※排仏派は「異国からの蕃神を崇拝すれば，伝統的な国神（＝八百万神）の怒りを買う」と主張した。

※伝来当初の仏教は，有力豪族による権力闘争の道具にすぎなかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②厩戸皇子〔聖徳太子〕の仏教導入（６世紀末～７世紀初め）

A　**厩戸皇子**（574 ～ 622 年）

蘇我氏の血を引く皇族（用明天皇の子）。蘇我馬子が擁立した初の女帝，叔母にあたる推古天皇の摂政・皇太子として，冠位十二階・憲法十七条制定や遣隋使派遣などを行う。

※奈良・平安時代にかけて仏教が定着すると，**聖徳太子**という尊称が贈られ，個人崇拝の対象となった。

B　仏教興隆の詔

物部氏を滅ぼした蘇我馬子・聖徳太子の影響下で，推古天皇が出したもの。これにより崇仏論争は決着し,朝廷は正式に仏教を受容することとなった。

C　寺院の建立

法隆寺〔斑鳩寺〕・中宮寺（奈良県），四天王寺（大阪府）など。

※蘇我馬子は，初の本格的寺院である法興寺〔飛鳥寺〕を氏寺として建立している。

D　『**三経義疏**』の執筆

法華経・勝鬘経・維摩経という３つの経典の注釈書。

※聖徳太子は,自らの死に臨んで「**世間虚仮,唯仏是真**」という境地に至った。

E　**憲法十七条**の制定→初の成文法

日本古来の**和**の精神に,**儒教・法家の思想**とともに**仏教の精神**を組み込んだ。

※第一条「**和**を以って貴しとなし，忤ふることなきを宗とせよ。……」

第二条「篤く**三宝**を敬へ。三宝とは，**仏・法・僧**なり。……」

第十条「……われ必ずしも聖にあらず。かれ必ずしも愚にあらず。ともにこれ**凡夫**なるのみ。」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③奈良仏教（８世紀）

仏教は，ヤマト政権が全国を統一して律令国家になると，その支配に利用された。仏教の力で国家を安らかに治めようとする**鎮護国家**（ちんご）思想や，病気平癒（へいゆ）・雨乞（あまご）いなどの**現世利益**（げんぜりやく）が重視され，衆生（しゅじょう）の救済という本来の大乗仏教の思想は軽視された。

※ 玄昉（げんぼう）や道鏡（どうきょう）など，強大な権力を握る僧も現れた。

A　**聖武**（しょうむ）**天皇**

全国に**国分寺・国分尼**（に）**寺**を建立，**東大寺**（奈良県）には**大仏**〔**盧舎那仏**（るしゃなぶつ）〕を造立。

※唐から**鑑真**（がんじん）を招請し，授戒（じゅかい）〔受戒〕制度を確立。

B　光明皇后（こうみょうこうごう）

貧民（ひんみん）・病人を救済するために悲田院（ひでんいん）・施薬院（せやくいん）を設立。

C　**行基**（ぎょうき）

貧民救済施設である布施屋（ふせや）の設置や土木（どぼく）工事の指導など，社会事業分野で活躍。

D　**南都六宗**（なんとろくしゅう）

法相宗（ほっそう）**・華厳宗**（けごん）**・律宗**・三論宗・成実宗（じょうじつ）・倶舎宗（くしゃ）。

※教理研究のための学派にすぎなかったため，並行して学ぶこともできた。
　また，一つの寺院に複数の宗派が存在することもあった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　平安時代の仏教

奈良時代の南都六宗のように経典を学ぶ一般的な**顕教**（けんぎょう）に対し，神秘の教えである**密教**色の強い新たな仏教が登場した。

※平安新仏教（＝**天台宗・真言宗**）は，政治権力と結びついた奈良仏教に対し，**山岳仏教**として世俗を離れ，厳しい修行を通して新たな気風を生んだ。

①天台宗（てんだいしゅう）（９世紀前半～）

A　**最澄**（さいちょう）〔**伝教大師**（でんぎょうだいし）〕（767 ～ 822 年）

近江国（おうみのくに）（滋賀県）の渡来人系の子に生まれる。遣唐使に同行し，帰国後に**天台宗**を開く。

中心寺院は**比叡山延暦寺**（ひえいざんえんりゃくじ）（滋賀県）。主著は『**山家学生式**（さんげがくしょうしき）』『**顕戒論**（けんかいろん）』。

B　**一乗**（いちじょう）**思想**〔**法華**（ほっけ）**一乗**〕

最澄は，現世利益にこだわる南都六宗を差別的と批判，大乗（だいじょう）仏教の代表的経典『**法華経**』の精神こそが真の教えだと説いた。

※ **一切衆生悉有仏性**（いっさいしゅじょうしつうぶっしょう）（＝生あるものは全て仏になる可能性がある）と主張し，仏になることをめざし修行することが，悟りを開く唯一の方法であるとした。

C　**大乗戒壇**（かいだん）の設立

最澄は，正式な僧侶としての資格（＝戒）を授ける戒壇を，新たに大乗戒壇として延暦寺に設けることを朝廷に願い出た。

※天下三戒壇（東大寺・薬師寺・観世音寺）をもつ南都六宗と鋭く対立したが，死の７日後に実現した。

D　密教化の進展

最澄の弟子であった円仁（えんにん）〔慈覚（じかく）大師〕や円珍〔智証大師〕も唐に渡った。

帰国後，天台宗の密教化を進め，**台密**（たいみつ）と呼ばれた。

※円仁と円珍の死後，延暦寺の山門派（＝円仁派），園城寺（おんじょうじ）〔三井寺（みいでら）〕の寺門派（＝円珍派）に分裂した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②真言宗（９世紀前半〜）

A　**空海〔弘法大師〕**（774 〜 835 年）

讃岐国（香川県）の地方豪族の子に生まれる。遣唐使に同行し，帰国後に**真言宗**を開く。中心寺院は**高野山金剛峰寺**（和歌山県）と教王護国寺〔東寺〕（京都府）。主著は『**三教指帰**』『**十住心論**』。

※唐風書道の名手「三筆」の一人で，漢詩集『性霊集』も有名。初の庶民教育機関である綜芸種智院の設立や，四国八十八カ所の遍路も行った。

B　**密教**

大日如来が自らの悟りを高弟に伝授した神秘の教えとされる。『大日経』を中心に**三密の行**（＝**身**で**印契**を結び，**口**で**真言**〔マントラ〕を唱え，**意**を集中する）を行い，その身のままで仏となる**即身成仏**を説く。

※密教世界を具現化した図を**曼荼羅**〔マンダラ〕という。

C　真言宗の隆盛

空海は，**加持祈禱**によって鎮護国家と現世利益を実現するといい，皇族・貴族の信頼を得た。南都六宗との関係も良好で，**東密**と呼ばれ隆盛した。

③神仏習合の進展

A　**神仏習合**→神道と仏教の融合

奈良時代以降，天照大神や八幡神などの八百万神は，大日如来や阿弥陀如来などの仏が権（＝仮）の姿で現れた「**権現**」であるとの考えが出てきた。このような**仏教中心の神道との融合**を**本地垂迹説**という。

※のち，鎌倉時代後期には，伊勢外宮の神官渡会家行により，神道中心の仏教との融合である反本地垂迹〔神本仏迹説〕の伊勢神道が出現。本地垂迹説をとる山王（一実）神道（天台宗系）や両部神道（真言宗系）と対立した。

B　**修験道**

日本古来の山岳崇拝と山岳仏教が融合。のち，天台宗系の本山派，真言宗系の当山派に組織された。

※修験道の修行者を山伏という。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④末法思想と浄土信仰（10 世紀後半〜）

10 世紀に入り，皇族・貴族による律令国家体制が衰退した。各地に武士が登場し戦乱が激しくなり，疫病や飢饉も起き続けると，現世での幸福をあきらめ来世を信仰する仏教が流行した。

A　**末法思想**

釈迦入滅後１千年間を**正法**（＝教・行・証ともに存在する），続く１千年間を**像法**（＝教・行のみ），その後１万年間を**末法**（教のみ）とし，日本では 1052（永承７）年から末法の世に突入すると考えられた。

※７世紀に中国の**善導**が大成した思想。教えを理解する人々の能力は次第に衰えていく，という仏教的歴史観に基づくもの。

B　**浄土信仰〔浄土教〕**

仏の教えのみが残り，修行の実践や悟りが得られない末法の世においては，現世利益よりも，来世で西方の極楽浄土に往生することが望まれた。

※**念仏「南無阿弥陀仏」**を唱え，**阿弥陀如来**の救済にすがる。

C　**空也〔市聖・阿弥陀聖〕**（10 世紀半ば）

寺院を拠点とせず全国の市井を歩き，経典が読めず自ら学ぶことができない人でも実践できる**称名〔口称〕念仏**（＝声に出して唱える）で救われることを説いた。

※のちに京に住み，貧民や病人の世話などをして，人々に尽くした。

D　**源信〔恵心僧都〕**（10 世紀後半）

『往生要集』を著し**厭離穢土・欣求浄土**を説き，穢れた現世から離れて極楽浄土に生まれ変わることを勧めた。源信は，文字の読める皇族・貴族に対して称名念仏に加えて**観想念仏**（＝阿弥陀如来の姿を思い浮かべる）を勧めた。

※『往生要集』は，渡宋した僧により中国にももち込まれ，広く読まれた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　鎌倉時代の仏教

初の武家政権である鎌倉幕府がつくられ，各種産業が発達し庶民が台頭した鎌倉時代には，新たな勢力である**武士・庶民の救済要求に応える教え**が必要となった。**鎌倉新仏教**の特色は，易行（いぎょう）・選択（せんじゃく）・専修（せんじゅ）の３つ。誰もが解りやすく，誰もが実践でき，誰もが救済される，すなわち大乗思想を徹底したものであった。

①浄土宗（12 世紀後半～）→念仏宗・他力本願

A　**法然**（ほうねん）〔源空（げんくう）〕（1133 ～ 1212 年）

美作国（みまさかのくに）（岡山県）の地方武士の子に生まれる。比叡山延暦寺で修行後，**浄土宗**を開く。中心寺院は知恩院（ちおんいん）（京都府）。主著は『**選択本願念仏集**（せんじゃくほんがんねんぶつしゅう）』『一枚起請文（きしょうもん）』。

B　**専修念仏**

一切の修行・寄付行為などを否定し，ただ**念仏「南無阿弥陀仏」**を唱えることで女性・悪人も平等に救われると説いた。

※戒律にこだわる奈良仏教に攻撃され，朝廷により四国に流罪となった（のち許され帰京）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②浄土真宗〔一向宗〕（13 世紀前半～）→念仏宗・他力本願

A　**親鸞**（1173 ～ 1262 年）

山城国（京都府）の貴族の子に生まれる。比叡山延暦寺で修行後，法然の門を叩き，**浄土真宗〔一向宗〕**を開く。中心寺院は東本願寺・西本願寺（京都府）。主著は**『教行信証』**。弟子の**唯円**が**『歎異抄』**を残す。

B　**報恩感謝の念仏**

念仏「南無阿弥陀仏」は往生の手段ではなく，すでに救われていることへの感謝として唱えるものとした。

C　**非僧非俗**

師の法然に連座し北陸に流された後，関東で自身を「僧と俗人の中間」として，戒律で禁止されていた肉食妻帯を肯定し，布教に努めた。

※親鸞は「愚禿親鸞」と名乗るほど，**凡夫の自覚**があった。

D　**悪人正機説**

「善人なをもて往生をとぐ，いはんや悪人をや」（善人が往生できるなら，悪人はなおさら往生できる）。

※凡夫の自覚をもつ人間を悪人とし，悪人こそが阿弥陀如来にひたすらすがることで救われると説いた。

E　**絶対他力・自然法爾**

親鸞は，往生に努力は関係なく，全て阿弥陀仏の力とはからいであるから，自然のままに任せるべき，と考えた。

F　一向一揆

親鸞の教えは，平易な御文〔御文章〕形式で布教した本願寺８世蓮如（室町時代）や，11 世顕如へと引き継がれ，一揆を起こすこともあった。

③時宗（13 世紀後半～）→念仏宗・他力本願

A　**一遍**〔智真〕（1239 ～ 89 年）→**遊行上人・捨聖**

伊予国（愛媛県）の地方武士の子に生まれる。当初は天台宗を学び，のち時宗を開く。中心寺院は清浄光寺〔遊行寺〕（神奈川県）。江戸時代に『一遍上人語録』がまとめられる。

B　**遊行**

一遍は，浄土信仰の先駆者であった空也（平安時代）の影響を強く受け，彼と同じように全国を巡り歩いた。

C　**踊念仏**・賦算

一遍は，信心・不信心に関係なく，ただ念仏を唱えさえすれば救われると

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

説いた。そして，念仏を唱えながら踊ったり，念仏札を配りながら，弟子たちと各地を回った。

④臨済宗（12世紀末～）→禅宗・自力開悟

A　**栄西**（1141～1215年）

備中国（岡山県）の神職の子に生まれる。比叡山延暦寺で修行後，宋に渡航し，帰国して**臨済宗**を開く。中心寺院は建仁寺（京都府）。主著は『**興禅護国論**』『出家大綱』『喫茶養生記』。

B　**看話禅**

公案と呼ばれる禅問答を考え悟りに至る方法論は，自律的な武士の気風と合致し，とくに鎌倉幕府に積極的に受け容れられた。

⑤曹洞宗（13世紀前半～）→禅宗・自力開悟

A　**道元**（1200～53年）

山城国（京都府）の上級貴族の子に生まれる。比叡山延暦寺で修行後，宋に渡航し，帰国して曹洞宗を開く。中心寺院は**永平寺**（福井県）と総持寺（神奈川県）。主著は『**正法眼蔵**』。弟子の懐奘が『正法眼蔵随聞記』を残す。

B　黙照禅→**只管打坐**

道元は，ひたすら坐禅に打ち込めば誰もが悟りの境地に達することができると説き，「人々皆仏法の器なり」という言葉を残した。

C　**身心脱落**

ひたすら坐禅することによって身も心も束縛から解き放たれ，ありのままの境地に至ることができる，とした。

D　**修証一等〔修証一如〕**

坐禅の修行は単なる悟りの手段ではなく，修行そのものが悟りの証であるとした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥日蓮宗〔法華宗〕(13 世紀半ば～）→題目宗・法華経至上主義

A　**日蓮**（1222 ～ 82 年）

安房国（千葉県）の漁民の子に生まれる。地元の清澄寺や比叡山延暦寺で学んだ後，日蓮宗〔法華宗〕を開く。中心寺院は久遠寺（山梨県)。主著は『**立正安国論**』『**開目抄**』『勧心本尊抄』

B　**唱題→題目「南無妙法蓮華経」**

日蓮は，『**法華経〔妙法蓮華経〕**』だけが，末法の世を救う釈迦の究極の教えを伝える唯一の経典であると説いた。

※唱題により，永遠の真理の象徴である久遠実成の仏と出会い，誰もが現世に浄土を見て，即身成仏できるとした。

C　**四箇格言・折伏**

辻説法で「念仏無間，禅天魔，真言亡国，律国賊」という激しい他宗批判と，強引な自宗への勧誘を行った。

D　**法華経の行者**

日蓮は，他宗批判だけでなく権力者への提言も遠慮なく行ったので，伊豆・佐渡に流されるなど，強烈な迫害・弾圧にあった。しかし，そもそも『法華経』には「これを広めようとする者は法難を受ける」とあったので，それに負けず教えを実践し広める，という使命感を強くもつようになった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第10講　倫理確認テスト

1　日本に仏教を伝えた，朝鮮半島の国とは？

①　高句麗　②　百済　③　新羅　④　高麗

2　聖徳太子が著した，経典の注釈書とは？

①　三経義疏　②　十七条憲法　③　山家学生式　④　三教指帰

3　奈良時代の仏教界で活躍した日本人としてふさわしくない人物を一人選べ。

①　聖武天皇　②　光明皇后　③　行基　④　鑑真

4　天台宗を開いた最澄の贈り名とは？

①　伝教大師　②　弘法大師　③　慈覚大師　④　智証大師

5　真言宗で最高仏とされたものは？

①　釈迦如来　②　薬師如来　③　阿弥陀如来　④　大日如来

6　古来の山岳崇拝と山岳仏教が結びついて生まれた宗教とは？

①　道教　②　陰陽道　③　修験道　④　浄土教

7　『往生要集』を著した僧とは？

①　空海　②　空也　③　源信　④　一遍

8　以下のうち，念仏宗ではないものを一つ選べ。

①　浄土宗　②　浄土真宗〔一向宗〕　③　時宗　④　日蓮宗〔法華宗〕

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　臨済宗の開祖は？

①　法然　　②　栄西　　③　道元　　④　一遍

10　天台宗や日蓮宗で最重視された経典とは？

①　法華経　　②　勝鬘経　　③　維摩経　　④　大日経

解答

1	②	2	①	3	④	4	①	5	④
6	③	7	③	8	④	9	②	10	①

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 11 講　日本の近世思想

1　儒学―中国の学問―

①朱子学

鎌倉～室町時代に日本に伝わった**朱子学**は，臨済宗の僧らに学ばれた。**江戸幕府**は，幕藩体制の秩序維持，すなわち**各身分間や身分内での上下関係の維持にこれを利用**した。

※３代将軍徳川家光までは武断（ぶだん）政治であったが，４代家綱以降は武力に頼らない文治（ぶんち）政治に転換した。５代綱吉は，半官半民の聖堂学問所を設置し朱子学を興隆させた。

※ 11 代家斉（いえなり）治世下の「**寛政（かんせい）異学の禁**」以降，朱子学は正式に官学となり，官吏（かんり）登用試験も朱子学に限られていった。

A　**京学**

1　**藤原惺窩（せいか）**（1561 ～ 1619 年）→もと相国寺（しょうこくじ）（京都）の僧

朱子学を仏教から分離し，日本に広く定着させる端緒（たんちょ）を開いた。彼は，仏教の非現実的で世間離れした性質（＝出世間性（しゅっせけんせい））を批判し，身近な世俗の生活や出来事こそが真実であり，人間の生きるべき場であるとした。

※徳川家康から江戸幕府の儒者として勧誘（かんゆう）されるが断り，弟子の林羅山を推薦して生涯仕官せず，京都で人生を終えた。彼の創始した学派を**京学〔京学派〕**という。

2　**林羅山（はやしらざん）**〔道春（どうしゅん）〕（1583 ～ 1657 年）→もと建仁寺（京都）の僧

天と地に高低の差があるように，人間も生まれつき身分の上下が決まっていると説き（＝**上下定分（じょうげていぶん）の理**），身分制度を正当化して幕藩体制の秩序確立に貢献した。また，身分をわきまえ心につねに**敬（けい）**〔つつしみ〕をもち続け，私利私欲を断った態度を**存心持敬（そんしんじけい）**と呼び理想化した。

※林羅山の子孫は「林家（りんけ）」と呼ばれ，孫の林鳳岡（ほうこう）〔信篤〕以降は聖堂学問所（のち昌平坂（しょうへいざか）学問所）の責任者（＝大学頭（だいがくのかみ））として，幕府の朱子学を牽引（けんいん）した。

3　**木下順庵（じゅんあん）**（1621 ～ 1725 年）

林家とは別系統から出た京学の朱子学者で，加賀藩前田家や５代将軍綱吉に仕えた。

※ 新井白石（あらいはくせき）・雨森芳洲（あめのもりほうしゅう）・室鳩巣（むろきゅうそう）らの師。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4　**新井白石**（1657 ～ 1725 年）

６代家宣・７代家継の侍講として，「正徳の治」と呼ばれる政治改革を行った。

※『読史余論』『折たく柴の記』などの著者として有名だが，日本に潜入し捕えられたイタリア人宣教師シドッチとの対話に基づき，『**西洋紀聞**』なども著した。

5　**雨森芳洲**（1668 ～ 1755 年）

対馬藩の宗氏に仕え，朝鮮との外交業務を通じ，異文化への積極的理解を説いた。

※朝鮮通信使待遇問題をめぐり，兄弟子の新井白石と対立した。

6　**室鳩巣**（1658 ～ 1734 年）

加賀藩前田家や徳川将軍家（６～８代）に仕える。特に８代吉宗の侍講として，民衆の教化などに功績を上げた。

B　**南学**

1　**谷時中**（1599 ～ 1649 年）

戦国期の土佐国で**南村梅軒**が始めたとされる教えを引き継ぎ，江戸時代初期に**南学〔海南学派〕**として確立。山崎闇斎らの師。

2　**山崎闇斎**（1618 ～ 82 年）

朱子のいう居敬（＝心をつつしむ修養）の厳格な実践を説き，林羅山ら**林家を批判**した。また，儒教と日本神話を結合させた独自の神道説である**垂加神道**を唱えた。

※京都に塾を設け，佐藤直方ら多くの門弟を養成して「崎門学派」を創始した。

3　**佐藤直方**（1650 ～ 1719 年）

従来の儒学者が日本の神々を中心に考えてきたことを批判。朱子のみを尊び，窮理（＝家や国家を超えた宇宙の理法を考える）に専念すべきと説いた。

※結果的に師の山崎闇斎を批判することになったため，**浅見絅斎**とともに破門された。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

C　朱子学を基盤としたその他の思想家

1　**貝原益軒**（1630～1714年）

薬草など動植物を研究する本草学者の一方で，日常道徳をわかりやすく説くなど，朱子学を生活に活かす試みを行った。主著は『大和本草』『養生訓』。

2　**三浦梅園**（1723～89年）

懐疑的な態度で世界のあり方を問い，理や気など朱子学の考えを用いて自然の法則を明らかにしようと，独自の条理学を構築した。主著は『玄語』。

※当時では他に類を見ない，自然科学的な学風。

3　**富永仲基**（1715～46年）

のち準官学扱いとなる町人塾，**大坂**の**懐徳堂**に学ぶ。仏教・儒教・神道を鵜呑みにするのではなく，それぞれの成立過程から思想史上の意義を相対的に見ることを説いた。

※思想の発展には「新しい言説は，後世の人が付け加えたもの」（＝**加上**）という法則があるから，仏教・儒教・神道の発展過程は，批判的に明らかにすべきと説いた。主著は『出定後語』。

4　**山片蟠桃**（1748～1821年）

懐徳堂に学び，地動説に基づく独自の宇宙論を展開した。当時としては珍しい合理主義的観点から，霊魂の存在を認めない唯物論的思想の無鬼論〔無神論〕を説いた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②陽明学

16 世紀初め，明の王陽明が朱子学を理論偏重だと批判して実践的な**陽明学**が現れたが，同様の展開が，17 世紀前半の日本でも起きた。

A　**中江藤樹**（なかえとうじゅ）（1608 ～ 48 年）**→日本陽明学の祖**

儒教が重視してきた親に対する**孝**（こう）を，全ての人間関係，さらには万物の根本原理とした。彼は**「愛敬」**（あいけい）（＝真心をもち人に親しみ，上を敬（うやま）い下を侮（あなど）らない心）を孝の本質とし，朱子学の外面的な「敬」（けい）（＝つつしみ）を批判した。そして，孝は形式にとらわれることなく，全ての人間が**時**（じ）**・処**（しょ）**・位**（い）（時期・場所・身分）に応じて実践すべきであると説いた。主著は『**翁問答**（おきなもんどう）』。

※中江藤樹はもと伊予国（いよのくに）（愛媛県）大洲（おおず）藩の著名な朱子学者であったが，年老いた母の面倒を見るため脱藩。故郷の近江国（滋賀県）へ戻り，藤樹書院という塾を開き熊沢蕃山（くまざわばんざん）らを指導したことから「近江聖人（せいじん）」とも呼ばれる。

B　**熊沢蕃山**（くまざわばんざん）（1619 ～ 91 年）

「治国平天下（ちこくへいてんか）」という儒教の理念を，現実との関わりの中で考えた。たとえば，樹木を切り尽くすと山の保水力が乏しくなり水害が起きるので山林を保護すべき，と主張し，日本の環境保護の先駆けとなった。

※岡山藩池田家の家老となったが，著書『大学或問（わくもん）』で幕府の参勤交代制を批判し，下総国（しもうさのくに）（茨城県）古河（こが）に幽閉され，そこで亡くなった。

C　**知行合一**（ちこうごういつ）の実践

陽明学は，社会の中で恵まれない人々を救済するための直接行動の理論を提示していった。19 世紀の**大塩平八郎**（＝ 1837 年，大塩の乱）・**吉田松陰**（しょういん）（＝幕末，尊王攘夷運動）・**西郷隆盛**（＝ 1877 年，西南戦争）らは陽明学を修めていた。

※日本の陽明学は，儒学を万民の学問に広げたとされる。身分制度を否定してはいないが，道徳を実現することにおいて万民は平等であるとした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③古学（こがく）

仏教や老荘思想〔道教〕の影響を受けて後世に現れた**朱子学などの新しい儒学を批判**し，**孔子・孟子の原典やそれ以前の思想に帰るべき**，と説く学問を**古学**という。

※朱熹（しゅき）〔朱子〕らが著した解説書に頼らず，古代中国の言葉や文法を学んだ上で，原典からその思想を読み解くことを重視した。

※江戸時代の儒学には，朱子学・陽明学・古学の他に，それらを混合した折衷学（せっちゅうがく）や，客観的な文献考証（ぶんけんこうしょう）を行う考証学もあった。

A　**古学派〔聖学（せいがく）〕**

山鹿素行（やまがそこう）（1622 ～ 85 年）は，朱子学の実践に欠ける側面や抽象性を批判し，初めて**古学**を提唱して**聖学**と名付け，孔子の教えを学ぶことを説いて『**聖教要録（せいきょうようろく）**』を著した。また，名を求め恥を知る，という心のあり方を重んじる中世的気風の「武士道」を批判して，儒学に基づく近世的な**「士道」**を説き，武士は道徳的指導者になるべきであると主張した。

※彼は，天下統一後の平和な世における武士は，理想的な人の道に努め，その道を乱す者があれば速やかに処罰する役割をもつと考えた。そして士は，農・工・商の三民を倫理的に導く**三民の師**としての自覚と責任をもつべきだと説いた。

※これに対し，肥前藩（佐賀県）の**山本常朝（つねとも）**（1659 ～ 1719 年）は『**葉隠（はがくれ）**』を著し，死を覚悟して主君に仕える**「武士道」**の姿勢を説いた。彼は，武士の本質は潔く命を捨てることにあり，たとえ平和な世でも，常に死を覚悟して毎日を送らねばならない，と考えた。

B　**古義（こぎ）学派〔堀川学派〕**

伊藤仁斎（じんさい）（1627 ～ 1705 年）は，日常的な欲望や感情はやむを得ない自然なものである，と考えた。中国古代の聖人（せいじん）は，人々が誠実に互いを思いやる**「仁（じん）・愛（あい）」**に満ちた関係を理想として説いているのに，善悪を厳しく問い詰める朱子学では冷厳（れいげん）な人間を養成してしまう，と批判した。そこで彼は，『論語』『孟子』の原典に立ち返ること（＝古義）を訴え，**真実無偽（むぎ）**の心として**「誠（まこと）」**の重要性を主張し，他者に誠を尽くすことにより，自己は浄化（じょうか）されると説いた。

※「仁」とは，人々に満たされている「愛」であり，それを実現すべきものと教えている『論語』こそが「最上至極（さいじょうしごく）宇宙第一の書」と考えた。そして，その「愛」こそ拡充すべき実（じつ）の心であり，人々が孔子の道に立ち

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

戻り，他者に対し「**忠信**」（＝自分を偽らず誠実に対応すること）に努めるならば，互いに愛し親しむ和合が実現する，と説いた。

※伊藤仁斎は，**京都**堀川に**古義堂**という塾を開き，それは子の**伊藤東涯**（1670 ～ 1736 年）が引き継いだ。主著は『**童子問**』『論語古義』『**語孟字義**』。

C　**古文辞学派〔蘐園学派〕**

荻生徂徠（1666 ～ 1728 年）は，５代将軍綱吉の側用人柳沢吉保，のち８代吉宗に仕え，**江戸**に**蘐園塾**を開いた。彼は，孔子・孟子より遡る古代中国の聖人・聖王がつくり上げた「**先王の道**」とされる制度（＝礼・楽・刑・政）こそが重要であり，朱子学のように画一的な心の修養を求めるより，制度を学び実践したほうが社会全体として効果が高いと説いた（＝**安天下の道**）。そして，学問の本来の目的は，自己の修養だけでなく世を経め民を救うこと（＝**経世済民**）とした。このように，個人の人格形成より社会制度に目を向けることを考えたとき，古代中国の制度は当時の言語・文献で理解すべきとし，その研究法である**古文辞学**を主張した。この考え方は，のち国学や歴史学の方法論にも影響を与えた。主著『**弁道**』『**弁名**』『**政談**』。

※彼の**経世家**（＝政治経済学者）の側面を継承した弟子として，『経済録』を著した**太宰春台**がいる。また，儒学からの漢詩文の独立に尽力した弟子として，**服部南郭**がいる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　国学―日本の学問―

国学は，仏教・儒教・道教などの影響を受けない日本固有の思想（＝**古道**）を研究する学問。具体的には日本の古典や神道の研究を行う。

A　**契沖**（けいちゅう）（1640 ～ 1701 年）

真言宗の僧。日本人の心を伝える文献であるとして『万葉集』を研究し，『**万葉代匠記**（だいしょうき）』を著す。

※外来思想を排し，古代日本人の精神を学ぶべきと主張した。

B　**荷田春満**（かだのあずままろ）（1669 ～ 1736 年）

伏見稲荷（ふしみいなり）（京都）の神官（しんかん）。古典研究の基礎を築き，日本の古代精神を明らかにしようとした。弟子に賀茂真淵（かものまぶち）がいる。

※晩年，著書『創学校啓（そうがっこうけい）』の中で，８代将軍吉宗に対し国学の学校建設を訴えたが，認められなかった。

C　**賀茂真淵**（1697 ～ 1769 年）

遠江国（とおとうみのくに）（静岡県）浜松の神官。儒教や仏教が入ってくる以前の古代精神（＝古道）の存在を，『万葉集』の歌論に展開した。**「ますらおぶり」**（＝男性的，素朴で力強い）に日本的心情の典型を見いだし，大らかでありのままを重んじる**「高く直（なお）き心」**を理想とした。主著『**国意考**（こくいこう）』『**万葉考**』『歌意考』。

※弟子には本居宣長（もとおりのりなが）や，『群書類従（ぐんしょるいじゅう）』編纂者の塙保己一（はなわほきいち）がいる。

D　**本居宣長**（1730 ～ 1801 年）

伊勢国（三重県）松坂（まつさか）の医師。地元を旅行中の賀茂真淵の宿を訪ねて一夜を語り明かし，以後は手紙のやり取りのみで教えを受けた。師の『万葉集』研究に対し，『古事記』の研究に生涯取り組んだ。彼は，日本人は，仏教や儒教が入ってくる以前の世界を知らねばならず，神の道に従う生き方である**惟神の道**（かんながらのみち）〔古道･大和魂（やまとだましい）〕を追及すべきである，と説いた。その道は，良くも悪くも生まれついたままの**真心**（まごころ）で，**漢意**（からごころ）（＝仏教や儒教のように，理屈で道を捉えようとする精神）を捨て，そこに立ち返るべきとした。主著『**古事記伝**（でん）』『**源氏物語玉の小櫛**（たまのおぐし）』『**玉勝間**（たまかつま）』。

※本居宣長は，師の賀茂真淵が批判的であった『古今和歌集』などの平安文学に見られる**「たおやめぶり」**（＝女性的，繊細（せんさい）で優美（ゆうび））も評価した。

※彼は，日本の和歌や物語の本質を，揺れ動く感情を描くことにあると捉えた。物事に触れたとき最初に感じる素直な感嘆の**「もののあはれ」**こそが純粋な心の動きであり，人間はこれにより物事の本質を知っていく，とした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

E　**平田篤胤**（1776 ～ 1843 年）

出羽国（秋田県）の武士。本居宣長の死後，その著書に影響を受けて没後門人を自称した。古来の純粋な神道の姿を求めて国学を神学化し，**復古神道**を提唱した。主著『霊能真柱』『古道大意』。

※彼は，日本〔大和〕民族は他民族に対して優位であると強調し，天照大神を祖先神とする天皇への服従を説いた。その教えは民間にも広まり，幕末の尊王攘夷運動に多大な影響を与えた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　民衆思想

①元禄文化の三大作家

A　**井原西鶴**（1642～93年）➞上方（＝京都・大坂）の**浮世草子作家**

この世は「浮き世」であり，日常の中で快楽や富を追及することにこそ，人間のありのままの姿がある，と現世を大胆に肯定した。主著『好色一代男』『日本永代蔵』『世間胸算用』『武家義理物語』など。

B　**松尾芭蕉**（1644～94年）➞伊賀国（三重県）出身の**俳人**

「さび・しおり・細み・軽み」を重視し，一種の言葉遊びにすぎなかった俳諧を芸術の域にまで高めた。俳諧紀行文『奥の細道』『野ざらし紀行』など。

C　**近松門左衛門**（1653～1724年）➞上方の**脚本家**（人形浄瑠璃・歌舞伎）

義理と**人情**の葛藤を主題に，「憂き世」を生きる人々の美しさを描き，空前の人気を得た。代表作『**曽根崎心中**』『国姓爺合戦』など。

②民衆思想

A　**鈴木正三**（1579～1655年）

もと旗本。のち禅僧となり仏教復興を志す。著書『万民徳用』で，武士・農民・職人・商人のいずれもが，自らの生業を通じ仏になれるという**「職分仏行説」**を唱えた。

※いかなる職業も上下の区別なく神聖で，それに専念すれば仏行になる，とした。

B　**西川如見**（1648～1724年）

長崎の商家に生まれる。天文・暦・算・地理・経済などに広く通じ，晩年は８代将軍吉宗から江戸に招かれた。平等の人間観から町人・百姓生活の積極的意義を唱える『町人嚢』『百姓嚢』や，長崎で見聞した海外事情・通商関係を記す『華夷通商考』で有名。

C　**石田梅岩**（1685～1744年）

京都郊外の商家に生まれる。実践しやすい道徳として**正直**と**倹約**の実践を唱え，それまで低く見られていた商業に社会的な存在意義を与えた。商いによる利益の追求は正当な行為であるとし，町人道徳である**心学〔石門心学〕**を創始した。主著『**都鄙問答**』。

※彼は，**身分制社会は否定せず**，各身分の果たしている役割には貴賤の違いがない，とした。だからこそ，人は身分やそれぞれのもち分に満足して暮らすべき，と考えた（＝**知足安分**）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※弟子の手島堵庵は京都に明倫舎などの学校を開き，心学を広めた。

D　**安藤昌益**（1703 ～ 62 年）

陸奥国（青森県）八戸の医師。**身分制社会を否定**し，全ての人が田畑を直接耕して（＝**万人直耕**）自給自足する平等社会を「**自然世**」として理想化した。そして，農民から搾取する武士・職人・商人・僧侶・神職など**不耕貪食の徒**が存在する差別社会を「**法世**」と呼び批判した。主著『**自然真営道**』『統道真伝』。

※彼の著書は，思想統制が厳しい江戸時代にほぼ読まれることはなく，明治時代に発見された。

※戦後, 駐日カナダ大使ハーバート＝ノーマンの著書『忘れられた思想家』で取り上げられ，国際的に話題となった。

E　**二宮尊徳**（1787 ～ 1856 年）

相模国（神奈川県）小田原藩の農家に生まれる。天地や他人からの恩（＝徳）に報いる具体的実践法（＝報徳仕法）として，経済力に応じて生活設計を立てる**分度**と，倹約して発生した余裕を蓄え，他人に貢献する**推譲**を説いた（＝**報徳思想**）。各地で農業指導者として改革に従事してめざましい実績を上げたことから，のち幕臣に採りたてられた。弟子が語録『二宮翁夜話』を編纂。

※彼は，農業は自然の営みである**天道**と，人間の働きである**人道**の両者が相まって成立していると考えた。

※二宮尊徳は幼名を金次郎といい，薪を背負い読書する像が小学校などに現存する。戦前の日本では,「孝」を重視した中江藤樹と並ぶ模範的な日本人像として，修身教育で積極的に取り上げられた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

４　洋学〔蘭学〕―西洋の学問―

鎖国下の日本では，西洋との交流は，長崎の出島における**オランダ**との貿易に限られた。東インド会社の日本支店であるオランダ商館の長（＝甲比丹（カピタン））は，毎年将軍に謁見（えっけん）するため江戸城に参府し，長崎奉行を通じ『オランダ風説書（ふうせつがき）』という情報誌を提出した。

※**洋学〔蘭学〕**は，実学以外の思想については厳しく取り締まられた。

A　**青木昆陽（こんよう）**（1698 ～ 1769 年）

８代将軍吉宗によりオランダ語学習を命じられた儒学者。飢饉対策として吉宗に甘藷（かんしょ）〔サツマイモ〕栽培を建言し，認められたことも有名。

※吉宗は，キリスト教に関係のない物に限り洋書の輸入を認め，実学を重視した。

B　**前野良沢（まえのりょうたく）**（1723 ～ 1803 年）・**杉田玄白（すぎたげんぱく）**（1733 ～ 1817 年）

10 代将軍家治（いえはる）の頃，西洋医学書『ターヘル＝アナトミア』を翻訳（ほんやく）し，『**解体新書**』として出版。翻訳時の苦労は，杉田玄白が『蘭学事始（ことはじめ）』に記す。

※彼らの弟子が，蘭学入門書『蘭学階梯（かいてい）』を著した大槻玄沢（おおつきげんたく）。

C　**シーボルト**（1796 ～ 1866 年）の**鳴滝塾**

オランダ商館のドイツ人医師が**長崎**郊外に開いた，診療所兼蘭学塾。

※1828 年，シーボルトは国禁の日本地図もち出しをはかり追放される。

※1839 年の蛮社（ばんしゃ）の獄（ごく）で，塾頭の**高野長英（たかのちょうえい）**（『**戊戌（ぼじゅつ）夢物語**』の著者）が幕府に弾圧される。

※高野長英は，**渡辺崋山（かざん）**（『**慎機論（しんきろん）**』の著者）らとともに，**尚歯会（しょうしかい）〔蛮学社中〕**を結成していた。

D　**緒方洪庵（おがたこうあん）**（1810 ～ 63 年）の**適塾〔適々斎塾（てきてきさい）〕**

大坂の蘭学・医学塾。福沢諭吉らを輩出。

E　その他の洋学者

平賀源内（＝発明などに多彩な才能を発揮），志筑忠雄（しづきただお）（＝『暦象新書（れきしょう）』で地動説やニュートン・ケプラーを紹介）など。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

５　幕末の思想―和魂洋才（わこんようさい）―

開国後の日本では，儒学や国学に表される「和」の精神を基礎に「洋」の科学技術をもち込み，欧米列強の圧力を避けつつそれに追いつこう，という姿勢をとった。これを**「和魂洋才」**という。

A　**横井小楠**（しょうなん）（1809 ～ 69 年）

肥後国（熊本県）熊本藩士。のち越前国（福井県）福井藩の松平慶永（よしなが）に仕え，和魂洋才の精神を基盤に開国論を唱え，通商や殖産興業による富国強兵を説き，明治維新の土台を築いた一人となった。

B　**佐久間象山**（さくましょうざん）（1811 ～ 64 年）

信濃国（しなののくに）（長野県）松代（まつしろ）藩士。アヘン戦争（1840 ～ 42 年）で清がイギリスに大敗したことに衝撃を受け，欧米に対抗するためには科学技術の導入が必要だと考えた。弟子に，吉田松陰・勝海舟・坂本龍馬らがいる。

※**東洋道徳**とともに**西洋芸術**（＝技術）も学ぶべきである，と和魂洋才を主張し，開国論を唱えた。

※彼は，当時の儒学は自然を実用技術として役立てる点が不足しているので，洋学を取り入れながら，実践的な部分もある本来の儒学を復興すべき，と考えていた。

C　**吉田松陰**（しょういん）（1830 ～ 59 年）

長門国（ながとのくに）（山口県）長州藩士。藩の枠組みを超え天皇を中心とする**一君万民論**を唱えることで，停滞する幕藩体制に一石を投じた。彼は，純粋な心情に徹して己の誠を尽くせば天道と一体になる，と説き，志士たちに尊王の精神を強調した。また，陽明学を修め知行合一の精神をもち，**萩**（はぎ）の**松下村塾**（しょうかそんじゅく）において高杉晋作・久坂玄瑞（くさかげんずい）・伊藤博文（ひろぶみ）・山県有朋（やまがたありとも）らを指導して，陰ながら明治維新の礎（いしずえ）となった。

※西洋の技術を学ぶため，ペリーの船に乗り込みアメリカに密航しようとして失敗した。29 歳で大老井伊直弼（なおすけ）の主導する幕府の対外政策を批判し，安政の大獄（たいごく）で処刑された。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第11講　倫理確認テスト

1　朱子学のうち，京学の祖とされる臨済僧とは？

①　藤原惺窩　　②　林羅山　　③　木下順庵　　④　室鳩巣

2　南学の山崎闇斎が創始した神道とは？

①　伊勢神道　　②　唯一神道　　③　垂加神道　　④　復古神道

3　富永仲基や山片蟠桃が学んだ大坂の町人塾とは？

①　聖堂学問所　　②　懐徳堂　　③　適塾　　④　松下村塾

4　日本陽明学の祖で「近江聖人」とも呼ばれる学者とは？

①　中江藤樹　　②　熊沢蕃山　　③　大塩平八郎　　④　吉田松陰

5　京都堀川に古義堂を開いた古学者とは？

①　山鹿素行　　②　伊藤仁斎　　③　荻生徂徠　　④　太宰春台

6　次のうち，荻生徂徠の著書でないものを一つ選べ。

①　『弁道』　　②　『弁名』　　③　『政談』　　④　『葉隠』

7　本居宣長の師で，『国意考』『万葉考』などを著した国学者は？

①　契沖　　②　荷田春満　　③　賀茂真淵　　④　塙保己一

8　日常生活において，物事に触れたときに最初に生じる素直な感嘆を，本居宣長は何といったか？

①　「仁愛」　　②　「ますらおぶり」　　③　「真心」　　④　「もののあはれ」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　次のうち，洋学者としてふさわしくない人物を一人選べ。

①　杉田玄白　　②　高野長英　　③　渡辺崋山　　④　安藤昌益

10　次のうち，心学を創始した石田梅岩の著書を選べ。

①　『慎機論』　②『都鄙問答』　③　『自然真営道』　④　『曽根崎心中』

解答

1	①	2	③	3	②	4	①	5	②
6	④	7	③	8	④	9	④	10	②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 12 講　日本の近代思想①

1　啓蒙（けいもう）思想と自由民権思想

①啓蒙思想の導入―明治前期―

西洋から導入された**啓蒙思想**とは，伝統的な権威・因習を否定し，理性を重視して社会や生活を見直そうとする考え。「家」を基盤とする身分制度が支配していた江戸時代の儒教的価値観に対し，明治維新の**文明開化**の風潮の下（もと）で西洋的な「個人」を基盤とする新たな思想が展開された。

A　**天賦（てんぷ）人権論**

西洋の自然権・人権思想を，儒教的な「天」という観念を通し導入した発想。**全ての人は生まれながらにして自由・平等な権利を天から授けられている**，という考え。

B　**明六社**（1873 年～ 75 年）

日本初の学術団体。翌年から『明六雑誌』を発行し，西洋文化や啓蒙思想を日本人に解りやすく紹介した。

C　**森有礼（もりありのり）**（1847 ～ 89 年）→明六社の社長

薩摩藩（鹿児島県）出身。幕末の英米留学から帰国後，**明六社を結成**する。アメリカでキリスト教に出会い，男女同権・一夫一婦制の影響を受け，夫婦の相互的な権利と義務に基づく結婚形態を提唱し，自ら実践した。のち初代文部大臣として学校令を制定。主著『妻妾（さいしょう）論』。

D　**西村茂樹（しげき）**（1828 ～ 97 年）→明六社に参加

急激な西洋化による道徳秩序の混乱を危惧（きぐ）し，儒教を土台に西洋哲学を取り入れ，皇室崇拝を中心とした新たな**国民道徳**を提唱。普及団体である日本弘道会（こうどうかい）を組織して，国粋主義の先駆となった。主著『**日本道徳論**』。

※学校教育にも影響力をもち，**教育勅語**（1890 年）の制定を促した。

E　**西周（にしあまね）**（1829 ～ 97 年）→明六社に参加

幕末，津田真道（まみち）（1829 ～ 1903 年，法学者）らとともにオランダに留学。帰国後，幕府や明治政府に出仕。**「哲学」「理性」「主観」「現象」など数々の用語を案出**し，西洋哲学を受け入れる基礎をつくり上げた。『軍人勅諭（ちょくゆ）』の起草者としても有名。

F　**加藤弘之（ひろゆき）**（1836 ～ 1916 年）→明六社に参加

佐久間象山らに洋学を学び，幕府の学問所へ出仕し，幕末から明治維新にかけ**立憲制や天賦人権論を日本に紹介**し，民権論の立場に立った。のち，

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

イギリスの進化論に影響を受け，優勝劣敗の考えに基づき**国権論**に転換した。主著『国体新論』『人権新説』。

G　**中村正直**（まさなお）（1832～91年）→明六社に参加

幕府の昌平坂学問所教授であったが，洋学研究を志しイギリスに留学。維新後，個人主義的な啓蒙思想を日本に紹介した。

※彼が手掛けたスマイルズ『自助論』の翻訳（ほんやく）『西国立志編』や，ミル『自由論』の翻訳『自由之理（じゆうのことわり）』は，明治前期の青年に広く読まれた。

H　**福沢諭吉**（ゆきち）（1835～1901年）→明六社に参加

１　人物

豊前国（ぶぜんのくに）（大分県）中津藩士に生まれる。20歳で大坂に出て，緒方洪庵（おがたこうあん）の**適塾で蘭学を学ぶ**。３年後，江戸で蘭学を教えるようになるが，英語の必要性を感じ，独修した。幕末，３度にわたり欧米諸国を巡歴，啓蒙思想家となる。明治元年に**慶應義塾**を創設。一度も新政府に出仕することなく，教育者としての立場を全うした。主著**『学問のすゝめ』『西洋事情』『文明論之（の）概略』**。

※下級武士出身で不遇だった父を思い，のちに「門閥（もんばつ）制度は親の敵（かたき）でござる」と語った。

※急進的な民権論を否定し，国権論と両立できるような民権論を徐々に広めていくべき（＝官民調和）と考えていた。

２　**脱亜論**（1885年，新聞『時事新報』紙上に発表）

晩年の福沢諭吉は，当時の世界を野蛮・半開（東アジア）・文明（欧米）の３段階に分け，現状は半開国の日本も，積極的に文明国を目指すべきと考えた。

※清・朝鮮と歩調を合わせることのない“脱亜入欧”路線に，国と国民が一致して向かうことを説いた。

３　福沢諭吉のことば

あ　**「天は人の上に人を造らず，人の下に人を造らずと云（い）えり」**

『学問のすゝめ』の冒頭で，**天賦人権論**を主張。

い　**「一身独立して一国独立す」**

独立自尊の精神（＝**独立心**）を育てることと，**数理学**（＝西洋の近代諸科学）の導入による文明化こそが，列強が進出するアジアの中で，日本が独立国家として歩むべき道であるとした。

う　**「人間普通日用（にちよう）に近き実学」**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

東洋の学問を実生活に役立たない虚学（きょがく），西洋の学問を実生活に役立つ**実学**と呼び，実学を学ぶ必要性を説いた。

②自由民権思想―明治前期―

西洋からは，急進的な**民権論**も導入された。明治新政府は，薩摩・長州などの藩閥が強権を誇ったことから，憲法制定を前提に**国会開設**を求める**自由民権運動**が起きた。幅広い国民の意見を活かした政治運営をすべき，という近代民主主義の発想は，政府内でも反対者は少なかったので，**開設の時期が争点**となった。

※**民権論は「国民」の権利優先，国権論は「国家」の利益優先**という考えだが，明治期の日本においては，「富国強兵・殖産興業（しょくさんこうぎょう）」をスローガンに不平等条約の改正を目指す，という意識は一致していた。

※フランス流（ルソーなど）の急進的民権論は，**板垣退助**（土佐藩出身）らの自由党が中心。イギリス流（ミルなど）の漸進的（ぜんしんてき）民権論は，**大隈重信**（肥前藩出身）らの立憲改進党が中心。

A　**中江兆民（なかえちょうみん）**（1847 ～ 1901 年）→フランス流急進派

土佐藩（高知県）出身。フランス留学から帰国後，ルソーの**『社会契約論』**の翻訳**『民約訳解（みんやくやくかい）』**を出版して**「東洋のルソー」**と呼ばれ，自由党の中心人物の一人となった。

※また，民主主義者・侵略主義者・現実主義者の３名が語り合うという内容の**『三酔人経綸問答（さんすいじんけいりんもんどう）』**を著し，人民の権利には，民衆が国家から勝ち取る**恢復的（かいふくてき）〔回復的〕民権**と，国家が民衆に与える**恩賜的（おんし）民権**があり，天皇が与えた恩賜的民権を恢復的民権に変えていくべき，と主張した。

※晩年には**『一年有半（ゆうはん）』**『続一年有半』を著し，神や霊魂（れいこん）の存在を否定するなど独自の唯物論を提唱しつつ，明治期の日本を批判した。

B　**植木枝盛（えもり）**（1857 ～ 92 年）→フランス流急進派

土佐藩（高知県）出身。国は人民により成立するものである，と平易に民権思想を説き，自由党の中心人物の一人となった。主著『民権自由論』。

※主権在民をうたい，国家・政府に対する抵抗権を認める私擬憲法案（しぎけんぽうあん）**『東洋大日本国国権按（あん）』**を起草した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　国家主義と社会主義

①国家主義思想〔右翼思想〕―明治中期―

激動の中で西洋文明を受け止め対処していく際にこそ，日本という国家，日本人という民族の自覚が生まれる。江戸時代には「藩＝国」という意識だったが，明治時代中期，**日清戦争**（**1894 ～ 95 年**），**日露戦争**（**1904 ～ 05 年**）という危機的状況を共有するにあたり，国家の利益を最優先する**国家主義**が台頭した。

A　**国粋（こくすい）主義**〔国粋保存主義〕

日本の歴史・文化・政治などを他国より優れたものとし，それを維持し発揚（はつよう）しようとする思想。**三宅雪嶺（みやけせつれい）**（1860 ～ 1945 年）・志賀重昂（しがしげたか）（1863 ～ 1927 年）・**陸羯南（くがかつなん）**（1857 ～ 1907 年）らは，西洋文明の受容には慎重であるべきと説き，日本の伝統や国情に即した改革を主張して欧化主義を批判した。一方で，世界人類の幸福実現に対する，日本人の使命の自覚も強調した。

※三宅雪嶺・志賀重昂らが結成した政教社は**雑誌『日本人』**を，陸羯南は新聞『日本』を創刊したが，のち合体して雑誌『日本及（および）日本人』となった。

B　**平民主義**〔平民的欧化主義〕→“下からの近代化”を主張

徳富蘇峰（とくとみそほう）（1863 ～ 1957 年）が民友社を結成し，雑誌『国民之（の）友』，新聞『国民新聞』を創刊。政府の表層的な欧化主義を批判して，上層階級ではなく平民による近代化を説いた。

※徳富蘇峰は，**日清戦争を契機に国家主義に転向**した。

C　日本文化の紹介

東京美術学校の初代校長もつとめた**岡倉天心（てんしん）〔覚三（かくぞう）〕**（1862 ～ 1913 年）が，『東洋の理想』『茶の本』などの英文著作を海外で出版。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②社会主義思想〔左翼思想〕―明治後期―

日清・日露戦争の頃，産業革命が進展して資本主義が成立。有産階級〔資本家・ブルジョワジー〕と無産階級〔労働者・プロレタリアート〕が発生した。私有財産制を否定し，生産手段の公有をめざす社会主義思想も，この頃から意識されるようになった。

A　**社会民主党**（1901 年，非合法）

初の社会主義政党であったが，結成直後に治安警察法で解党に追い込まれた。

※1906 年には合法的な日本社会党が結成されたが，これも２年後に解党した。

B　キリスト教的人道主義から社会主義に接近した人物

あ　**安部磯雄**（1865 ～ 1949 年）・**片山潜**（1859 ～ 1933 年）

1897 年，アメリカから帰国後，初の全国的労働団体である労働組合期成会を結成。

い　**木下尚江**（1869 ～ 1937 年）

売春廃止に取り組む廃娼運動や，足尾銅山鉱毒事件の解決に積極的に関わる。

C　**幸徳秋水**（1871 ～ 1911 年）→無政府主義的社会主義者

師の中江兆民から急進的な自由民権思想の影響を受け，社会主義者となる。日露戦争前に新聞『万朝報』記者を退職，堺利彦（1870 ～ 1933 年）とともに**平民社**を結成し『**平民新聞**』を創刊して反戦論を展開した。のちアメリカに渡り，無政府主義〔アナーキズム〕の影響を受けて帰国。1910 年，明治天皇暗殺計画に関与の疑いをかけられ，翌年処刑された（＝**大逆事件**）。主著『廿世紀之怪物帝国主義』『社会主義神髄』。

D　その他の社会主義者

あ　**石川啄木**（1886 ～ 1912 年）

ロマン主義の歌人・詩人として，貧窮の中で『一握の砂』『悲しき玩具』などを発表。のち評論『時代閉塞の現状』を書き，社会主義に傾倒した。

い　**河上肇**（1879 ～ 1946 年）→大正・昭和前期

『**貧乏物語**』を著したのち，代表的なマルクス主義経済学者となる。

う　賀川豊彦（1888 ～ 1960 年）→大正・昭和前期

キリスト教徒の社会運動家。神戸の貧民街を拠点に，農民運動・労働組合運動・生活協同組合運動に取り組んだ。自伝『死線を超えて』は，戦前の大ベストセラー。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　キリスト教の受容

大日本帝国憲法上で信教の自由が認められたこともあり，江戸時代には禁止されていた**キリスト教**が，**プロテスタント〔新教〕**を中心に広まっていった。同時に，西洋人が育んできた宗教を，日本人がどのように受け止めるかが問題となった。

①京都バンド－同志社英学校グループ

Ａ　**新島襄**(にいじまじょう)（1843 ～ 90 年）

上野国(こうずけのくに)（群馬県）安中藩士。幕末に国禁を犯し渡米，苦学の末に神学を修めて帰国。1875 年，**京都**に**同志社**英学校を創設し，多くの人材を育てた。

※海老名弾正(えびなだんじょう)・徳富蘇峰ら熊本バンド（＝熊本洋学校グループ）は，のち同志社で学んだ。

Ｂ　小崎弘道(こざきひろみち)（1856 ～ 1938 年）

熊本洋学校のち同志社に学ぶ。東京に出て牧師となり，ＹＭＣＡ〔キリスト教青年会〕を創設。

Ｃ　山室軍平(やまむろぐんぺい)（1872 ～ 1940 年）

同志社で学ぶ。キリスト教の博愛精神に基づき，困窮した民衆を救う日本救世軍(きゅうせいぐん)を創設。廃娼(はいしょう)運動にも取り組んだ。

※救世軍はイギリスが発祥。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②札幌バンドー札幌農学校グループー

A　**内村鑑三**（かんぞう）（1861 ～ 1930 年）

クラーク退任後の**札幌農学校**でキリスト教に出会う。のち渡米するが，アメリカ社会に絶望。日本は信義を重んじる国であり，拝金主義・根強い偏見が蔓延（まんえん）する欧米よりも，真のキリスト教が根付く国であると説いた。彼は，人間は神の前に独り立つ存在であり，教会や儀式にとらわれず聖書を重んじるべきとして，**無教会主義**の立場をとった。**足尾銅山鉱毒事件**の解決に奔走した**田中正造**（しょうぞう）を，木下尚江・幸徳秋水らとともに支援したことでも有名。主著『**余**（よ）**は如何**（いか）**にして基督信徒**（キリストしんと）**となりし乎**（か）』『基督信徒のなぐさめ』『**代表的日本人**』。

※イエス（Jesus）への愛と日本（Japan）への愛（＝**２つのＪ**）は矛盾するものではなく，日本の伝統的文化，特に武士道を土台にキリスト教を信仰することから，自らのキリスト教を「**武士道に接木**（つぎき）**されたるキリスト教**」であるとした。

※第一高等中学校講師の時，キリスト教徒の立場から教育勅語へ敬礼をせず，**不敬事件**として免職され，哲学者の**井上哲次郎**からは論文「教育と宗教の衝突」で非難された。

※その後，新聞『万朝報（よろずちょうほう）』で幸徳秋水や堺利彦とともに勤務したが，日本は軍事的国家としてではなく，イエスへの愛と信仰に基づいた道義的国家として世界の中に存在しなくてはならない，と日露戦争には**非戦論**の立場をとり，退職することになった。

B　**新渡戸稲造**（にとべいなぞう）（1862 ～ 1933 年）

内村鑑三とともにクラーク退任後の**札幌農学校**でキリスト教に出会い，アメリカ・ドイツに留学。クエーカー派の影響を強く受けた。日本人は武士道を土台としてキリスト教精神を育むべきと説き，英文で『**武士道**』を著して欧米に日本精神を紹介した。

※青年時から「太平洋の懸け橋とならん」ことを志し，国際連盟の事務次長となるなど，国際社会でも活躍した。

③横浜バンド

植村正久（うえむらまさひさ）が横浜の教会で入信。東京神学社を創立して伝道者の育成にあたる。彼は，国家主義的風潮に対し激しく抵抗した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第12講　倫理確認テスト

1　明六社を結成し，社長となった人物は？

①　森有礼　②　加藤弘之　③　西周　④　中村正直

2　皇室崇拝を中心とした新たな国民道徳を提唱し，『日本道徳論』を著した人物は？

①　井上哲次郎　②　西村茂樹　③　植木枝盛　④　徳富蘇峰

3　福沢諭吉の著書としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　『学問のすゝめ』　②　『西洋事情』

③　『文明論之概略』　④　『西国立志編』

4　「東洋のルソー」と呼ばれた民権思想家は？

①　板垣退助　②　中江兆民　③　植木枝盛　④　木下尚江

5　国粋主義者としてふさわしくない人物を一人選べ。

①　三宅雪嶺　②　志賀重昂　③　陸羯南　④　植村正久

6　幸徳秋水・堺利彦らが結成した平民社が創刊した機関紙とは？

①　『明六雑誌』　②　雑誌『日本人』

③　雑誌『国民之友』　④　『平民新聞』

7　河上肇の著書を一つ選べ。

①　『妻妾論』　②　『人権新説』

③　『貧乏物語』　④　『廿世紀之怪物帝国主義』

8　京都に同志社英学校を設立した人物は？

①　福沢諭吉　②　大隈重信　③　新島襄　④　新渡戸稲造

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　内村鑑三や新渡戸稲造が学んだ学校とは？

①　昌平坂学問所　　②　慶應義塾　　③　同志社　　④　札幌農学校

10　内村鑑三が第一高等中学校で起こした事件とは？

①　不敬事件　　②　足尾銅山鉱毒事件

③　大逆事件　　④　二・二六事件

解答

1	①	2	②	3	④	4	②	5	④
6	④	7	③	8	③	9	④	10	①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第13講　日本の近代思想②・現代思想

1　日本の近代文学

①明治期の文学―近代的自我の確立―

明治時代の人々は，旧来の封建制社会の枠組みから離れ，近代国家の一員となっていく過程で悩みを抱えることが多かった。特に「家」中心で生きてきた日本人にとって，「個人」をどう考えるかは大きな問題だった。過度な自己主張は，当時の社会状況と合っていなかったので，文学者たちはその折り合いのつけ方を模索した。

A　**ロマン〔浪漫〕主義**→日清戦争前後

旧来の制度や価値観の束縛から脱し，みずみずしい感情や情熱を肯定(こうてい)することを通じて自我や個性を解放すべき，と主張した文学・芸術運動。理性よりも感情を重視した点に特徴がある。

あ　**北村透谷(とうこく)**（1868～94年）→詩人・評論家

自由民権運動に挫折した後，自己は「実世界」ではなく**「想(そう)世界」**の充実を通じて確立されると論じた。雑誌『文学界』を創刊し，文学の中で信仰と愛による自由の実現を説く。精神の欲求を実現する方法として恋愛を重視したが，理想と現実のギャップに悩み，26歳で自殺した。主著『内部生命論』。

※肉体的な「外部生命」より精神的な**「内部生命」**を重視した。

い　**与謝野晶子(よさのあきこ)**（1878～1942年）

自己の感情を大胆に謳(うた)い上げることを通じ，封建的な道徳・倫理観の打破と社会の改造を試みた。夫の与謝野鉄幹(てっかん)とともに雑誌『明星(みょうじょう)』を創刊し，戦場の弟を想い**「君(きみ)死にたまふこと勿(なか)れ」**と厭戦(えんせん)詩を詠み話題となった。歌集**『みだれ髪』**が有名。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

B　**自然主義→**日露戦争前後

自己の内面を直視し，ありのままの自己と社会の有りようを表現しようとする文学が流行。同時期,現実の社会問題を扱った社会小説も多く出された。

※苦戦の末に賠償金が取れなかった日露戦争を経験し，徒に理想を唱える空しさへの反省から生まれた現実的な文学。人間の赤裸々な姿を捉えようとするあまり，醜さを強調する傾向があった。

あ　島崎藤村（1872 ～ 1943 年）

北村透谷・樋口一葉らと雑誌『文学界』に参加し，詩集『若菜集』を発表するなど,当初はロマン主義の詩人。のち『破戒』『夜明け前』など,自然主義の小説家となった。

い　その他の自然主義文学と作家

『蒲団』『田舎教師』（田山花袋),『武蔵野』（国木田独歩）など。

C　**夏目漱石**（1867 ～ 1916 年）

イギリス留学経験のある教育者・文学者として，日本の近代化を上辺だけの「**外発的開化**」として批判。内面からの「**内発的開化**」であるべきとし，日本人は真の意味での自己を確立する必要があると説いた。彼の考えでは，**エゴイズム〔自己中心主義〕は否定されるべき**で，自己の義務を自覚して他者に依存せず，他者を尊重するのがあるべき個人であるとし，このような**自己本位**（⇔他人本位）に基づき生きる**個人主義**を主張した。

主著『吾輩は猫である』『坊っちゃん』『三四郎』『それから』『門』『行人』『こゝろ』『**明暗**』。講演に『現代日本の開化』『**私の個人主義**』がある。

※晩年は,東洋の伝統思想に影響を受けて「**則天去私**（天に則り私を去る)」の境地を目指した。これは,狭い自我への執着を捨て,大きな自然に従って生きるという意味である。

D　**森鷗外**（1862 ～ 1922 年）

医学の勉強のためドイツに留学した後,ロマン主義的小説『**舞姫**』を発表。陸軍軍医として勤務した後，歴史小説に転じた。彼の説く「**諦念〔レジグナチオン〕**」は，むやみに自我を主張するのでなく，現実的な社会において自らの立場や役割を冷静に引き受けながらも，そこに自己を埋没させまいとする考え方であった。他の著書に『青年』『阿部一族』『高瀬舟』などがある。

※森鷗外は，現状の社会制度や価値観は，あくまでも仮のものにすぎないと考えていた。しかし，諦念の精神に基づき，それらが真理で「あるかのように」ふるまうことで社会生活が成立する，と「かのように」の哲学を説いた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②大正・昭和前期の文学

A　夏目漱石に影響を受けた人たち

随筆家の寺田寅彦（とらひこ），小説家の芥川龍之介（あくたがわりゅうのすけ），哲学者の阿部次郎ら。

※阿部次郎は，自己に対する尊厳を失わず，人格の向上に満足を見出す「人格主義」を唱えた。

B　**白樺派→**雑誌『白樺』

近代的自我を，楽観的に明るく主張。旧来の思想や道徳に追従（ついじゅう）することなく，各々（おのおの）が人間的な感情や善意を生かして理想的人格を完成させるべき，と主張した（＝人道主義〔理想主義〕）。代表的作家は，宮崎県に「新しき村」を建設した**武者小路実篤**（むしゃのこうじさねあつ）や，その友人の志賀直哉（しがなおや）・有島武郎（ありしまたけお）ら。

C　耽美（たんび）派

永井荷風（かふう）・谷崎潤一郎（たにざきじゅんいちろう）ら。

D　**宮沢賢治**（みやざわけんじ）（1896 ～ 1933 年）

岩手県出身。法華経に傾倒し，農業と宗教・芸術の融合を目指し農民芸術を説いた。

詩集『春と修羅（しゅら）』，童話『注文の多い料理店』『銀河鉄道の夜』など。

※「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」「雨ニモ負ケズ」などの言葉を残す。

③ノーベル文学賞と戦後の文学

A　ノーベル文学賞受賞者

川端康成（やすなり）（『伊豆の踊子（おどりこ）』『雪国』），大江健三郎（『飼育』『ヒロシマノート』）。

B　その他の有名作家

太宰治（だざいおさむ）（『斜陽』『人間失格』），松本清張（せいちょう）（『点と線』），司馬遼太郎（しばりょうたろう）（『竜馬（りょうま）がゆく』），安部公房（こうぼう）（『砂の女』），三島由紀夫（ゆきお）（『仮面の告白』），村上春樹（はるき）（『ノルウェイの森』）など。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 *Note* 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　日本の近代哲学と民俗学

①日本の近代哲学

臣民は「法律の範囲内」なら自由に生きてよい，と大日本帝国憲法で謳（うた）われたこともあり，日本でも「どう生きる」を考える学問が発生した。それは，哲学の伝統がない日本に西洋哲学を移植・融合するところから始まった。

Ａ　**西田幾多郎（きたろう）**（1870 ～ 1945 年）→「西田哲学」

京都帝国大学教授。自己の哲学の根底に坐禅体験を置きつつ，ギリシャ以来の西洋哲学についても理解を深めた。主著『**善の研究**』『自覚に於（お）ける直観と反省』『無の自覚的限定』。

※西洋哲学では，主観･主体（＝認識する自分の意識）と，客観･客体（＝認識される対象物）を対立的に捉える。彼は，主観と客観が分かれる以前の**「主客未分（しゅかくみぶん）」**状態で直接的に経験することの内にこそ真の自己が存在するとして，この経験を**「純粋（じゅんすい）経験」**と呼んだ。

※「個人あって経験あるにあらず，経験あって個人あるのである」と語り，独我論から脱することができたとし，倉田百三（ひゃくぞう）（劇作家・評論家）ら大正期の青年に多大な影響を与えた。

Ｂ　**和辻哲郎（わつじてつろう）**（1889 ～ 1960 年）→日本の代表的倫理学者

東京帝国大学教授。夏目漱石，西田幾多郎の影響を受ける。ドイツに留学し，実存主義のハイデッガーにも関心をもち，西洋思想を理解しながら，日本独自の倫理学を生み出した。主著『**人間の学としての倫理学**』『倫理学』。

※彼は，西洋の人間観を個人の視点に偏（かたよ）りすぎだと批判し，真の自己は，個人と社会との相互作用により成立し，一方を重視しすぎるものではないとした。また，人間は他人との相互関係で存在しうる**「間柄（あいだがら）的存在」**であり，自己は大切だが孤立はせず，社会に埋没（まいぼつ）する存在でもないと考えた。

※和辻哲郎は，日本の文化や精神，風土と精神の関係などの研究にも功績を残した。『**古寺（こじ）巡礼**』では，奈良の古寺に残る仏教芸術が，中国･インド･ギリシャなどの古代芸術と多くの共通点をもつことを指摘した。また，『**風土**』では，世界各地の自然・文化風土と，そこに生きる人々の精神的特徴を研究した。

Ｃ　**九鬼周造（くきしゅうぞう）**（1888 ～ 1941 年）

京都帝国大学教授。ヨーロッパに留学してフランスのベルクソンやドイツのハイデッガーに影響を受ける。帰国後，最新の西洋哲学を紹介するとともに，「野暮（やぼ）」に対する「粋（いき）」という江戸時代の美意識を分析し，『**「いき」**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

の構造』を著した。

D　その他の哲学者

仏教哲学者の**鈴木大拙**（だいせつ）（1870～1966年，西田幾多郎の友人），マルクス主義系歴史哲学者の三木清（みききよし）（1897～1945年，特高警察に検挙され獄死）など。

②日本の民俗学

民俗学とは，庶民の生活の中に伝わる知識や文化，すなわち民間伝承や習俗を研究する学問をいう。

A　**柳田国男**（やなぎたくにお）（1875～1962年）→**日本民俗学の祖**

彼は，日本民族の歴史･文化の基盤は，村落など共同体に生きる無名の人々（＝**常民**（じょうみん））の生活にあると考えた。そして，従来の有名人中心・文献中心の歴史学を批判，常民の習俗や儀礼の中に日本文化の真の姿を求め，各地の民間伝承を筆録するなどして研究を進めた。主著『**遠野**（とおの）**物語**』『先祖の話』。

※村落共同体の景観と信仰の関係についても考察を深め，民俗学を，日本人の精神を探究する学問として**新国学**とも呼んだ。

B　**折口信夫**（おりくちしのぶ）（1887～1953年）→国文学者・歌人としては釈迢空（しゃくちょうくう）

柳田国男の知遇を得て，民俗学・国文学・芸能史にまたがる研究を行い，特に神のあり方について考察した。主著は小説『死者の書』。

※神の原型は，海の彼方（かなた）にある常世国（とこよのくに）から定期的に村落を訪れる来報神「**まれびと**」であり，人々は共同体の外部に理想的な世界を思い描いていたと考えた。

※近世以来の伝統的な国学を批判的に継承し，自らの学問を「新国学」とした。

C　**南方熊楠**（みなかたくまぐす）（1867～1941年）→生物学者（とくに粘菌学）でもある

民俗学に加え生物学者でもある彼は，小規模神社の３割以上を廃止する神社合祀令（1906年）が出された際，古い社や鎮守の森が破壊されるとして反対運動を起こした。

※鎮守の森は，人々の信仰心や共同性を育むものとして必要であり，生態学の研究対象としても重要だと主張した。

D　**柳宗悦**（やなぎむねよし）（1889～1961年）→哲学者・美術評論家でもある

白樺派の一員でもあった彼は，無名の職人によってつくられた実用品に日本の美を発見し，**「民芸」**という造語を広めた（＝**民芸運動**）。

※朝鮮半島の芸術・文化にも高い価値を見いだした。

E　その他

『忘れられた日本人』を著し離島（りとう）研究をした宮本常一（つねいち）（1907～81年）など。

3　大正デモクラシー以後の思想

①大正デモクラシーの思想―大正期―

日清・日露戦争に連勝して明治末期に不平等条約が改正され，日本は名実ともに列強の一員となった。国際社会では，第一次世界大戦（1914 ～ 18 年）後の平和体制確立やロシア革命（1917 ～ 22 年）の成功もあり，自由主義的な風潮とともに社会主義的な風潮も強まっていた。日本では，**（天皇主権である大日本帝国憲法の枠内で）政党政治や普通選挙などの市民的自由を求める風潮**が広がり，「**大正デモクラシー**」と呼ばれた。

※その下で，労働争議・小作争議・普選運動・**女性解放運動**・**部落解放運動**（『水平社宣言』を起草した西光万吉（さいこうまんきち）ら**全国水平社**による）・**超国家主義運動**（『日本改造法案大綱（たいこう）』を著した**北一輝**（きたいっき）らによる）など，各種の**社会運動**が盛んになったが，1918 年に全国で起きた米騒動のように，過激化することもあった。

A　**美濃部達吉**（みのべたつきち）（1873 ～ 1948 年）→法学者

天皇は法人としての国家の最高機関である，という**天皇機関説**を唱え，大正デモクラシーの理論的支柱となった。

※のち，満州事変後の「昭和ファシズム」の風潮の下で，貴族院議員辞職・著書発禁に追い込まれた（1935 年，天皇機関説問題）。

B　**吉野作造**（さくぞう）（1878 ～ 1933 年）→政治学者

東京帝国大学教授であった彼は，雑誌『中央公論』誌上に『憲政の本義を説いて其（その）有終の美を済（な）すの途（みち）を論ず』を寄稿し**民本主義**（みんぽん）を提唱した。あくまでも天皇主権の枠内で市民的自由を求める，という新しい発想は，社会主義・超国家主義すなわち左右から批判を浴びたが，経済学者・文学者・教育学者らとともに啓蒙思想団体の黎明会（れいめいかい）を組織し，大正デモクラシーを牽引（けんいん）した。

C　**石橋湛山**（たんざん）（1884 ～ 1973 年）→評論家・政治家

雑誌『東洋経済新報』で軍備や植民地を放棄する「小日本主義」を唱え，第一次世界大戦後の国際平和体制における日本の方向性を示そうとした自由主義者。

※第二次世界大戦後は，大臣や首相を歴任した。

D　**平塚らいてう**〔明（はる）〕（1886 ～ 1971 年）→女性解放運動家

明治末期，初の女性文学団体である**青鞜社**（せいとう）を興し，**雑誌『青鞜』**創刊号の「**元始，女性は実に太陽であった**」という言葉で「新しい女」の生き方を主張，女性の自立を呼びかけた。のち市川房枝（ふさえ）（1893 ～ 1981 年）・奥むめお（1895

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〜 1997 年）らと新婦人協会を結成し，女性の社会的地位の向上を訴えた。

※大正時代, 与謝野晶子と平塚らいてうの間に「母性保護論争」が起きた。与謝野は「経済的・精神的自立を果たさない女性には子を産む資格なし」，平塚は「国が母親に対し福祉政策をとるべき」と主張した。

※女性解放運動は，自由民権運動に参加した岸田〔中島〕俊子や**景山〔福田〕英子**(ひでこ)らを先駆(せんく)とする。

②昭和ファシズムと戦後思想―昭和期―

1920 年代の経済恐慌の連続を経て，30 年代以降，戦争への道を向かう過程で，全体主義的な「**昭和ファシズム**」期に突入し，治安警察法や治安維持法により，言論・思想統制が行われるようになった。戦時中は，画一的な戦争協力への姿勢を求められたが，戦後，自由な言論が認められて活発化した。

A　**小林秀雄**(ひでお)（1902 〜 83 年）→文芸評論家

批評形式を取りつつ自らの思想を表現する，近代批評の確立者。西洋とも中国とも異なる日本文化の伝統に関心を深め，古典や美術を研究した。著書に評論『**様々**(さまざま)**なる意匠**(いしょう)』，随筆『**無常といふ事**』などがある。

B　**坂口安吾**(あんご)（1906 〜 55 年）→小説家

終戦後，評論『**堕落論**(だらくろん)』を発表し，日本や日本人がどん底まで堕(お)ち切るところから再生が始まる，と説いた。小説『白痴(はくち)』も有名。

※ 太宰治らとともに「無頼派(ぶらいは)」の代表作家。

C　**丸山真男**(まさお)（1914 〜 96 年）→政治学者

『**超国家主義の論理と真理**』『**日本政治思想史研究**』などを著し，日本には自由・平等などの理念が全く育っていなかったこと（＝近代の未成熟）を批判，「無責任の体系」として天皇制や軍国主義を論じた。

※彼は，本来，近代社会であれば，人々は日々の生活から得た経験を自ら検討し，その結果に基づいて自由かつ主体的に行動するはずだとした。この点で，個人の自由が制限されていた戦前の日本は近代国家の水準に達していなかった，と分析し，国家を再生しようとする戦後の学生たちの爆発的な支持を得た。

D　その他の評論家

『雑種文化』の加藤周一(しゅういち)，『共同幻想論』の吉本隆明(たかあき)など。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第13講　倫理確認テスト

1　雑誌『文学界』を創刊したロマン主義の代表的な文学者で，肉体的な「外部生命」よりも精神的な「内部生命」を重視し，「想世界」の充実を主張した人物とは？

①　北村透谷　②　島崎藤村　③　樋口一葉　④　与謝野晶子

2　夏目漱石が晩年に目指した境地とは？

①　諦念　②　則天去私　③　間柄的存在　④　まれびと

3　森鷗外の代表作としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　『舞姫』　②　『青年』　③　『阿部一族』　④　『破戒』

4　武者小路実篤・志賀直哉・有島武郎らが所属したグループとは？

①　明六社　②　自然主義　③　白樺派　④　耽美派

5　『善の研究』を著した，日本近代哲学の先駆者とは？

①　西田幾多郎　②　鈴木大拙　③　九鬼周造　④　柳宗悦

6　和辻哲郎の著作としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　『風土』　②　『古寺巡礼』

③　『人間の学としての倫理学』　④　『「いき」の構造』

7　1906年に発布された神社合祀令に反対した民俗学者とは？

①　柳田国男　②　折口信夫　③　南方熊楠　④　宮沢賢治

8　天皇機関説を唱え，大正デモクラシーの理論的支柱となった人物とは？

①　石橋湛山　②　北一輝　③　吉野作造　④　美濃部達吉

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　雑誌『青鞜』を創刊し，「元始，女性は実に太陽であった」と寄稿した人物とは？

①　景山英子　②　与謝野晶子　③　平塚らいてう　④　市川房枝

10　『様々なる意匠』などで，日本の近代批評を確立した人物とは？

①　小林秀雄　②　丸山真男　③　加藤周一　④　吉本隆明

解答

1	①	2	②	3	④	4	③	5	①
6	④	7	③	8	④	9	③	10	①

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第14講　西洋近代思想の誕生

1　ルネサンス〔文芸復興〕

14世紀以降のルネサンス〔文芸復興〕を支えた**人文主義〔人間中心主義〕**とは，古代ギリシャ・ローマの文化を学ぶことによって，**人間性を回復**することをめざした思想･運動である。**中世ヨーロッパの「神」中心の秩序に代わる，新たな「人間」中心の秩序が求められ**，人々は古典の中にそれを見いだそうとした。古典研究は，単に知識や教養を深めるのではなく，現状を批判し克服していく方法の探究であった。

①ルネサンス期の文芸

A　**ダンテ**（1265～1321年，**イタリア**）

叙事詩『**神曲**（しんきょく）』を著し，ルネサンスの先駆（せんく）となる。

B　**ペトラルカ**（1304～74年，**イタリア**）

叙事詩『**カンツォニエーレ**』で恋愛感情を表現した。

C　**ボッカチオ**（1313～75年，**イタリア**）

小説『**デカメロン**』で，聖俗を問わず，ほぼ全ての階級・職業の人々が，人間的な欲望に動かされながら生きる姿を大胆かつ滑稽（こっけい）に描き出した。

※欲望を肯定（こうてい）し，カトリック教会や聖職者を批判。

②ルネサンス期の思想

A　**ピコ＝デラ＝ミランドラ**（1463～94年，**イタリア**）

『**人間の尊厳について**』で，人間は自分の価値を自ら選ぶことができる名誉ある存在であり，**自由意志**によって創造的に生きることができると説いた。

B　**エラスムス**（1466～1536年，**オランダ**）

『**愚神礼讃**（ぐしんらいさん）〔**痴**（ち）**愚神礼讃**〕』で，カトリック教会の腐敗や堕落，神学者の聖書解釈の愚劣さを痛烈に風刺して，宗教改革に影響を与えたとされる。また，『自由意志論』を著し，人間の自由意志の存在も唱えた。

※彼は，ラテン語訳の聖書の誤りを正すため，『新約聖書』のギリシャ語原典を新たに校訂・翻訳した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

C　**トマス＝モア**（1478～1535年，**イギリス**）

15世紀末のイギリスでは，第一次囲い込み運動〔エンクロージャー〕が起き，領主や地主により土地を奪われた農民があふれて社会不安の一因となった。彼は，このような富の偏在と腐敗の原因は私有財産制にあるとし，「どこにもない理想郷」という意味で『**ユートピア**』を著した。

※平等社会における自由な生活を具体的に示し，当時の社会を批判した。

D　**マキャヴェリ**（1469～1527年，**イタリア**）

当時のイタリア分裂抗争の原因は，外国の干渉と国内の腐敗・堕落にあるとし，政治は現実を直視して行われなくてはならないと主張，侵略の危機にさらされている国家の状況克服を訴えた。

※著書『**君主論**』では，現実に対応できる君主は宗教的権威よりも軍事力に比重を置き，場合によっては非道徳的手段も許されるとし，これを「獅子の勇猛さと狐（きつね）の狡猾（こうかつ）さ」と表現した。このような考えは，後に**権謀術数**（けんぼうじゅっすう）**主義**〔**マキャヴェリズム**〕と呼ばれ，政治を宗教・道徳から分離させた点において，近代政治学の基礎となっている。

③ルネサンス期の美術

A　**ボッティチェリ**（1444～1510年，**イタリア**）

絵画『**春〔プリマヴェラ〕**』『**ヴィーナスの誕生**』など。

B　**ラファエロ**（1483～1520年，**イタリア**）

絵画『**アテネの学堂**』，さまざまな聖母子像など。

C　**レオナルド＝ダ＝ヴィンチ**（1452～1519年，**イタリア**）→**万能人〔普遍**（ふへん）**人〕**の典型。**遠近法**など斬新（ざんしん）な技法による絵画（『**最後の晩餐**（ばんさん）』『**モナ＝リザ**』など）を制作したり，軍事・土木技術や都市計画に携（たずさ）わったりした。

※天文学・物理学・解剖学など，さまざまな分野にわたる観察結果やアイデアなどを記した膨大な手稿（しゅこう）を残した。

D　**ミケランジェロ**（1475～1564年，**イタリア**）

絵画『最後の審判』，彫刻『ダヴィデ』など。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　宗教改革と反宗教改革

①ルター（1483 ～ 1546 年）の宗教改革

A　人物

ドイツで鉱夫の親方の子として生まれる。22 歳の時，落雷に襲われ死への恐怖を感じたことから大学を去り，修道生活に入る。29 歳でヴィッテンベルク大学の神学教授となり，34 歳の時，**カトリック教会の贖宥状**（しょくゆうじょう）**〔免罪符〕政策を批判**して**宗教改革**を開始。教会から破門され，神聖ローマ帝国から追放となるが，教皇や皇帝と対立する有力諸侯と市民の庇護（ひご）を受けて改革を続け，63 歳で死んだ。

※ルターは，彼の説に影響を受けたミュンツァーが指導するドイツ農民戦争に同情的であったが，それが革命運動化・暴徒化したことを批判し，のちに弾圧側に回った。

※エラスムスの『自由意志論』に対し，『**奴隷意志論**』の著書がある。

B　改革の開始と継続

1517 年，ルターは『**95 カ条の論題〔意見書〕**』を発表し，カトリック教会を批判したことから，教皇レオ 10 世に破門され，神聖ローマ皇帝カール 5 世に帝国追放処分を受けたが，庇護者を得て改革を続けた。

C　主張

あ　**信仰義認説・福音主義→**パウロの教えへの回帰

著書『**キリスト者の自由**』によれば，神の前では全てのキリスト者は平等であり，教会の権威や教会が勧める善行（ぜんこう）・功徳（くどく）を積むことではなく，ひたすら信仰することで直接神と向き合うべきと説いた。

い　**聖書中心主義**

神の言葉を伝える聖書のみが，キリスト教信仰の拠りどころであるとした。

※聖書を一般の人も読めるように，ラテン語から**ドイツ語に翻訳**（ほんやく）。

う　**万人司祭主義**（ばんにんしさい）

キリスト者は，皆等しく神の前に立つ者であり，その観点からは世俗の者も司祭である。誰もが聖書を通して直接神と関わることができるのだから，特権的身分の聖職者は不要であるとした。

え　**職業召命観**（しょうめい）

世俗の職業は卑しく聖職は高貴である，という従来の考えを否定し，職業は全て神から与えられた神聖なものであり貴賤（きせん）などない，とした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　支持者たち

従来のカトリック（＝普遍的な教え）に対し，ルターの説を支持する人々を**プロテスタント**（＝抗議する者）といい，この新しい思想を**プロテスタンティズム**と呼ぶ。

※カトリック〔旧教〕の神父・司祭と違い，プロテスタント〔新教〕の牧師は特別な身分ではなく，世俗の職業との兼任や結婚も認められる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②カルヴァン（1509 ～ 64 年）の宗教改革

A　人物

フランスの法律家の子として生まれる。ルターの信仰義認説・福音主義の影響を受けたためカトリック教会から異端視され，大学卒業後に**スイス**に亡命。**ジュネーヴ**で禁欲的な神権政治を主導するなど，独自の**宗教改革**を進めた。55 歳で死去。主著『**キリスト教綱要**（こうよう）』。

B　主張

あ　**予定説**

神は個別の人間の救済の可否（かひ）についてあらかじめ決定しており，人間はその決定を変更することはできない，と説いた。

い　ルターの職業召命観の継承・発展

人が自らの救済を確信するためには，各人が聖書の教えに従い，神への奉仕として与えられた世俗の職業に禁欲的に励むべきであるとした。

※ルネサンス期に理想とされた「万能人〔普遍人〕」に対し，**「職業人〔専門人〕」**という新たな人間像を生む。

う　**天職**

自らの職業に励み，富を増大させることは正当であり，蓄財（ちくざい）を還元して社会を改善しようと努力することが大切である，と考えた。

※職業は天の神から与えられた使命であり，あらゆる個人は，身分とは関係なく神の前で平等であると説いた。

え　改革の波及

カルヴァンの思想は，西ヨーロッパの商工業者の間に広く普及し，16 世紀後半には，フランス・オランダ・イングランド・スコットランドに広がり，ルター派と並ぶ一大勢力となった。

※カルヴァン派は，フランスではユグノー，オランダではゴイセン，**イングランド**では**ピューリタン〔清教徒〕**，スコットランドではプレスビテリアンと呼ばれた。

お　後世への影響

20 世紀前後の**ドイツの社会学者マックス＝ウェーバー**は，世俗の労働を卑（いや）しいものと考えるカトリックに対し，利潤や利子まで積極的に認めるプロテスタントの職業召命観が経済発展を促進した，と『**プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神**』で分析した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③反宗教改革〔対抗宗教改革〕

プロテスタント〔新教〕の進展に焦りを感じたカトリック〔旧教〕は，教義の明確化と内部革新を通じて勢力回復をめざした。

A　トリエントの公会議（イタリア，1545 ～ 63 年）

ローマ教皇の権威を再確認するとともに，教会の腐敗防止をはかる。

※禁書目録をつくり，宗教裁判を強化して思想統制を行う。

B　**イエズス会**の結成（1534 年）

イグナティウス＝ロヨラや**フランシスコ＝ザビエル**が結成。イエズス会は，プロテスタントやイスラームへの対抗心から，南ヨーロッパや海外へ宣教活動を行い，カトリック勢力の回復に貢献した。

※ザビエルは 1549 年に鹿児島に上陸して日本にキリスト教を伝えた。

※他に，フランシスコ会やドミニコ会なども活躍した。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　モラリスト

宗教改革以降，**フランス**に**モラリスト**と呼ばれる思想家が現れた。当時は各地でカトリック〔旧教〕とプロテスタント〔新教〕の対立から**宗教戦争**が起き，そうした惨禍をもたらす宗教のあり方や人間の生き方に対し，冷静な批判が必要になっていた。彼らは,柔軟で自由な見地から人間の姿を見つめて生き方を思索し，随筆形式の手記を残した。

※モラリストは，ルネサンス･宗教改革を経て，価値観の対立で混乱するヨーロッパにあって，人間を深く観察し，その能力や人間性を謙虚に捉え，生き方を探究した思想家。彼らの手記には格言〔マキシム〕や警句〔アフォリズム〕が散りばめられている。

①モンテーニュ（1533 ～ 92 年）

Ａ　人物

フランス貴族の子として生まれる。法務官僚として勤務後，38 歳で退職して故郷のボルドーに戻り，居城で思索・瞑想と『**随想録**(ずいそうろく)**〔エセー〕**』を執筆する日々を送った。のち市長を務め，宗教戦争（＝ユグノー戦争）の鎮圧にもカトリックの立場から尽力した。59 歳で死去。

Ｂ　主張

あ　**「ク＝セ＝ジュ〔私は何を知るか〕」→懐疑**(かいぎ)の精神をもち自己を見つめる

人間の理性は不完全であり，そのままでは絶対的真理を認識することはできないため，常に独断や偏見を控え，謙虚な態度で思索を深めるべきであるとした。

※「すでに真理は見いだされた」とする独断論や，「どうせ真理は知り得ない」と決めつける極端な懐疑論の両者を批判し，中庸(ちゅうよう)の立場をとる。

い　**寛容の精神**

宗教戦争の調停にも心を砕き，他者に対する**寛容さ**を重視した。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②パスカル（1623 〜 62 年）

A　人物

フランス貴族の子として生まれ，３歳で母を失う。生来の虚弱体質であったが，幼少時から物理学と数学に優れた才能を発揮。大陸合理論のデカルトとも交流し，のちに「パスカルの原理」「パスカルの定理」などを発表した。31 歳の時，「決定的回心」を経験し，信仰生活に入る。39 歳で死去後，無神論者に対し書き留められていた断片が，遺稿集『**瞑想録**（めいそうろく）〔**パンセ**〕』として出版された。

B　主張

あ　**「人間は考える葦（あし）である」**

『瞑想録〔パンセ〕』の中で，「この宇宙の沈黙は私を震撼（しんかん）させる」と語り，広大な宇宙の中で，自分がどこから来てどこへ向かうのか知らないまま，偶然存在していることへの驚きと畏（おそ）れを表現した。

※また，「人間はひと茎（くき）の葦にすぎない。自然の中で最も弱いものである。だが，それは**考える葦**である」「空間によって宇宙は私を包み，一つの点のように飲み込む。考えることによって，私は宇宙を包む」と語り，広大な宇宙に対し，人間は孤独で無力な**悲惨（ひさん）さ**をもつ存在であるが，思考するところに**偉大さ**をもつとした。

い　**中間者**

人間は，悲惨さと偉大さの中間をさまよう存在とし，自らの悲惨さを認識しうる自覚的・反省的思考に人間の尊厳と生き方を見いだした。

※人々が学問や社交，娯楽や賭け事などの**「気晴らし」**をすることは，死や孤独，不安をもつ自己の悲惨さから一時的に目を逸らしてくれる。しかし，最後には絶望や悲哀に落ち込んでしまうと考え，その悲惨さからの救いとして，カトリック信仰を説いた。

う　**繊細な精神**

人間のあり方や事柄の本質を捉えるためには，推理や論証を行う能力（＝**幾何学（きかがく）的精神**）だけでなく，柔軟に直感で物事を把握する能力（＝繊細な精神）が必要であるとした。

※直感を重視したパスカルは，神は理論的に把握するものではなく，心情により信じるものと考えていた。また，一時期交流したデカルトに対しては，幾何学的精神はあっても繊細な精神に欠ける人物だと批判した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 14 講　倫理確認テスト

1　14 世紀，ルネサンスが始まった国を現在の国名で答えよ。

①　イタリア　　②　ドイツ　　③　イギリス　　④　フランス

2　近代小説の先駆となった『デカメロン』を発表したイタリア人とは？

①　ダンテ　　②　ペトラルカ　　③　ボッカチオ　　④　マキァヴェリ

3　『愚神礼讃』『自由意志論』を著し，『奴隷意志論』を著したドイツのルターと論争したオランダ人とは？

①　エラスムス　　②　トマス＝モア　　③　ラファエロ　　④　カルヴァン

4　信仰義認説・福音主義・聖書中心主義・万人司祭主義・職業召命観というキーワードが全て当てはまる人物とは？

①　パウロ　　②　トマス＝アクィナス　　③　ルター　　④　モンテーニュ

5　カルヴァンが，禁欲的な神権政治を主導するなど宗教改革を進めた都市はどこか？

①　フィレンツェ　　②　ジュネーヴ　　③　ロンドン　　④　パリ

6　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』を著し，資本主義の発展を分析したドイツの社会学者とは？

①　ミケランジェロ　　②　マックス＝ウェーバー

③　ルソー　　④　フランクル

7　16 世紀，反宗教改革〔対抗宗教改革〕を進めた勢力とは？

①　ユダヤ教会　　②　カトリック教会

③　東方正教会　　④　プロテスタント

8　モンテーニュやパスカルなどのモラリストは，どの国に現れたか？

①　ギリシャ　　②　イタリア　　③　イギリス　　④　フランス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　モンテーニュの言葉を以下から選べ。

①「私は知らないことを知っている」

②「獅子の勇猛さと狐の狡猾さ」

③「ク＝セ＝ジュ〔私は何を知るか〕」

④「人間は考える葦である」

10　パスカルの遺稿集を以下から選べ。

①『人間の尊厳について』　②『キリスト者の自由』

③『随想録〔エセー〕』　④『瞑想録〔パンセ〕』

解答

1	①	2	③	3	①	4	③	5	②
6	②	7	②	8	④	9	③	10	④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 15 講　近代の合理的精神

1　近代科学の誕生

近代科学とは，キリスト教の権威に基づく価値付けに囚われず，自己の理性を信じ，客観的に考え自然を理解しようとする学問である。また，このような姿勢で主体的に生きる道を問う学問が，近代哲学である。

※近代科学者・哲学者は，自然現象を説明する際，「神の意思」の介入があることは否定したが，キリスト教そのものを否定したわけではなかった。

①コペルニクス（1473 ～ 1543 年，ポーランド）

世界を支配しているのは神，という信念はもったまま，カトリック教会が公認するプトレマイオス（２世紀，ギリシャ）の**天動説を否定**し，太陽の周囲を地球が回っているとする**地動説を提唱**して『**天体〔天球〕の回転について**』を著した。

②ガリレオ = ガリレイ（1564 ～ 1642 年，イタリア）

望遠鏡による天体観測の結果，宇宙は神が創造した絶対空間であり，地球はその中を動く惑星だと主張した。そして『**天文対話**（てんもん）』を著してコペルニクスの**地動説を支持**したが，カトリック教会により**宗教裁判**にかけられると，撤回を余儀なくされた。

※ガリレイは退廷時に「それでも地球は動く」とつぶやいたとされるが，これ以後，幽閉されて監視下での生活を送った。

③ケプラー（1571 ～ 1630 年，ドイツ）

天体運動の観測に基づき，惑星が楕円軌道を描いて運動する法則（＝ケプラーの法則）を発見し，コペルニクスの**地動説を支持**した。

④ニュートン（1642 ～ 1727 年，イギリス）

ケプラーの影響を受けて**万有引力**（ばんゆういんりょく）**の法則**を発見，『**プリンキピア**〔自然哲学の数学的原理〕』を著した。

以上の４名に共通するのは，キリスト教への信仰心をもってはいたが，その教義に囚われず自然と向き合い，その姿を解明しようとしたことである。彼らは，自然の真理に迫るために仮説を立て，観測・観察に基づき一定の条件下で実験を繰り返し，法則性を見いだそうとした。このことが**科学〔サイエンス〕**の出発点となった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　イギリス経験論

①フランシス＝ベーコン（1561 ～ 1626 年）

A　人物

絶対王政時代の**イギリス**に高級官僚の子として生まれる。議員を経て法務官僚のトップに昇り詰めたが汚職事件で失脚，以後は著述に専念した。感覚的経験に基づく思考を追及し，古代・中世の自然に対する価値観や学問を否定した最初の知識人。腐敗防止の実験のため雪の日に戸外で鶏の腹に雪を詰め，それがきっかけで肺炎となり 65 歳で死去。主著『**ノヴム＝オルガヌム〔新機関〕**』『ニュー＝アトランティス』。

B　主張

あ　**「知は力なり」**

本来，知識とは生活の向上に役立つものであるべき，と考え，知識は人間の力の源泉であると説いた。

い　**「自然は服従することによってでなければ征服されない」**

知識は自然を支配して活用する力であり，自然法則の発見により獲得できる。しかし，そのためには，謙虚に自然を観察しなければならないとした。

う　**（イギリス）経験論**

先入観や偏見を排除して，自然をありのままに観察する必要性を説き，経験によってのみ得られる事実を最重視した。

え　**４つのイドラ**（＝偏見・先入観・偶像・幻影）

1　**種族のイドラ**→見間違い，聞き間違い，錯覚など

例：「肉眼で見えないから微生物は存在しない」と考える。

2　**洞窟のイドラ**→限られた視野で真実の全体が見えたと思い込む

例：「Ｂ型はマイペース，自分の周囲はそうだから」などの決めつけ。

3　**市場（いちば）のイドラ**→いい加減な話題を真実と思い込む

例：「ネットでこう書かれていたから」という理由で正しいと思い込む。

4　**劇場のイドラ**→伝統や権威を妄信する

例：「代々のしきたりなので意味がある」といった無批判な判断。

お　**帰納法（きのうほう）**→イドラを避け正しい知識を得るための方法

観察や実験から得られた多くの個別的事実を整理し，その中から一般法則を発見しようとする方法。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

例：ソクラテスは死んだ，プラトンもアリストテレスも死んだ（＝個別的事実）→ゆえに全ての人間は死ぬ（＝一般法則）

②その他の経験論者

A　**ホッブズ**（1588 〜 1679 年，**イギリス**）

全ての事象は，自然法則に従う物体の機械的な運動として説明できる，と機械論的唯物論を唱えた。

※人間の知識とは，刺激が脳に伝わり生まれる快・不快の感覚が記憶として蓄積されたものであり，人間の意志〔意思〕とは，その経験から快を求めているにすぎない。すなわち，人間は意志を自由に働かせて行動しているわけではなく，経験に由来する外界知識が意志を決定する，と説いた。

B　**ロック**（1632 〜 1704 年，**イギリス**）

著書『人間悟性論』で，本来，人間の心は何も書き込まれていない**白紙〔タブラ＝ラサ〕**のようなものであり，あらゆる観念は経験に基づいて構築されたものであると説いた（＝**生得観念〔本有観念〕の否定**）。

※人間の理性は経験なくしては働き得ないとしてベーコンの経験論を確立，デカルトの合理論を批判した。

C　**バークリー**（1685 〜 1753 年，**アイルランド**）

「存在するとは知覚されることである」と述べ，物事は人間の心によって知覚されなければ存在しない，という立場をとった。

※事物の存在の根拠は人間の心の働きにあるとする**唯心論**。

D　**ヒューム**（1711 〜 76 年，**イギリス**）

帰納法から導かれ発見されたとする因果関係（＝**因果律**）は，その人が習慣として考えるようになった，いわば感じ方の癖にすぎない，と考えた。

※原因と結果の間に因果関係などなく，人間は日頃の知覚の蓄積から推論し，そこに因果律があるに違いないと見ているだけで，全ての主張は信念（＝正しいと信じていること）にすぎないという**懐疑論**の立場をとった。主著『人間本性論』。

※知覚した経験の蓄積で世界を認識しているという意味で，人間を**「知覚の束」**と呼んだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　大陸合理論

①デカルト（1596 ～ 1650 年）→近代哲学の父

A　人物

フランスの高級官僚の子として生まれる。大学でスコラ哲学に失望し，旅をしたり軍隊生活を送ったりした。のちに学者として自立，オランダのアムステルダムに定住する。晩年はスウェーデンの女王に招かれてストックホルムに向かい，53歳で死去。主著『**方法序説**』『省察（しょうさつ）』『哲学原理』『**情念論**』。

B　主張

あ　**（大陸）合理論**

経験や感覚は真理を取り違えさせる疑わしいものとして，重視しなかった。人間が生まれながらに備えている**理性・良識〔ボン＝サンス〕**によって，まず疑い得ない真理・原理を見つけ，そこから推論を積み重ねていく過程で得られる知識こそが，真に実用的な知識である，と説いた。

い　**「われ思う，ゆえにわれあり〔コギト＝エルゴ＝スム〕」**

あらゆるものを徹底的に疑っても，なお疑い得ないのは，疑っている自我（＝肉体から独立している精神）が存在している事実である，との結論に達した。

う　**方法的懐疑**

「考える」自我の存在を，最も根本的な真理として哲学の第一原理に位置付けた。

※このように，真理に到達するための方法として，あらゆるものを疑う手法を確立した。

え　**四つの規則**

１　**明証（めいしょう）の規則**

明らか（＝**明晰（めいせき）**）で明確に区別できる（＝**判明**）ものしか受け入れない。

２　**分析の規則**

対象を細分化して，構造を理解する。

３　**総合の規則**

単純なものから複雑なものへと思考を進めていく。

４　**枚挙（まいきょ）の規則**

事例を挙げ，間違いのないように確認して見渡す。

お　**演繹（えんえき）法**

感覚や経験に頼らず，疑い得ない真理から論理的に結論を導こうとす

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

る方法。

例：全ての人は死ぬ, とすれば(＝確実な真理)→ソクラテスは死んだ, プラトンもアリストテレスも死んだとき(＝実例への適用)→全ての人はソクラテス・プラトン・アリストテレスと同様に死ぬ（＝結論）

か　**物心〔身心〕二元論**

自然界に存在する**物体と精神を区別**して, **物体**の本質は**延長**（＝長さ・広さ・深さなどの空間的**広がり**）をもつことであるとした。**思惟**（しい）が本質である**精神**には延長がなく, この点において物体と明確に区別される。

※**人は生得観念〔本有観念〕をもつ**とし，経験論のロックと反対の立場をとった。

き　**機械論的自然観**の原型

自然界の物体に質的な価値があるように見えるのは人間の主観のせいにすぎず，そこに精神性は全くないとした。

ベーコンの経験論とデカルトの理論は，アプローチこそ異なるが，自然を理解し，支配するために必要な知識を求めるという点で，動機は等しい。これらは一括して「**近代的合理精神**」と呼ぶことができる。

②その他の合理論者

A　**スピノザ**（1632 〜 77 年，**オランダ**）→ユダヤ系オランダ人

世界の一切は神から必然的に生じるものであり，神と必然的な関係をもっていると唱えた(＝**汎神論**（はんしんろん）)。神に由来する自然に偶然はないため, **経験を用いず理性により世界の全ては把握しうる**。彼は, このように事物を「**永遠の相**（そう）**のもとに**」理解したとき, 人間は最高の喜びを得られると説いた。主著『**エチカ**』。

※物体と精神を**神による一元論**で合一しようとし，世界はそのまま神である（＝**神即**（すなわち）**自然**）と考えた。しかし，神を自然界から超越した存在として位置付けてきたユダヤ教・キリスト教の立場とは相容（あいい）れず，異端としてユダヤ教会から破門された。

B　**ライプニッツ**（1646 〜 1716 年，**ドイツ**）

事物の究極的要素は，非物質的で精神的な実体の**モナド〔単子〕**であり，神はあらかじめ無数のモナドの間に調和的秩序が存在するよう定めている（＝神の意思による**予定調和**）と唱え,『**単子論〔モナド論・モナドロジー〕**』を著した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

４　科学革命と進化論

①科学革命

これまで見てきた 16 ～ 17 世紀頃における近代科学・近代哲学の成立期は，「**パラダイム論**」で有名な 20 世紀の科学史家**トマス＝クーン**（1922 ～ 96 年，**アメリカ**）や歴史家バターフィールド（1900 ～ 79 年，イギリス）によって「**科学革命**」（＝科学分野における**パラダイム変換**〔**パラダイム＝シフト**〕**→目的論的自然観から機械論的自然観へ**）と呼ばれた。

②進化論

19 世紀の**ダーウィン**（1809 ～ 82 年）は，自然淘汰（とうた）・適者生存の**生物進化論**を唱え，著書『**種の起源**』はカトリック教会から厳しい攻撃を受けたが，その説を支持する**スペンサー**（1820 ～ 1903 年，**イギリス**）によって**社会進化論**に発展した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第15講　倫理確認テスト

1　『天体〔天球〕の回転について』を著し，地動説を提唱したポーランド人とは？

①　コペルニクス　②　ガリレイ　③　ケプラー　④　ニュートン

2　「知は力なり」は誰の言葉か？

①　ガリレイ　②　フランシス＝ベーコン

③　デカルト　④　トマス＝クーン

3　ベーコンのいう「四つのイドラ」のうち，性格・身分・教育などによって事物の本性を取り違えてしまうことを何というか？

①　種族のイドラ　②　洞窟のイドラ

③　市場のイドラ　④　劇場のイドラ

4　経験論で用いられる，観察や実験から得られた多くの個別的事実を整理し，その中から一般法則を発見しようとする方法を何というか？

①　問答法　②　帰納法　③　演繹法　④　弁証法

5　本来，人間の心は何も書かれていない白紙〔タブラ＝ラサ〕のようなものである，として，生得観念〔本有観念〕を否定した思想家とは？

①　ベーコン　②　ホッブズ　③　ロック　④　デカルト

6　懐疑論の立場をとり，人間を「知覚の束」と呼んだ思想家とは？

①　モンテーニュ　②　バークリー　③　ヒューム　④　カント

7　物心二元論〔身心二元論〕を唱えたフランスの合理論者とは？

①　デカルト　②　パスカル

③　ライプニッツ　④　バターフィールド

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

8　「神即自然」と考え，汎神論を唱えたスピノザの著書を選べ。

①　『プリンキピア〔自然哲学の数学的原理〕』

②　『ノヴム＝オルガヌム〔新機関〕』

③　『方法序説』

④　『エチカ』

9　神の意思による予定調和を唱え，『単子論〔モナド論〕』を著したドイツの思想家とは？

①　イグナティウス＝ロヨラ　　②　ヒューム

③　バークリー　　④　ライプニッツ

10　社会進化論を唱えたイギリス人学者とは？

①　ベーコン　　②　ロック　　③　ダーウィン　　④　スペンサー

解答

1　①	2　②	3　②	4　②	5　③
6　③	7　①	8　④	9　④	10　④

第16講　社会契約説・啓蒙思想

1　自然法・自然権と社会契約説・啓蒙思想

①自然法・自然権および社会契約説

A　**王権神授説**

16～18世紀のヨーロッパは，**絶対王政**と呼ばれる専制政治の時代であった。王は貴族と大商人に特権を与える一方で，市民階級は抑圧されていた。イギリスのフィルマーやフランスのボシュエは，「王の権力は神との契約によって授けられたので統治権は神聖で不可侵である」と唱えた。

B　**自然法・自然権**

王権神授説を根拠に君臨する王に対して17世紀半ば～18世紀に**市民革命**が起き，自然法・自然権・社会契約説は，その思想的根拠となった。

あ　**自然法**

いつ･いかなる社会でも，誰にでも通用する**普遍的な法**。これに対し，ある時代のある社会にのみ通用する，人が定めた法を**実定法**という。

※ドイツ三十年戦争の悲惨さを見た**グロティウス**（1583～1645年，**オランダ**）は『**戦争と平和の法**』を著し，神の存在によらず全ての人間がもっている理性こそ，いつ・誰にでも通用する自然法の源（みなもと）であるとして平和の重要性を説いた。彼は**「近代自然法の父」「国際法の父」**と呼ばれている。

い　**自然権**

自然法に基づき主張されるようになった，自己保存・自由・平等・所有などの諸権利。

※自然権の発想は，宇宙を支配する理法〔ロゴス〕があるとしたヘレニズム思想のストア派に始まり，神の恩寵（おんちょう）が自然を完成するとした中世スコラ哲学に継承されてきた。

C　**社会契約説**

本来，人間は個々に自由で平等であるが，秩序や平和を守るために，便宜上，社会や国家を形成する取り決めを行った，とする考え。

※社会や国家を形成する以前の状態（＝**自然状態**）から，契約を通じ自然権が保障された**社会状態**（＝国家や政府）に移行するとして，**王権神授説を否定**した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②啓蒙思想

偏見に囚(とら)われた無知蒙昧(むちもうまい)な人々に理性の光を当て，従来の権威や先入観に基づく考えから解放しようという思想を，**啓蒙思想**という。宗教的権威や形而上学(けいじじょうがく)を批判し，近代科学による自然支配の発想を肯定(こうてい)した。

※ 17 世紀後半，イギリスのロックを先駆けに，18 世紀にかけて**フランス・ドイツ**などで展開された。18 世紀は「啓蒙の世紀」とされる。

※いち早く議会政治を始めたイギリスと違い，絶対王政が続き，アンシャン＝レジーム〔旧制度〕の下で民衆が苦しんでいた**フランス**で，啓蒙思想は特に大きな意味をもった。

※さらに遅れていたドイツ・オーストリア・ロシアでは，啓蒙思想は革命理論にはならずに絶対王政と結びつき，君主主導の「上からの近代化」を進める啓蒙専制主義を生んだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　思想家たち

①ホッブズ（1588 ～ 1679 年）

A　人物

イギリス国教会の牧師の子として生まれる。大学卒業後，名門貴族の専属家庭教師として各地を見聞しつつ，執筆活動を行った。**ピューリタン〔清教徒〕革命**（1642 ～ 49 年）が近づくと，絶対王政擁護者と見なされフランスにへ逃れたが，パリで無神論者と非難された。革命のほとぼりが冷めた頃に帰国し，以後は王政復古の世に暮らし，生涯独身で任官もせぬまま 91 歳の長寿を全うした。

B　**自己保存の欲求**

人間の最も基本的な欲求とは，自身の生命を維持・発展させようとすることであると考えた。

※この欲求を満たす権利は，人間が皆，生まれながらにもっている自然権である。

C　**「万人の万人に対する闘争」「人間は人間に対して狼」**

自然権を互いに無制限に主張し合う自然状態では，人間は必ず闘争を引き起こすと考え，平和と自己防衛のためには国家が必要であるとした。

※人間は，自分たちの自然権を放棄し，統治者に全面的に**譲渡**（じょうと）〔**移譲**（いじょう）〕するという契約によって秩序を実現しようとし，国家を誕生させたと考えた。そして，こういった経緯があることから，人間は強大な**絶対主義国家**に服従しなければならない，と主著『**リヴァイアサン**』に書いた。

※リヴァイアサンとは，『旧約聖書』に書かれた架空の海獣（かいじゅう）。

D　近代民主主義の先駆（せんく）

ホッブズの思想は，結果的に絶対王政を擁護したが，それまで国家成立の根拠とされていた**王権神授説を否定**し，**社会契約説を初めて唱えた**ことで，合理的な近代民主主義の先駆け（さきが）となった。

© RECRUIT HOLDINGS

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②ロック（1632～1704年）

A　人物

イギリスのジェントリ〔郷紳（きょうしん）〕と呼ばれる地主の子に生まれ，オックスフォード大学で哲学･宗教･医学を学んだ。王政復古時，ピューリタン〔清教徒〕だったため政争に巻き込まれ，一時オランダに逃れたが，**名誉革命**（**1688**～89年）後に帰国して新政府の高官となる。生涯独身を貫き，72歳で死んだ。主著『**統治論〔市民政府二論〕**』『人間悟性論』。

B　**議会制民主主義**

ホッブズに影響を受けつつも，人間には**理性**が備わっているため，自然状態はそれなりに平和的であると考えた。しかし，人間は常に理性的ではないので，自らの**所有権**を守り，平和な生活を維持していくために国家をつくることで互いが同意した，とした。

※その際，法律を定めたり運用したりすることは政府に委（ゆだ）ねる（＝**信託**（しんたく）する）ことになり，国家は**間接民主制**をとるようになった，と考えた。

C　**抵抗権・革命権**

信託された政府が,生命･自由･**財産**に対する権力を乱用する場合には,人々はいつでも権力を取り返して新たな政府を樹立することができるとし，**名誉革命を正当化**した。

D　**権力分立論**

ピューリタン〔清教徒〕の立場から宗教的迫害に反対して，国家権力を**立法権・執行権・連合権〔外交権〕**に分立すべきと唱えた。

※フランスのモンテスキューらに影響を与えて**啓蒙思想の先駆け**となった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③絶対王政下のフランス啓蒙思想家

A　**モンテスキュー**（1689 ～ 1755 年）

イギリスのロックの権力分立論を模範に，権力が集中していた絶対王政を問題視し，『**法の精神**』を著して**三権分立**の重要性を主張した。

※彼は，国家権力を**立法権・行政権・司法権**に分け，それぞれを独立した機関に担わせることで，相互の**抑制**（よくせい）**と均衡**（きんこう）〔**チェック＆バランス**〕をはかるシステムの重要性を説き，それを欠くフランスの専制政治を批判した。

※『法の精神』は，その自由主義的な思想ゆえにローマ法王庁の禁書目録に加えられたが，アメリカ独立革命やフランス革命に多大な影響を与えた。

B　**ヴォルテール**（1694 ～ 1778 年）

絶対王政を批判して投獄された後，イギリスに渡り見聞を広めた。帰国後に著した『**哲学書簡**』において，ロックが唱えた進歩的な政治制度や思想・文化の紹介を通じ，フランスの現状が遅れていることを批判，科学知識の尊重を主張した。

※特に伝統的偏見やカトリック教会の横暴に対し，**宗教的寛容**の精神について説いた。

C　**ディドロ**（1713 ～ 84 年）・**ダランベール**（1717 ～ 83 年）**→百科全書派**

科学的知識の組織的解明をめざし，学問や技術の成果をまとめた『**百科全書**』全 35 巻を刊行した中心人物で，人民主権・議会制民主主義・個人の権利保護などを唱えた。

※『百科全書』は，モンテスキュー，ヴォルテール，ルソーも関わり，**フランス啓蒙思想の集大成**ともいえるが，封建制を批判する内容が多かったため，編集中にフランス政府から幾度も発禁処分を受けた。

※途中，ディドロが無神論的唯物論に傾いていったことから，ダランベールら大半の思想家が離れたもののディドロが完成させ，世界の学問に多大な影響を与えた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④ルソー（1712～78年）

A　人物

スイスのジュネーブに生まれる。生後間もなく母を亡くし，少年期に孤児となり16歳から放浪。19歳から7年間，ある夫人の援助を受けて暮らし，正式な教育は受けず独学した。30歳で音楽家をめざして**フランス**のパリに出るが，貧しい生活を送る。『百科全書』で音楽項目の編纂作業に加わるも，理性より感情を重視して異端児扱いされた。のち，著書が危険思想と見なされフランスから脱出，各地で逃亡生活を送るが，イギリスで懐疑論のヒュームと不和になったことをきっかけに帰国。その後，孤独と貧困のまま66歳で波乱万丈の生涯を終えた。主著『**人間不平等起源論**』『**社会契約論**』『**エミール**』。

B　**「自然に帰れ」**→自然状態を理想化

「人間は自由なものとして生まれた。しかし，今やいたるところで鎖につながれている」と説き，自然状態における人間は，生まれつきの素朴な**自己愛**と**憐憫**（れんびん）**〔憐れみ〕の情**をもつだけで，虚栄心も，敬意も軽蔑も知らなかった，と考えた。相互の間に取りたてて経済的･法的なやり取りはなく，財産の所有や売買，それに伴う不正や，正義の実現の必要性といった観念も存在しなかった，とした。

※しかし，土地の私有を始めたことで社会に不平等がはびこり，争いがもち込まれた。そこで，身体や財産を守るために共同体の共通の意志に沿って政府を設立し，自分たちの権利を全面的に委ねることにした。ルソーにとって，これが国家の成立であった。

C　私的な**特殊意志**と公的な**一般意志**

人間は，私利私欲を**特殊意志**としてもっている。これらを集めたにすぎない**全体意志**は，何らの統一性もないため，自由で平等な社会の基盤には適さない。人々が**一般意志**（＝全員が賛成できる利害に関する意志）に自身を従わせることを互いに誓い合うことで，理想的な社会が実現するとした。

※ルソーは，利己的な特殊意志の総和として下される多数決による決断（＝全体意志）よりも，共同体全体に利益をもたらす一般意志に自ら従うことのほうが，自由としてより高度であると考えた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　**「一般意志は代表されない」**

ルソーは，一般意志は人民全体のものであるから，人民の主権は譲渡も分割もできないとし，絶対王政を擁護したホッブズや間接民主制を主張したロックを批判，**直接民主制**を説いた。

※**「イギリス人は選挙の時だけ自由だが，選挙が終われば奴隷だ」**と評した。

E　現代自由主義思想の先駆

ルソーの思想は，彼の死後に起こった**フランス革命**（1789 ～ 99 年）の精神的・理論的根拠になるとともに，現代の自由主義思想の形成に多大な影響を与えた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第16講　倫理確認テスト

1　『戦争と平和の法』を著し，「近代自然法の父」「国際法の父」と呼ばれる法学者とは？

①　ヒューム　②　ライプニッツ
③　グロティウス　④　アダム＝スミス

2　偏見に囚われた無知蒙昧な人々に理性の光を当て，従来の権威や先入観に基づく考え方から解放しようという思想を何というか？

①　末法思想　②　啓蒙思想　③　社会主義思想　④　人文主義

3　イギリスのホッブズの著書を一つ選べ。

①　『リヴァイアサン』　②　『人間悟性論』
③　『人間不平等起源論』　④　『エミール』

4　イギリスのロックが正当化した革命とは？

①　科学革命　②　ピューリタン〔清教徒〕革命
③　名誉革命　④　産業革命

5　ロックは，所有権などを守るため，自然権は政府へ（　　　）されていると主張した。

①　譲渡　②　信託　③　一体化　④　専有

6　モンテスキュー，ヴォルテール，ルソーなど，啓蒙思想は主にどの国で展開されたか。

①　ギリシャ　②　イタリア　③　イギリス　④　フランス

7　三権分立を主張した，モンテスキューの著書は？

①　『国家』　②　『三位一体論』　③　『三経義疏』　④　『法の精神』

8　『哲学書簡』を残した啓蒙思想家とは？

①　ロック　②　ヴォルテール　③　ダランベール　④　ルソー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　『百科全書』を中心となり完成させた人物とは？

①　カルヴァン　②　パスカル　③　デカルト　④　ディドロ

10　ルソーのいう，個人としての私利私欲の総和を何というか？

①　全体的正義　②　特殊意志　③　全体意志　④　一般意志

解答

1	③	2	②	3	①	4	③	5	②
6	④	7	④	8	②	9	④	10	③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 17 講　近代市民社会の倫理

1　ドイツ観念論〔ドイツ理想主義〕

①カント（1724 ～ 1804 年）

A　人物

旧ドイツ（現ロシア）のケーニヒスベルクに生まれる。苦学して大学を卒業し, 地方で８年間家庭教師をしていた。この間, **ヒューム**, ルソー, ニュートンの著書から影響を受ける。のち地元に戻りケーニヒスベルク大学教授となり, 80 歳で死去。主著**『純粋理性批判』『実践理性批判』『判断力批判』**（＝三批判書）**『永久〔永遠〕平和のために』**。

※カントの墓には,「心を満たすものが２つある。それは, **わが上なる星の輝く空と, わが内なる道徳法則**である」という言葉が刻まれている。

B　**批判哲学**

理性を用いて認識できる範囲には限りがある, と論じ, 新たな哲学の形式を確立した。ここでいう「批判」とは,「徹底的に吟味（ぎんみ）・検証すること」をいう。

※理性の範囲と限界を明らかにし, それを超えたものについては判断を控える, という立場をとる。

※イギリス経験論と大陸合理論を統合するカントの批判哲学をもって, 啓蒙思想は完成を迎えた。

C　**コペルニクス的転回**

カントは「人間は, 経験以前に, ある対象について感覚した内容それぞれを相互に関連づける能力をもっている」と考え, 対象を感覚する能力を**感性**, 感覚した内容を組み立て概念を当てはめる能力を**悟性**と呼んだ。そして, 必ず感性と悟性の連携を経なければならないことから, 存在そのものを直接（概念を当てはめることなしに）認識することはできない（＝**「物自体は認識できない」**）とした。

※これまで「認識は対象を感覚することから起きる」とされていたことに対し,**「認識は, 人間に認識能力があるから起きている」**として, 従来とは真逆の議論を提示した。カントは, この考え方の転回を, 天動説から地動説への転回を唱えたコペルニクスになぞらえた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　２つの理性

事実認識に基づいて科学的な知識を求める理性（＝**理論理性**）では，神の存在や魂のように，感覚で経験できない形而上学（けいじじょうがく）的な価値や，「人はいかに生きるべきか」などの道徳的な問いを論じることはできない，とした。しかし，人間には生き方の正しさについて判断する理性（＝**実践理性**）が備わっているとし，一時の感情や欲望に流されず**道徳法則**（⇔自然法則）に従い行動することを自ら選択するとき，本当の自由が実現すると説いた。

※カントは，実践理性を働かせることができる存在を**人格**と呼び，**人間の尊厳**の根拠は人格にあると説いた（＝人格主義）。

E　**動機説〔動機主義〕**

カントは**「もし…なら，～せよ」**という**条件付きの命令（＝仮言命法（かげんめいほう））**に従った行為に価値を認めなかった。真に道徳的価値があるのは，単に**「～せよ」**と**無条件に理性から下される命令（＝定言命法（ていげんめいほう））**に従った行為だけであるとし，結果として現れる行為が同じであっても，動機が異なればその価値も異なる，と説いた。

F　究極の定言命法

「汝（なんじ）の意志の**格率**が，つねに同時に**普遍的な法則**として妥当しうるように行為せよ」

※格率とは，一人ひとりがもっている行動ルールのこと。格率に従い行動しつつも，それが同時に道徳的・普遍的に正しくもある生き方をすべき，と説いた。

G　**自律と他律**

人間は，道徳的義務に従おうとする意志（＝**善意志**）に基づいて行動するとき，初めて自然法則ではなく道徳法則に従うことになる。カントは，こうした行動のあり方を**自律**と呼び，それ以外の意志に従うことを**他律**と呼んで区別した。

※この意志の自律こそが，人間にとっての自由であるとした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

H　**目的の王国**

カントは「汝の**人格**や他のあらゆる人の**人格**の内にある人間性を，いつも同時に**目的**として扱い，決して単に**手段**としてのみ扱わないように行為せよ」と説いた。

※人と関わる際は，利益を得るための手段として見るのではなく，その人の自律性と人格を尊重すること自体を目的としなければならない，とし，そのような者同士がつくる理想的な共同体を**「目的の王国」**と呼んだ。

I　永久〔永遠〕平和のために

「目的の王国」をめざし，諸国家間においても争いを止めるべき，と説いたカントは，**永久〔永遠〕平和**を実現する国際法の制定や国際機関の結成を想定した。

※これは，のちの国際連盟（1920 年〜）の設立理念に通じるものであった。

②ヘーゲル（1770 ～ 1831 年）

A　人物

ドイツのシュツットガルトに生まれる。神学と哲学を学んだ後，イエナ大学で講師・助教授を歴任するが，ナポレオン軍に封鎖され辞職。その後，ニュルンベルクの高等中学校校長，ベルリン大学教授（のち総長）などを務めたが，コレラを患い 61 歳で死去。主著『**精神現象学**』『**法の哲学**』。

B　カント批判

人間の自由は，法律や制度の中で具体化されると考え，自由の根拠を個人の内面に求めるカントを，主観的・抽象的であると批判した。

C　自由の実現

「東洋では一人が，ギリシャでは若干の者が自由だったが，ゲルマンでは全ての者が自由である」とし，自由の実現は世界の歴史の必然的な方向だとした。

D　**絶対精神→**自由を本質とする理性的な**精神**で世界の最高原理

世界の歴史とは，絶対精神が人間の活動を通して歴史上に現れたもの（＝**世界精神**）が，自由を実現していく過程であると考えた。

※ヘーゲルは，イエナに侵攻するナポレオンの行進を見て「世界精神が馬に乗って通る」という手紙を友人に書いた。

※**「世界史は自由の意識の進歩である」**という言葉を残した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

E　**弁証法**

ある主張（＝**正**〔**テーゼ**〕）は，必ず対立（＝**反**〔**アンチテーゼ**〕）を含んでおり，それらを**総合・統一**する（**止揚**（しよう）〔**アウフヘーベン**〕）ところに真理の認識や発展（**合**〔**ジンテーゼ**〕）があると見る考え方。

※物事は，内に潜む矛盾（むじゅん）が表出したとき，それを統一して高次（こうじ）の段階に発展していく。弁証法は古代ギリシャから存在するが，理論化して大成したのはヘーゲル。彼は，理想と現実の統一を試みることで，**ドイツ観念論を完成**させた。

F　法と道徳の統一としての**人倫**→弁証法を利用

人間の求める自由は，カントの言うように個人の良心的行為のみで実現されるものではなく，制度としての外的・客観的な**法**と，心に宿る内的・主観的な**道徳**との統一において実現するとし，この統一されたものを**人倫**と呼んだ。

※内的な道徳性だけでなく，法律や制度という外的なものに目を向けて，ドイツ観念論の完成度を高めた。

G　国家→真の自由が実現された共同体

「素朴な人倫」状態である**家族**と，**「欲望の体系」「人倫の喪失**（そうしつ）**」**状態である**市民社会**とが弁証法的に発展することで誕生するのが，「人倫の最高形態」が具体化された**国家**だとした。

※社会契約説が，国家を権利のための道具とみなしている点を批判した。

③その他のドイツ観念論哲学者

A　**フィヒテ**（1762 ～ 1814 年）

カントの哲学を学び，のちベルリン大学初代総長となった。疾風怒濤（しっぷうどとう）〔シュトゥルム＝ウント＝ドランク〕の影響を受け，自我の自由な意志的活動を強調する絶対自我の哲学を確立した。主著『全知識学の基礎』講演『ドイツ国民に告ぐ』。

B　**シェリング**（1775 ～ 1854 年）

全ての根底に存在する無差別な同一性としての絶対者を説く同一哲学を確立，**汎神論**的自然観を示した。実存主義の先駆けともされる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 17 講　倫理確認テスト

1　批判哲学を確立した，ドイツ観念論の哲学者とは？

①　ベーコン　②　ヒューム　③　デカルト　④　カント

2　「物自体は認識できない」とし，人間の認識活動について従来とは真逆の議論を提示したカントは，この考え方の転回を何と呼んだか？

①　コペルニクス的転回　②　ガリレイ的転回

③　ケプラー的転回　④　ニュートン的転回

3　カントは，実践理性を働かせることのできる存在を何と呼んだか？

①　認識　②　感性　③　悟性　④　人格

4　道徳的義務に従おうとする意志を，カントは何と呼んだか？

①　特殊意志　②　全体意志　③　一般意志　④　善意志

5　以下のカントの言葉の空所に当てはまるものを一つ選べ。

「汝の意志の（　　　）が，つねに同時に普遍的な法則として妥当しうるように行為せよ」

①　動機　②　自律　③　他律　④　格率

6　カントは，人々がつくる理想的な共同体を何と呼んだか？

①　ユートピア　②　ニュー＝アトランティス

③　目的の王国　④　国家

7　ヘーゲルは，世界の歴史は何が人間の活動を通して歴史上に現れたもの（＝世界精神）だとしたか？

①　自由　②　絶対精神　③　自然法則　④　道徳法則

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

8　弁証法において，正と反を含み統一し，合に向かう作用を何というか？

①　テーゼ　②　アンチテーゼ　③　アウフヘーベン　④　ジンテーゼ

9　ヘーゲルが「欲望の体系」と定義した共同体とは？

①　家族　②　市民社会　③　国家　④　国際連盟

10　カント哲学を学び，講演『ドイツ国民に告ぐ』でも有名な観念論者とは？

①　フィヒテ　②　シェリング　③　ニーチェ　④　ハイデッガー

解答

1	④	2	①	3	④	4	④	5	④
6	③	7	②	8	③	9	②	10	①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第18講　功利主義

1　功利主義

①アダム＝スミス（1723～90年）→自由放任主義

A　人物

イギリスの経済学者・哲学者。スコットランドに生まれる。生涯独身のまま，母校であるグラスゴー大学の教授・学長などを務めた。富の源泉を各人の労働による生産力に求める「労働価値説」や，自由な利益追求が生産力を高め社会全体の富を増大させる「自由放任主義」を唱えた，**古典派経済学の祖**。主著『**国富論〔諸国民の富〕**』『**道徳感情論**』。

B　**市民社会**の発展

17世紀，**世界初の市民革命**が起き，18世紀後半には**世界初の産業革命が**起きた**イギリス**では，**市民社会が発展**した。そこでは**資本主義**経済が発達し，利益追求の競争が激しくなった。

※アダム＝スミスは，（一定のルールの下で）幸福を求める個人の自由活動を最大限認めることが大切であり，社会は愛情や親切心に頼らなくても十分成り立つ，と**楽観的な立場**をとった。

C　**（神の）「見えざる手」**

各人が自己利益を追求して完全な自由競争を行えば，経済活動が停滞することなく，むしろ**需要と供給（＝価格）が自動調整**され，社会全体の富が増大する，と考えた。

D　**自由放任主義〔レッセ＝フェール〕**

個人が自己利益を自由に追求することで社会全体が豊かになるのだから，国家は市場経済に介入するような役割を担うべきではなく，個人が獲得した財産を保護する役割を担えば十分であるとした（＝**小さな政府**）。

※これは，成立したばかりの**資本主義を擁護する立場**であった。

E　**共感**

行為の正当性を計る手段として，第三者（＝**公平〔中立〕な観察者**）の**共感**を得られるかどうか，を重視した。

※利己的な感情を動機とする行為でも共感は得られる，として，個人の利益追求は全体的な調和を実現できると説き，この考えが「見えざる手」の根拠となった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②ベンサム（1748 ～ 1832 年）→量的功利主義

ベンサムは，アダム＝スミスの唱える自由放任主義〔レッセ＝フェール〕が，イギリスの市民社会に調和をもたらすとまでは楽観しなかった。「個人の幸福追求と社会全体の幸福促進とをいかに調和させるか」という問いに対し，彼が提案したのが**功利主義**である。

※功利主義とは，**行動の善悪の基準として「その行為が快楽と幸福をもたらすかどうか（＝効用）」に重きを置く考え方**で，個人を国家や社会より優先させて位置づける。

A　人物

イギリスの哲学者・法学者。ロンドンで弁護士の家に生まれる。選挙権を市民に広げる選挙法改正のために努力したことでも有名。生涯独身のまま，84 歳で死去。主著『道徳および立法の諸原理序説』。

※隣家のミル父子と長く親交を結んだ。

B　**快楽計算**

ベンサムは，**快楽と苦痛こそが人間を支配する**と考えた。そして，**個人の感じる快楽の量を合算して社会全体の幸福の総量が測定できる**とし，そのためには誰もが平等に一人として数えられなくてはならない，と，選挙法改正（＝普通選挙・平等選挙）を主張した。

※「各人は等しく一人として数えられ，誰もそれ以上に数えられてはならない」

※快楽計算のために，快楽の強さ・長さ・確実さなどを基準に数量化しようとした。たとえば,「とても楽しいがすぐ飽きてしまう玩具」より「そこそこ楽しくて長く遊べる玩具」のほうが大きな快楽を与えてくれる，とする。

C　**量的功利主義**

個人の幸福追求が社会の最大幸福につながる，とする「**最大多数の最大幸福**」の原理に基づき，ある制度や政策が，いかに人々に正しい行為を促（うなが）し，どれほど社会を幸福に導くために有効か，を判定しようとした。

※特権階級による利益独占の問題性を指摘しつつ，民主主義的な諸制度の確立を訴えた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　**４つの制裁〔サンクション〕**

公益を損なう行為をした者に対しては，その行為によって得た利益を上回る不利益を与えるような**制裁**を加えなければならない，とした。

1　**自然的制裁**……不摂生で病気になる，不勉強で落第するなど。

2　**法律的制裁**……刑罰など。→特にこの効果を最重視。

3　**道徳的制裁**……社会的非難など。

4　**宗教的制裁**……神罰への怖れなど。

※ベンサムは，社会的責務を果たす目的は幸福増大にあるのだから，**道徳的に重視すべきは行為の「動機」より「結果」**だとして，善意志を重視し動機主義を唱えるカントを批判した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③ミル（1806～73年）→質的功利主義

A　人物

イギリスの哲学者・経済学者。ロンドンで，功利主義者ジェームズ＝ミルの子として生まれ，学校に通わず父の英才教育を受け，さらに隣家のベンサムの影響を強く受ける。20歳頃から，感情や人間性を軽視する父やベンサムの思想に限界を感じ出し，のち公然と批判。晩年には下院議員となり，**女性の参政権を訴える**など，民主的改革に努力した。主著『**功利主義**』『**自由論**』。

B　**質的功利主義**

快楽には精神的なものもあり，単純に量でその多少を判定することはできない，として，ベンサムの快楽計算・量的功利主義を修正する立場をとった。

※「**満足な豚であるよりは，不満足な人間であるほうがよく，満足した愚か者であるよりは，不満足なソクラテスであるほうがよい**」と述べ，**精神的快楽**のほうが肉体的・感覚的快楽より高次（こうじ）の快楽であり，それを追及することが幸福に不可欠な要素であると説いた。

※人間は生来，他人を思いやり，社会の幸福のために献身することに喜びを感じる。それも快楽に含めれば，「最大多数の最大幸福」を追求することは，道徳的な社会の実現につながっていくと考えた。ベンサムとの違いは，自己中心的な感情を乗り越え，他者の幸福を願う**良心の働きを重視**した点にある。

C　**内的な制裁**

人間にはそもそも利他的感情があるので，法律的〔政治的〕制裁だけでなく，**良心**から義務を感じ，それを放棄すれば罪悪感を覚えるといった心理的な苦痛（＝**内的な制裁**）をも避けようとする，と考えた。

※人間は，そうしておのずと「最大多数の最大幸福」のためになる行動をとる，とした。

D　**危害原則〔他者危害の原則〕**

個人の行為に対して社会的に制約がなされることは，他者に危害が及ぶ際に限られるべきである，とした。

E　イエスの黄金律の影響

ミルは，「おのれの欲するところを人に施（ほどこ）し，おのれのごとく隣人を愛せよ」というイエスの言葉の中に，道徳の理想を見いだした。

※行為の正・不正の基準を，その行為が自分を含めた関係者に最大の幸福をもたらすかどうか，という点に求めた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　実証主義と社会進化論→社会有機体説

19 世紀に登場した**社会有機体説**とは，社会を生物的な有機体とみなし，それとの類似により社会を説明する学説。社会は個人を超越する実在であり，個人は全体的な社会の一器官にすぎない，とする。

※社会は実在する独立した個人の集合体にすぎない，とする社会名目説と対立。

①コント（1798 ～ 1857 年）→実証主義

A　人物

フランスの哲学者で，**社会学の創始者**。社会主義者の先駆サン＝シモンの秘書となり影響を受ける。主著『実証哲学講義』。

B　**実証主義**

超経験的なものを排し，経験的な観察・実験によって現象の内にある法則を探究する（＝社会科学）。近代科学を肯定し，それを道徳や社会にまで拡大しようとした（＝社会学）。

※神や本質的存在〔実在〕のような，経験・観察・実験することのできない絶対的・本質的な真理は追求しない。

C　三段階の法則→知識の発展の三段階

1　**神学的段階**

事実の発生要因として，神などの架空の存在を想定する段階。

※フェティシズム〔物神崇拝〕・一神教・多神教など。

2　**形而上学的〔哲学的〕段階**（けいじじょうがく）

事実の背後に，その起源や目的となる抽象的な本質的存在を思索する段階。

3　**実証的段階**

事実の背後に，神や本質的存在のような何かを仮定することなく，事実関係からのみ恒常的な法則を見いだしていく段階。

※事実に還元できない命題は一切認めず，自然法則に基づき，将来存在するであろうものを予見する。このような学問のあり方（＝社会科学や自然科学）こそ，人類の進歩の最高段階であるとした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②スペンサー（1820 ～ 1903 年）→社会進化論

イギリスの哲学者・社会学者。適者生存・自然淘汰を説くダーウィンの生物進化論を，道徳や社会など全ての領域に適用する**社会進化論**を唱えた。その影響は，近代化を始めた明治時代の日本にも広がった。

※人間の道徳的素質は先祖から獲得され伝えられたもので，利己的感情から利他的感情へと進化する，という進化論的な倫理説を説いた。

※社会有機体説の立場から，人間社会は強制的な軍事型社会から自発的な産業型社会へと進化する，と説いた。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第18講　倫理確認テスト

1　世界で最初に市民革命と産業革命を達成した国とは？

①　スペイン　②　オランダ　③　イギリス　④　フランス

2　イギリス古典派経済学の祖と呼ばれる学者とは？

①　アダム＝スミス　②　リカード　③　リスト　④　ケインズ

3　２が初期に著した，利己的な感情を動機とする行為でも第三者〔公平な観察者〕の共感を得られるとして，個人の利益追求は全体的な調和を実現できると説いた著書とは？

①　『人間悟性論』　②　『道徳感情論』

③　『国富論〔諸国民の富〕』　④　『道徳および立法の諸原理序説』

4　個人の感じる快楽の量を合算し社会全体の幸福の総量を測定する快楽計算ができると説き，そのためには誰もが平等に一人として数えられなくてはならないと主張した人とは？

①　ベーコン　②　ベンサム　③　ジェームズ＝ミル　④　スペンサー

5　４の説いた「４つの制裁〔サンクション〕」のうち，彼が最も重視したものとは？

①　自然的制裁　②　法律的〔政治的〕制裁

③　道徳的制裁　④　宗教的制裁

6　『功利主義』『自由論』を著し，質的功利主義を説いたイギリス人とは？

①　ロック　②　ヒューム

③　ダーウィン　④　ジョン＝ステュワート＝ミル

7　６が道徳の理想を見いだした，イエスの言葉を何というか？

①　荒野の誘惑　②　黄金律

③　よきサマリア人　④　放蕩息子の帰還

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

8　実証主義を唱え，社会学の祖となったコントはどの国の思想家であったか？

①　イタリア　②　イギリス　③　フランス　④　アメリカ

9　コントの「知識の発展の三段階」としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　神学的段階　②　形而上学的〔哲学的〕段階

③　実証的段階　④　社会主義的段階

10　ダーウィンらの「生物進化論」を発展させ「社会進化論」を唱えた学者とは？

①　ヘーゲル　②　スペンサー　③　トマス＝クーン　④　マルクス

解答

1	③	2	①	3	②	4	②	5	②
6	④	7	②	8	③	9	④	10	②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 19 講　社会主義思想

1　空想的社会主義と科学的社会主義

①社会主義思想とは？

自由を追求すれば平等は保てない，という点で，資本主義に支えられた近代市民社会は矛盾点をもつ。観念論〔理想主義〕のヘーゲル（独）は，国家が「欲望の体系」である市民社会を制御することで，功利主義のベンサムやミル（英）は，「最大多数の最大幸福」を市民社会の原理とすることで，その矛盾を克服しようとした。それに対し，**社会主義**とは，自由競争の行われる資本主義を否定し，**貧富の差のない平等な社会をめざす思想**であった。

※ルネサンス後期の 16 世紀前半，『ユートピア』の著者トマス＝モア（英）は，貧富の差をなくして人間の物欲を抑えるため，私的所有を廃止して平等社会を実現すべきとした。この考えが社会主義思想の源流といえる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②空想的社会主義

イギリスで 18 世紀後半に蒸気機関が発明され，機械化が進み**産業革命**がおこった。19 世紀にヨーロッパの人口は急増し，各国の富は増大しても，生産のために必要な工場・機械・原料をもつ**有産階級〔ブルジョワジー〕**は豊かになり，生産手段をもたない**無産階級〔プロレタリアート〕**である労働者の生活は向上することなく，差は広がる一方だった。

A　**サン＝シモン**（1760 ～ 1825 年）

フランスの名門貴族出身。直接生産に従事しない有閑者（＝貴族・地主・軍人）よりも，産業に関わる**産業者**（＝資本家・農民・技術者）が社会を管理すべき，と考え，搾取のない純粋な**「産業社会」**を理想とし，その実現を説いた。

※実証主義・社会学の創始者であるコントの師。

B　**フーリエ**（1772 ～ 1825 年）

フランスの商人出身。発達しすぎた商業や資本主義を批判し，農村的な協同組合を基礎単位とする「**ファランジュ**〔ファランステール〕」という共同社会を構想した。

C　**ロバート＝オーウェン**（1771 ～ 1858 年）

イギリスの資本家。いかなる状況にあっても人間は相互に助け合わなければならない，とし，人間が平等に扱われる共同体を資本家が創り出すことで幸福な社会が実現すると考えた。

※イギリスのニューラナーク紡績工場の総支配人として，労働者の労働条件や生活環境の改善に努めた。その後，アメリカに渡り**「ニューハーモニー村」**という，自給自足・財産共有で利害対立が存在しない共同体の建設を試みた。これは約４年で失敗に終わったが，一定の方向性を示すことができた。

※イギリスでは，1833 年に工場法が制定され，年少者の労働時間が制限されるなど，労働条件は次第に改善されていった。

D　**空想的社会主義**

サン＝シモンとフーリエ（仏），ロバート＝オーウェン（英）の３名は，**資本家の良心や道徳に頼るかたちで産業革命後の労働者の環境を改善しようとした。**こういった初期の社会主義思想を，マルクスとエンゲルス（独）は，社会の仕組みを科学的に捉えることができず，空想的だとした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③科学的社会主義→マルクス（1818 ～ 83 年）

A　人物

ドイツで富裕なユダヤ人弁護士の子として生まれる。新聞ジャーナリストとなり，フランスのパリからベルギーのブリュッセルに移住して，友人の**エンゲルス**（1820 ～ 95 年）と『**共産党宣言**』を執筆する。のち追放されイギリスに亡命，社会主義運動の指導者として第一インターナショナルを結成し，全世界の労働者の団結を呼びかけた。亡命後は極貧で，エンゲルスの経済的援助を受けた。主著『**資本論**』の生前刊行は１巻のみで，２・３巻はエンゲルスがマルクスの遺稿を整理して刊行した。

B　**共産主義思想**

自由競争を認める資本主義においては大きな格差が生じることは避けられないと考え，能力に応じて働き，必要に応じて富を受け取る**平等社会**をめざすべきと説いた。これを**社会主義**（それが高じたものが**共産主義**）思想という。

C　**労働の疎外〔疎外された労働〕**→人間疎外につながる

本来，**労働**は人間に喜びをもたらすものであるが，資本主義の下では，**労働力**は資本家により取引の対象として**商品化**されている，と訴えた。

※労働者は搾取（さくしゅ）され労働は苦役（くえき）と化している，と考えた。

D　**科学的社会主義**

マルクスとエンゲルスは，初期の社会主義が理想的な社会の構想をもちながらも，科学的・合理的分析に欠け空想にすぎなかったことを批判した。そして，科学的な理論を基に「労働の疎外」に対処する社会組織の改編をはかるような社会主義を唱えた。

※マルクスには『経済学批判』，エンゲルスには『空想から科学へ』という著書がある。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

E　**唯物史観〔史的唯物論〕**

マルクスとエンゲルスは，ヘーゲル（独）の「世界は変化し発展していく」とする弁証法的歴史観を受け継ぎつつ，その変化の源は物質にあるとする**唯物論**の立場をとり，そこから独自の歴史観を打ち出した。

※歴史を変化させる物質とは**生産力**で，これは労働力と生産手段によって決まり，変化する。そして，生産手段を誰が所有するかによって「資本家と労働者」というような**生産関係**が結ばれる。生産力と生産関係が形成する様式を**生産様式**と呼び，これが歴史的に発展していくとした。

※各時代の政治制度や文化という**「上部構造」**は，生産関係という物質的な**「下部構造」**が土台となるのだから，社会の変革には生産関係そのものの変革が伴わなければならない，と考えた。つまり，生産手段を有する資本家はその権利を手放そうとせず，生産手段を有しない労働者との格差は拡大し続ける。この社会的矛盾は，新たな生産関係を創り出すために，必ず**社会革命**を引き起こす，とした。

F　マルクスの言葉

「あらゆる歴史は，生産関係の矛盾によって起こる**階級闘争**の歴史である」

「人間の意識が人間の存在を規定するのではなく，反対に，人間の社会的存在が人間の意識を規定するのである」

「プロレタリアには，革命において鉄鎖のほか失うものは何もない。彼らには獲得すべき全世界がある。**全世界のプロレタリア，団結せよ！**」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　社会民主主義とマルクス主義

①社会民主主義

マルクスやエンゲルスの**革命路線を否定**し，**合法的な議会制度を通じて**生産手段の公有化・富の公平な分配・社会保障制度の拡充などを推進し，徐々に資本主義社会の弊害を取り除いていこうとする**漸進**（ぜんしん）**的な社会主義思想**を，**社会民主主義**という。

A　**修正マルクス主義**

ドイツ（のちイギリスへ亡命）の**ベルンシュタイン**（1850 ～ 1932 年）は，先進国の資本主義社会においては労働者がそれなりの暮らし（＝社会的地位や生活の安定）を手に入れており社会革命は起こらないとし，議会制民主主義の中で諸権利を拡充していくべきとした。

B　**フェビアン社会主義**

イギリスの**ウェッブ夫妻**（夫 1859 ～ 1947 年／妻 1858 ～ 1943 年）や**バーナード＝ショウ**（1856 ～ 1950 年）は，マルクスやエンゲルスの影響が小さい社会主義を唱えた。彼らは，先進国イギリスにとっては社会革命による根本的な体制変革は必要でなく，議会制度を通じ社会保障の充実や主要産業の公有化などが行われるべきであるとした。

※彼らによって設立された**フェビアン協会**は，のち労働党の結成につながった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②マルクス主義の実践

後進国であった**ロシアと中国**では，**社会革命による巨大な社会主義国〔共産主義国〕が誕生**した。

※しかし，第二次世界大戦後の東西冷戦の下で，**ソ連と中華人民共和国**は，社会主義の解釈の違いから対立を深めた。

※ 1989 年に冷戦は終結して東欧革命が起き，91 年にはソ連が崩壊した。中華人民共和国も市場経済を導入し，マルクス主義の理想はほとんど失われた。

A　**ソビエト社会主義共和国連邦〔ソ連〕**の成立（1922 年）

19 世紀に至ってもなお農業中心で，皇帝〔ツァーリ〕による専制政治が行われていたロシアでは，クリミア戦争や日露戦争で敗戦が続き，革命の機運が高まっていた。**1917 年**，**レーニン**やトロツキーの指導により，労働者・農民・兵士ら多数派を中心に，世界初のマルクス主義による**ロシア革命**が起き，５年後に巨大な社会主義国が成立した。

※その後，**スターリン**による独裁政治が展開され，「五か年計画」に代表される計画経済の下で世界恐慌の影響も受けず，第二次世界大戦では日独伊のファシズム勢力を打ち破った。

B　**中華人民共和国**の成立（1949 年）

日中戦争で国土に決定的ダメージを負った中華民国では，**毛沢東**（もうたくとう）や周恩来（しゅうおんらい）が率いる中国共産党を中心に，**マルクス・レーニン主義**に基づく農民中心の社会革命（＝新民主主義革命）を成功させ，巨大な社会主義国が成立した。

※国共内戦に敗れた中国国民党の蔣介石（しょうかいせき）は台湾に逃れ，資本主義の中華民国を存続したが，1971 年に国連代表権を失った。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第19講　倫理確認テスト

1　ルネサンス期の16世紀前半,『ユートピア』を著して社会主義思想の源流となったイギリス人学者とは？

①　トマス＝モア　②　ホッブズ
③　アダム＝スミス　④　ロバート＝オーウェン

2　資本主義社会において，労働者のような存在を何というか？

①　有産階級〔ブルジョワジー〕　②　無産階級〔プロレタリアート〕
③　郷紳〔ジェントリ〕　④　世界市民〔コスモポリテース〕

3「ファランジュ〔ファランステール〕」と呼ばれる共同社会を構想した，フランス人の思想家とは？

①　デカルト　②　ヴォルテール　③　サン＝シモン　④　フーリエ

4　マルクスとともに『共産党宣言』を執筆し，生涯にわたり彼の協力者となった人物とは？

①　ルター　②　カント　③　ヘーゲル　④　エンゲルス

5　マルクスが，本来は人間に喜びをもたらすものであるのに，資本主義下において商品化されてしまっている，と考えたものは何か？

①　共感　②　労働　③　生産力　④　良心

6　マルクスの歴史観を何というか？

①　資本論　②　唯物史観〔史的唯物論〕
③　生産様式　④　帝国主義

7　マルクスは「あらゆる歴史は，生産関係の矛盾によって起こる（　　　）の歴史である」としたが，空欄にふさわしいものを一つ選べ。

①　上部構造　②　下部構造　③　社会革命　④　階級闘争

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

8　修正マルクス主義を唱えたドイツ（のちイギリス）人とは？

①　フィヒテ　②　シェリング

③　ロバート＝オーウェン　④　ベルンシュタイン

9　バーナード＝ショウやウエッブ夫妻が所属した，イギリスのフェビアン協会は，のち何という政党の結成につながったか？

①　保守党　②　労働党　③　自由民主党　④　共産党

10　1917年，ロシア革命の最大の中心人物となった革命家とは？

①　レーニン　②　トロツキー　③　スターリン　④　フルシチョフ

解答

1	①	2	②	3	④	4	④	5	②
6	②	7	④	8	④	9	②	10	①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第20講　実存主義

1　実存主義の先駆

「実存」とは,現実の自己の存在（＝今ここにいる私自身）という意味。人間は,資本主義が発達した19世紀半ば以降，果たして良い状態にあるといえるだろうか？　という疑問から，個々の意識を変革することによって人間性を取り戻そうとする思想が登場した。これを，**実存主義**という。

※実存主義は，発達した資本主義下における「人間疎外」状態を社会の変革なしに克服しようとした点が，社会主義と異なる。

※実存主義は,人の理性そのものを疑う考えが背景にある。実存主義者たちは「人間がめざしてきた近代市民社会は必ずしも理想とはいえない」と考えていた。

①キルケゴール（1813～55年）→有神論的実存主義の先駆

A　人物

デンマークのコペンハーゲンに生まれる。かつて父が神を呪ったことや，父と母が結婚前に愛人関係であったことを知り，自ら「大地震」と呼ぶ絶望と自己嫌悪を感じる。若くして婚約したが，のち一方的に破棄し，研究と執筆に生涯没頭する。42歳の時,路上で昏倒(こんとう)して死んだ。主著『**あれか,これか**』『**死に至る病(やまい)**』。

B　ヘーゲル哲学を批判

一人ひとりの人間は,ヘーゲル（独）の言うような「絶対精神」「世界精神」に操られ生きているわけではない，とした。

※また,正と反を合に止揚する弁証法も「あれも，これも」だと批判した。

C　**主体的真理**の追究

そもそも主体は自分自身なので，真理や道徳は，人類全体でなく個別に考える必要がある，とした。

※誰にとっても成り立つような普遍的･客観的な真理ではなく,自分にとっての真理，自らがそれのために生き，死にたいと願うような**主体的真理**を追究した。

※「私にとって真理であるような真理を発見し，私がそれのために生き，そして死にたいと思うようなイデー〔理念〕を発見する」という言葉を残した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　**実存の三段階→**主体的真理を求める実存のあり方

1　**美的実存**

「あれも，これも」と感性的快楽を追い求める第一段階。

※「あれも，これも」統一してしまうヘーゲルの弁証法を批判。

2　**倫理的実存**

そのような生き方に**絶望**したとき，**「あれか，これか」**と正しく判断しようとする第二段階。

3　**宗教的実存**

しかし，結果的に欲望に負けて**絶望**し，**理性を超えた信仰へ飛躍**する第三段階。

※絶望は，「死に至る病」だとした。

E　神の前に立つ**単独者**

このように，**自己を見失い絶望する人間は，信仰への決断によって本来の自己を回復できる。**人間は，主体的真理を求め絶望を繰り返し，自らの罪深さを自覚しながら神の前に独り立って生きるしかない，とした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②ニーチェ（1844 ～ 1900 年）→無神論的実存主義の先駆

A　人物

ドイツでプロテスタントの牧師の子として生まれる。24歳でスイスのバーゼル大学の古典文献学教授となり，その後，遺伝的な頭痛に悩まされ，34歳で退職。苦しみながら思索と執筆に励むが，44歳の時，イタリアの路上で昏倒する。以後，正気を失ったまま精神病院で入院生活を続け，56歳で死去。主著『**ツァラトゥストラはこう語った**』『**悲劇の誕生**』『善悪の彼岸（ひがん）』『力への意志』。

※理性主義の哲学に対し，生存への意志を強調したショーペンハウアー（独）の著書の影響を受けた。また，ワーグナー（独）の音楽に心酔し，親交があった。

B　**力への意志〔権力への意志〕**

人間には本来「より豊かに，強く，高く，多く…」と成長を望み，力強く生きようとする能動性が宿っているが，キリスト教の道徳がそれを抑圧したとした。道徳観の根底には，弱者が**ルサンチマン〔怨恨（えんこん）〕**に基づき強者の勝利を貶（おとし）め間違いだと位置付け，自らの地位を正当化し高める狙いがあるとし，これを**奴隷道徳**と呼んだ。

※ニーチェは，力への意志は森羅万象（しんらばんしょう）に宿っていると考えた。

C　**「神は死んだ」**→『ツァラトゥストラはこう語った』より

反キリスト者として，近年は奴隷道徳に意味や権威などないことが暴かれた結果，信じる価値や生きる目的・意義もないとする**ニヒリズム〔虚無（きょむ）主義〕**が広がった，と考えた。

しかし人間は，絶えず自己を超えようとする「力への意志」の実現をはかることで，生きるための新たな価値を創造できるとした。

※19世紀のヨーロッパは，自然科学の発達に伴ってキリスト教信仰が影響力を失っていった時期であった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　**永劫回帰〔永遠回帰〕**

ニーチェは，現実の世界は無意味なものが目的もなく永遠に繰り返されるとし，そこにニヒリズムの極限を見た。しかし，「力への意志」に従って生きれば自身の生は肯定できる，と考え，このとき生じる自己の運命への愛を**「運命愛」**と呼んだ。

※運命愛を実践できる人間を**超人**と呼び，キリスト教信仰を捨て，これをめざすべきと説いた。

※超人は，無意味と思える運命でも**「これが人生か，さらばもう一度」**と受け止め，全てを肯定し，力強く運命を愛することができるとした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　実存主義の発展

①ヤスパース（1883 ～ 1969 年）→有神論的実存主義

A　人物

ドイツの銀行家の子として生まれる。はじめ法学，のち医学を学び，精神科の大学で教える。その後，マックス＝ウェーバー（独）の影響を受けて哲学を研究，教授となる。ナチ党にユダヤ人の妻との離婚・絶縁を勧告されたが拒否，免職となるも研究を続ける。戦後はスイスに移住して大学教授となり，国際政治･国際平和などを研究，講演も活発に行った。主著『哲学』『**理性と実存**』。

B　**限界状況**

人間は，**死・苦悩・争い・責め〔負目（おいめ）・罪（つみ）〕**という４つの，自分の力では避けることのできない状況に直面し，絶望や挫折を経験することがある。

※人間は，そのとき自己の**有限性**を自覚するが，ヤスパースは，これを直視することによって自己や世界を超えて包み込む**「神」**のような**超越者（ちょうえつしゃ）〔包括者（ほうかつしゃ）〕**に出会い，実存に目覚めるとした。

C　**実存的交わり＝愛しながらの戦い〔愛の闘争〕**

真の実存に目覚めることは独りでは不可能で，やはり実存に目覚め，真の自己をめざす他者が必要である。互いが素直に自分をさらけ出し，誠実に自己を探究し合うような交流によって，初めて目覚めは可能になる，と考えた。

※「彼が彼自身でなければ，私は私自身にはなりえない」

※そして，交流を進めるのに大切なのは**理性**だと説いた。このような**「実存的交わり」**は，愛と理性をもって真摯（しんし）に他者と向き合うことであるから，これをヤスパースは**「愛しながらの戦い」**と呼んだ。

D　戦間期の哲学者

ヤスパースは，第一次世界大戦（1914 ～ 18 年）と第二次世界大戦（1939 ～ 45 年）という，大きな「限界状況」を体験している。そのような戦間期に生きる同時代の人々にとって，真の実存に目覚めるための彼の哲学は，生きる希望となる思想であった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②ハイデッガー（1889～1976年）→無神論的実存主義

A　人物

ドイツでプロテスタントの牧師の子として生まれる。初め神学を学ぶが，キルケゴールの著書に影響を受け，さらに**フッサール（独）**から**現象学**を学び，哲学の大学教授として活動する。のちナチ党に入党し，フライブルク大学の総長となるが，党に失望し翌年辞任。戦後は戦争協力責任を追及されるが，もと恋人の政治哲学者**ハンナ＝アーレント**の尽力もあり復職した。主著『**存在と時間**』『形而上学（けいじじょうがく）とは何か』『ヒューマニズムについて』。

※現象学とは，世界が存在すると素朴に信じる「自然的態度」を変更し，世界の実在性についての判断を中止して（＝エポケー〔判断中止〕）内面の純粋意識に立ち返り，そこに現れる現象をありのままに記述する，という考え方。

B　人間＝**現存在（げんそんざい）**

ハイデッガーは，「**存在**とは何か」という古くからの哲学問題を改めて問い直そうとした。そのためには，まず「人間とはどのような存在か」を問題としなければならないとし，この**存在の問い**を発することができるのは人間のみ，と考え，特別な存在である人間を「**現存在〔ダーザイン〕**」と呼んだ。

※現存在としての人間は，他者とのさまざまな関わりの中で生きる存在でもあるので，「**世界―内―存在**（＝世界の内にあって存在している）」と表した。

C　**ひと〔世人（せじん），ダス＝マン〕**→「現存在」と対立する概念（がいねん）

世の中の出来事に心を奪われ，何となく生きる日常生活に埋没した本来的ではない人間のあり方を，**ひと〔世人，ダス＝マン〕**と呼んだ。

※こうしたあり方から本来の自己へと至るには死を直視することが必要と考え，人間は「**死への存在**〔死に臨（のぞ）む存在・死へと関わる存在〕」でもあると定義した。そして，自分の死への自覚をもち，積極的に身を投げる（＝**投企（とうき）**）ことが重要だとした。

※人間がつねに，すでに存在の中に投げ入れられているという根源的な事実を「**被投性（ひとうせい）**」と呼んだ。

D　**存在忘却（ぼうきゃく）**

ハイデッガーは，近代の科学技術のあり方も考察し，人間も含めたあらゆるものが，技術に利用する材料とみなされていることを批判した。このような状況では，**人間は「存在」というものを忘れ，「存在とは何か」を問うこともなくなる**，と考えた。

※こうして人間が拠（よ）り所（どころ）を失うことを，**故郷（こきょう）の喪失（そうしつ）**と呼んだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③サルトル（1905～80年）→無神論的実存主義

A　人物

フランスで生まれ，２歳で父を亡くす。高等中学校の教師を務め，20歳代後半でドイツに留学し，フッサールやハイデッガーの講義を聴く。第二次世界大戦中は，フランスで反ファシズム運動に参加し，戦後は哲学者**メルロ＝ポンティ**らと雑誌を創刊。『異邦人』『ペスト』を著した実存主義の作家**カミュ**とも交流した。小説・脚本などの著述家，平和運動家として長く活動，晩年，ノーベル文学賞を辞退したことは話題となった。主著『**存在と無**』『実存主義はヒューマニズムである〔実存主義とは何か〕』。

※『第二の性』の著者で，「人は女に生まれるのではない。女になるのだ」という言葉を残した文学者・哲学者**ボーヴォワール（仏）との契約結婚**を生涯続けたことでも有名。

B　**「実存は本質に先立つ」**

サルトルは，**自由**という観点から人間の本質的なあり方を考えた。事物（例：消しゴム・自転車）には，本質（例：消す・人を乗せ走る）が実存に対し先に与えられている（＝即自(そくじ)存在）。しかし，人間の場合は，まず先に実存し，（サルトルの考えだと神は存在しないので）自らの意志で自由になりたいものになれる（＝対自(たいじ)存在）。

C　人間＝**投企的存在**・対自存在

人間は自己の可能性を信じて自由に行動を企てる存在であると考え，どんな行動についても，その決断や結果については自己責任を負わなければならない，と主張した。そしてこの状態を**「人間は自由の刑に処せられている」**と表した。

D　**アンガージュマン〔社会参加〕**

サルトルは，責任は，自己のみではなく人類全体に対しても負うもの，と考えた。

※人間は独りで存在しているのではなく，他者との関わりの中に存在しているものだ，とし，積極的に社会に関わることを重視した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 20 講　倫理確認テスト

1　デンマークのキルケゴールが，現代において「死に至る病」と定義したものは何か？

①　実存　②　主体的真理　③　絶望　④　単独者

2　ニーチェの著書としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　『あれか，これか』　②　『ツァラトゥストラはこう語った』

③　『悲劇の誕生』　④　『力への意志』

3　ニーチェがめざすべきとしたものは何か？

①　永久平和〔永遠平和〕　②　自由放任主義

③　社会革命　④　超人

4　ニーチェ，ヤスパース，ハイデッガーはどこの国の出身か？

①　オランダ　②　ドイツ　③　イギリス　④　フランス

5　ヤスパースは「神」をどのような存在として定義したか？

①　超人　②　超越者〔包括者〕

③　最大で最後の預言者　④　単独者

6　ハイデッガーらに大きな影響を与えた，現象学の創始者とは？

①　コント　②　フィヒテ　③　フッサール　④　ベンサム

7　ハイデッガーは，世の中の出来事に心を奪われ日常生活に埋没した，本来的ではない人間のあり方を何と定義したか？

①　境界人〔周辺人，マージナル＝マン〕　②　現存在

③　ひと〔世人，ダス＝マン〕　④　死への存在

8　ハイデッガーの著書としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　『存在と無』　②　『存在と時間』

③　『形而上学とは何か』　④　『ヒューマニズムについて』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　サルトルの言葉としてふさわしくないものを一つ選べ。

①「実存は本質に先立つ」　②「人間は自由の刑に処せられている」

③「アンガージュマン」　④「神は死んだ」

10　サルトルとの契約結婚を生涯続けた『第二の性』の著者とは？

①　カミュ　②　マーガレット＝ミード

③　ボーヴォワール　④　ハンナ＝アーレント

解答

1	③	2	①	3	④	4	②	5	②
6	③	7	③	8	①	9	④	10	③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 21 講　プラグマティズム

1　プラグマティズムの創始

①プラグマティズムとは？

A　**プラグマティズム**〔実用主義〕

経験論・功利主義・進化論の伝統を受け継ぎ，イギリスから独立した**アメリカ**で生まれた哲学。人生に充実感や豊かさを与えるために有用な知識・観念こそが正しいとされ，それよって現実のさまざまな問題を解決していくという，**実用的な考え**であった。

※アメリカが，思想の上でもヨーロッパから独立したことを示す。

B　**フロンティアスピリット〔開拓者精神〕**

ヨーロッパ各地からアメリカに入植した人々は，挑戦的・冒険的精神をもち，議論よりも，実践と結びついた知識を重んじた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②パース（1839 ～ 1914 年）→プラグマティズムの創始（科学性）

A　「プラグマ」の意味

ギリシャ語で「行為・行動」。ドイツ観念論のカントのプラクティシュ〔動機説〕に対してのプラグマティシュ〔結果説〕であり，**行為の動機よりも結果を重視**した。

B　思想的背景

19 世紀半ば，アメリカでは急速に産業革命が進み，また南北戦争（1861 ～ 65 年）も終わり，新たな独自の価値観が創造される土壌が整いつつあった。

C　**形而上学**（けいじじょうがく）**クラブ**

パースを中心に，ハーバード大学で**「形而上学クラブ」**という若い研究者たちのサークルが結成された。彼らは，デカルト以来の伝統的な形而上学（＝近代哲学）を抽象的であると否定し，あえて挑戦的で皮肉な名称を掲げた。

※彼らは，「普遍的で絶対的な真理などない」と考え，あくまでも形而下の現実世界で「知識が個人の実生活にどう役立つのか」を重視すべきと唱えた。

D　**プラグマティズムの創始**

パースは，「抽象的な思考を避けるため，概念（がいねん）（＝言葉の意味内容）を明晰（めいせき）にする方法としてプラグマ〔行為・行動〕に注目すべき」と説いた。

※**ある概念や信念は，行為やその結果を通じて初めて意味をもつ**，とした。

※このように，知識と行為とは切り離すことができないとし，知識に**科学性**をもたせた**プラグマティズムを創始**した。論文『観念を明晰にする方法』。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　プラグマティズムの確立・大成

①ジェームズ（1842〜1910年）→プラグマティズムの確立（宗教性）

A　プラグマティズムの確立

「形而上学クラブ」の主要メンバーであった**ジェームズ**は，**真理とは自分自身にとって有用なものである**，と考えた。彼は，パースの継承者として**プラグマティズムを宗教論・人生論にまで拡大**し，その思想を**確立**・普及させた。

※たとえば，一般的には証明しにくい「神の存在」は，それがその人に安心感・充実感をもたらすのであれば真理であり有用，もたらさなければ真理でなく無用，とした。

※ジェームズの主著は『**プラグマティズム**』『宗教的経験の諸相（しょそう）』。日本の西田幾多郎（きたろう）にも大きな影響を与えた。

B　真理の有用性

人の行為は，その結果が実生活において有用であれば真理，とした。このようにジェームズは，「**真理であるから有用，有用であるから真理**」と考え，知識は実生活に役立つように使用されることでその価値が定まるとし，現実の行為にとって有用でない思想を批判した。

C　相対的真理

宗教的信条も科学的な考え方も，ある場合やある人にとっては真理であったり真理でなかったりする。

※プラグマティズムにおいて，真理は普遍的・絶対的なものではなく**個別的・相対的**なもので，かつ「〜であれば真理」という**条件付き**のものである。このように，**真理は固定されたものではなく，実際の行動・結果を通じて絶えず検証され，修正されるべきものである**，と考えた。

D　近代科学と宗教を調和

パースが科学性をもたせたプラグマティズムを，ジェームズが**宗教性**にまで広げたことによって，人々は「**客観的・具体的な近代科学**（＝実生活で役立つ）」と「**主観的・抽象的な宗教**（＝精神の安定に役立つ）」という２つの考えを，「ともに有用，すなわち真理」と調和させることが可能になった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②デューイ（1859〜1952年）→プラグマティズムの大成（社会性）

A　**プラグマティズムの大成**

アメリカは，第一次世界大戦（1914 〜 18 年）の戦場にならず，戦後の国際平和体制（＝ヴェルサイユ・ワシントン体制）において巨大な存在となり，プラグマティズムも世界的な思想となっていった。その頃，パースとジェームズに学んだ**デューイ**が指導的役割を担い，**プラグマティズムを大成**した。

B　**道具主義**

ダーウィン（英）の生物進化論から強い影響を受けていたデューイは，**道具**を用いて環境を改善していく人間にとって，自らの知性もまた，さまざまな問題を解決し社会を進歩させるための道具である，と考えた。

C　**創造的知性〔実験的知性〕**

このように，道具として働かせる知性を**創造的知性**と呼んだ。人がこの知性を活用する際，問題に対し仮説を立て推論し，結果を検証する「**試行錯誤〔トライ＆エラー〕**」を繰り返すため,創造的知性を**実験的知性**ともいう。そして問題が解決すると，過去の習慣が改良され新たな習慣となる。このような過程で人間は成長していく，とした。

D　プラグマティズムと教育

デューイは，創造的知性〔実験的知性〕によって社会が改善され，個人と社会が調和し，多様な価値が認められる**民主主義社会**が実現することを理想とした。そのためには，プラグマティズムを基盤とした教育が必要であるとして，**教育改革**の必要性を唱えた。

※ただ知識を暗記したり，試験を重視したりするような受動的学習ではなく，**「なすことによって学ぶ」問題解決型の能動的学習に基づく教育運動を実践**した。これらの進歩的な教育思想は，日本をはじめ各国の教育行政にも強い影響を与えた。

※デューイの主著は，哲学者としては『哲学の改造』『人間性と行為』，教育学者としては『**民主主義と教育**』『学校と社会』がある。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 21 講　倫理確認テスト

1　プラグマティズム〔実用主義〕は，どこの国で生まれた哲学か？
　①　ギリシャ　　②　イギリス　　③　ドイツ　　④　アメリカ

2　プラグマティズムの根底にある，挑戦的・冒険的な精神を何というか？
　①　フロンティアスピリット〔開拓者精神〕　　②　ペシミズム〔厭世主義〕
　③　ルサンチマン〔怨恨〕　　④　ニヒリズム〔虚無主義〕

3　知識に科学性をもたせ，プラグマティズムを創始した人物とは？
　①　パース　　②　ジェームズ　　③　デューイ　　④　ロールズ

4　３らがハーバード大学で結成した思想研究サークルとは？
　①　ニューハーモニー村　　②　ユートピア
　③　形而上学クラブ　　④　目的の王国

5　「真理の有用性」を説き，プラグマティズムを確立した人物とは？
　①　エリクソン　　②　マズロー　　③　ジェームズ　　④　デューイ

6　５の著書としてふさわしいものを一つ選べ。
　①　『法の哲学』　　②　『プラグマティズム』
　③　『哲学の改造』　　④　『民主主義と教育』

7　道具主義を唱え，プラグマティズムを大成した人物とは？
　①　リンカン　　②　パース　　③　ジェームズ　　④　デューイ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

8　7が提唱した，問題解決型の能動的学習を象徴する言葉を一つ選べ。

① 「私には夢がある」　② 「なすことによって学ぶ」

③ 「実存は本質に先立つ」　④ 「愛しながらの戦い」

解答

1 ④　2 ①　3 ①　4 ③　5 ③

6 ②　7 ④　8 ②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 22 講　現代のヒューマニズム

1　現代のヒューマニズム

14 〜 16 世紀，ルネサンス期のヒューマニズムは，古典を研究することで人間性を取り戻そうとする「人文主義」であった。これに対し，**現代のヒューマニズム**は**「人道主義」**と訳される。

※人道主義は，暴力・抑圧・束縛・社会の不正などの非人間的な状況にある人々に対し，擁護して人間の尊厳を守ろうとする考え方。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　代表的ヒューマニスト

①ガンディー（1869 ～ 1948 年）

A　人物

イギリスの植民地**インド**の裕福な家庭に生まれる。ロンドンに留学し，弁護士となる。その後，商社の顧問（こもん）弁護士として植民地の南アフリカに渡り，アパルトヘイト〔人種隔離（かくり）政策〕による差別を自ら経験し，衝撃を受ける。以後，約 20 年にわたり差別撤廃を求める**非暴力抵抗運動**を指導し，一定の成功を収めた。1915 年，故郷に戻り，イギリスからの**インド独立運動**を長年主導し，**マハトマ**〔偉大なる魂（たましい）〕という尊称でも呼ばれた「**インド独立の父**」。主著『自叙伝』。

※戦後の 1947 年，独立は達成されたが，インドはイスラームのパキスタンと分裂。彼はヒンドゥー教徒とムスリムの融和（ゆうわ）をはかったが，翌年，狂信的なヒンドゥー教徒の青年に暗殺された。

B　**サティヤーグラハ〔真理の把握〕**

ガンディーの根本理念。具体的には**ブラフマチャリヤー〔自己浄化〕**と**アヒンサー〔不殺生〕**を説いた。

※欲望を精神力で制御することと，あらゆる生命を傷つけたり殺したりしないこと。

C　**スワラージ〔自治独立〕・スワデーシ〔国産品愛用〕**

本国イギリスから移入した衣料品ではなく，インドで生産した綿製品を愛用するよう呼びかけた。

D　**非暴力・不服従運動**

ガンディーは，暴力を絶対的な悪とした。暴力を用いず，しかし決して屈服せず，相手の良心に訴えて態度・行動を正していくべきと主張し，ついには独立を達成した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②シュヴァイツァー（1875 ～ 1965 年）

A　人物

独仏国境地帯のアルザスにドイツ人牧師の子として生まれる。**フランス**で神学・哲学を修め，オルガン奏者としての名声もあったが，それらを捨てて30歳で医学を志す。38歳の時，妻を伴い赤道アフリカ（現在のガボン）に渡り，以後約50年間，医療とキリスト教伝道に生涯を捧げた。**「密林の聖者」**と呼ばれ，1952年にノーベル平和賞を受賞，５年後には原水爆実験禁止をアピールした。主著『水と原生林のはざまで』『文化と倫理』。

B　活動

「あらゆる生命は，生き続ける意志をもつものである」と考え，**生命への畏敬**（いけい）を説いた。彼は，この理念に基づき**アフリカ**の奥地に病院を立て，**医療と伝道活動**を通して人々を助けた。

※現代の危機の原因は，機械文明に生きる人間の，自然に対する独善的で傲慢（ごうまん）な生命軽視の態度にあると考えた。確かに，人間は生きるために害虫を駆除したり，生物を食べたりする。シュヴァイツァーは，どんな理由であれ生命を奪ったり傷つけたりすることは悪とし，人間は，この葛藤の中で他の生命に対する**責任**感をもち決断し，行動していくしかない，と説いた。

③マザー＝テレサ（1910 ～ 97 年）

A　人物

旧ユーゴスラヴィア（現マケドニア）に生まれる。18歳でカトリックの修道女となり，翌年**インド**に派遣され，教育や宣教活動に従事した。のちコルカタのスラム〔貧民窟（ひんみんくつ）〕に入り，子どものための青空教室などを始める。その後，貧困や病気で死にそうな状態にあり，見捨てられた人々のための「死を待つ人々の家」「孤児の家」，ハンセン病患者のための「平和の村」などの施設を設立した。1979年にノーベル平和賞を受賞。

B　活動

マザー＝テレサは，最も貧しい人々にこそ尽くすべきであるとの思いから，スラム街の最貧困層への支援に生涯を捧げた。彼女は，この世の最大の罪とは，見捨てられたり困窮したりしている他者に対し，愛と憐れみをもたず**無関心**でいること，とした。この罪を無くすには，そのような他者の尊厳を認め愛することしかない，と説いた。

※他者の無関心がもたらす孤独感こそが，最貧困層の苦しみの本質であると考え，キリスト教の隣人愛を世界に呼びかけ，自ら実践した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④キング牧師（1929 ～ 68 年）

A　人物

マーティン＝ルーサー＝キング＝ジュニアは，プロテスタントの牧師の子として，**アメリカ**のジョージア州に生まれた。学生時代にガンディーの非暴力・不服従運動に触れて大きな影響を受け，人種差別の根強いアラバマ州に牧師として赴任し，以後，**黒人解放運動**を指導した。1964 年，公民権法が制定され，公的な機関や場所における人種差別が禁じられることになり，同年，ノーベル平和賞を受賞。その後もベトナム反戦運動などに身を投じたが，1968 年，演説中に暗殺された。

※アメリカでは激しい黒人差別が続いていた。南北戦争中の 1863 年に出されたリンカン大統領の奴隷解放宣言も，形式上のものにすぎなかった。

B　活動

1955 年，**バス＝ボイコット運動**という直接行動を呼びかけ，１年以上かけて成功させる。この成果を受け，キング牧師が指導者となり，選挙権の獲得や差別の撤廃を求める**公民権運動**が盛り上がっていった。

※1963 年，全米から集まった 20 万人以上の支持者が，首都でワシントン大行進を実施，運動の成功を祈った。ここで**「私には夢がある」**と演説を行い，世界中に深い感動を与えた。

⑤他のヒューマニスト

A　**トルストイ**（1828 ～ 1910 年）

ロシアの作家・思想家。主著『**戦争と平和**』『アンナ = カレーニナ』『復活』。

※キリスト教的隣人愛や**非暴力主義**を唱え，ロマン = ロランやガンディー，日本の白樺派などのヒューマニズム運動に大きな影響を与えた。

B　**ロマン = ロラン**（1866 ～ 1944 年）

フランスの作家・評論家・平和主義者。主著『ジャン = クリストフ』。

※実際の行動を伴う「戦闘的ヒューマニズム」の立場で，第一次世界大戦中は中立国スイスに亡命して反戦活動を行う。第二次世界大戦時にはフランスに帰り，ナチス = ドイツに対する反ファシズム運動〔レジスタンス運動〕に身を投じた。

C　**孫文**（1866 ～ 1925 年）

中国の民族主義者・革命家。民族・民権・民生の**三民主義**を唱えた「中国革命の父」。

※1911 年の辛亥革命を主導して清王朝を倒し，1912 年に**中華民国を建国**した。

D　**バートランド = ラッセル**（1872 ～ 1970 年）

イギリスの数学者・哲学者・平和運動家。ドイツ（のちアメリカ）の**アインシュタイン**（1879 ～ 1955 年）とともに，1955 年，核戦争による人類破滅の危険性を警告する**「ラッセル・アインシュタイン宣言」**を発表した。

※1957 年には，カナダで**パグウォッシュ会議**を開催するなど，核兵器廃絶運動・平和運動に積極的に取り組んだ。

E　チャップリン（1889 ～ 1977 年）

イギリス生まれの喜劇俳優・映画監督。機械文明やファシズムを批判，深い人間愛を背景とした作品で有名。代表作『街の灯』『モダンタイムス』『独裁者』。

F　**杉原千畝**（1900 ～ 86 年）

リトアニアの首都カナウスの領事代理を務めていた 1940 年，ナチス = ドイツに追われるユダヤ難民に独断で「命のビザ（＝日本への通過ビザ）」を発給，5000 人以上の命を救った“日本のシンドラー”。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

G　ネルソン＝マンデラ（1918～2013年）

南アフリカ共和国のアパルトヘイト〔人種隔離政策〕反対運動の指導者。国家反逆罪で27年間投獄された後に釈放され，1994年に初の黒人大統領に就任してアパルトヘイトを撤廃した。その前年にノーベル平和賞を受賞。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第22講　倫理確認テスト

1　現代においては「ヒューマニズム」は何と訳されるか？

①　人文主義　②　人道主義　③　道具主義　④　実用主義

2　「インド独立の父」とは誰か？

①　鑑真　②　ガンディー

③　アマーティア＝セン　④　ナーガールジュナ

3　「密林の聖者」シュヴァイツァーの象徴でもある，彼の言葉とは？

①　非暴力・不服従　②　革命いまだ成らず

③　力への意志　④　生命への畏敬

4　シュヴァイツァーは，どこで医療・伝道活動に生涯を捧げたか？

①　ヨーロッパ　②　南アメリカ　③　アフリカ　④　東南アジア

5　インドのコルカタで，最貧困層への支援などに生涯を捧げた女性とは？

①　マザー＝テレサ　②　ハンナ＝アーレント

③　神谷美恵子　④　ボーヴォワール

6　4が「この世の最大の罪」と考えたものは？

①　運命愛　②　無関心　③　絶望　④　限界状況

7　キング牧師の言葉を一つ選べ。

①　「私には夢がある」　②　「真理であるから有用」

③　「最大多数の最大幸福」　④　「自然に帰れ」

8　ノーベル平和賞受賞者ではないヒューマニストを一人選べ。

①　ガンディー　②　シュヴァイツァー

③　マザー＝テレサ　④　キング牧師

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　小説『ジャン＝クリストフ』などで知られる，「戦闘的ヒューマニズム」の平和運動家とは？

①　トルストイ　②　ロマン＝ロラン
③　バートランド＝ラッセル　④　ネルソン＝マンデラ

10　５千人以上のユダヤ人の命を救ったとされる，リトアニア領事代理を務めた日本人とは？

①　杉原千畝　②　西田幾多郎　③　石橋湛山　④　丸山真男

解答

1	②	2	②	3	④	4	③	5	①
6	②	7	①	8	①	9	②	10	①

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第23講　現代思想

1　精神分析学

ヘーゲルのドイツ観念論，ベンサムやミルの功利主義，マルクスやエンゲルスの社会主義など,近代社会を発展させてきた思想の背景には,**理性**への信頼があった。人間は，理性で意識できる範囲で自らを律すれば，行動を完全にコントロールできるという考えである。しかし,「理性の下には**無意識**があり，思考・感情・行動を支配している」と考え，そのメカニズムを解明しようとする学問が，19世紀末に登場した。それが**精神分析学**である。

①フロイト（1856～1939年）

A　人物

チェコ生まれの**オーストリア**の**精神分析学者**。ユダヤ人の厳格な父の下で育てられる。ウィーン大学の医学部で生理学・進化論・神経病理学などを学び，フランスにも留学。1938年，ナチス＝ドイツがウィーンを占領したためイギリスに亡命し,翌年に死去。主著『**精神分析学入門**』『**夢判断**』。

B　**無意識**の発見

フロイトは，**神経症〔ノイローゼ〕の治療**や**夢の研究**の中で，近代文明の発展を支えてきた人間の理性の奥底に，意識的に統御(とうぎょ)できない**無意識**の存在を発見し，その働きに注目した。

C　心の３つの層

1　**エス〔イド〕**

無意識に**性衝動〔リビドー〕**が蓄えられた部分で,**快楽原則に支配される。**

2　**自我〔エゴ〕**

意識の部分で，エス〔イド〕の要求（＝快感を求める）を現実に適応させ，同時に超自我〔スーパーエゴ〕の命令にも応じようとする。

3　**超自我〔スーパーエゴ〕**

人間の根源にある**欲望を統御する良心**で，教育を通じて社会規範が内面化されたもの。

※これの働きが自我〔エゴ〕を統御し，エス〔イド〕を抑圧する。

D　子どもの無意識の抑圧(よくあつ)心理

1　男児の父に対する**エディプス〔オイディプス〕コンプレックス**

2　女児の母に対する**エレクトラコンプレックス**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②ユング（1875 ～ 1961 年）

A　人物

スイス生まれの精神分析学者。ドイツ国境近くで牧師の家庭に育つ。バーゼル大学で医学を学び，パリに留学した後，チューリヒ大学を出てバーゼル大学の教授を務めた。

フロイトの共同研究者として32年間の交流をもつが，のち独自の路線で**分析心理学**を打ち立てた。主著『心理学と錬金術』。

※あらゆるものを性衝動〔リビドー〕に結び付けようとするフロイトに対し，ユングは考え方の違いを感じ，最終的に決別した。

B　性格類型

心的エネルギーである性衝動〔リビドー〕が，外界と内面のどちらに向かいやすいかによって，**外向型・内向型**の２つに分類した。

※さらに，思考・感情・感覚・直観のどれが優先するかに区分し，両者を掛け合わせ８通りに分類した。

C　**無意識**の区別

ユングは，人間の心には無意識の領域がある，という点においてはフロイトに同調したが，**個人的無意識**と**集合的無意識〔普遍的無意識〕**とを区別した。

D　**元型〔アーキタイプス〕**

集合的無意識は，個人的無意識より深い層にあり，そこには人類に共通する普遍的イメージや観念の世界が広がっているとし，それを**元型〔アーキタイプス〕**と名付けた。

※元型の中身は，世界中に広がる神話・伝説・昔話などに共通して見いだせる（例：鬼や悪魔，グレート＝マザー）と考えた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　フランクフルト学派

フランクフルト学派は，第二次世界大戦（1939 ～ 45 年）の直前，1930 年代に現れた思想家集団で，**ドイツ**のフランクフルト社会研究所を中心に，**実存主義とは別の視点から近代的理性を批判**した（＝**批判理論**）。彼らは，なぜ「理性」が発達したはずの社会に，ムッソリーニのファシズムやヒトラーのナチズムのような**「野蛮」**が発生したのか，という問題意識をもっていた。

※フランクフルト学派の立場では，近代的「理性」は，その啓蒙活動によって，人類に「自由と解放」ではなく「支配と管理」をもたらし，「野蛮」に転落させた悪因であった。

※メンバーの多くがユダヤ系であり，現代社会が人間を秘かに支配するシステムと化していることに批判的で，マルクス主義とも関わりが深かったため，ヒトラーが台頭した時期は，ユダヤ人迫害を逃れてアメリカに亡命し，活動した。

①ホルクハイマーとアドルノ

A　主張

ホルクハイマー（1895 ～ 1973 年）と**アドルノ**（1903 ～ 69 年）は，共著『**啓蒙の弁証法**』で，「理性」は自然を支配することで文明を進歩させる一方，その進歩は管理社会をつくり上げ，人間を抑圧する「野蛮」へ陥(おちい)らせる，とした。

B　**啓蒙の弁証法**

啓蒙主義的な人間の姿（＝理性）は野蛮な在り方と対立するが，両者は止揚(しよう)〔アウフヘーベン〕して高みに上ることはなく，転落する（＝**否定的弁証法〔逆向きの弁証法〕**）。

※近代以降の社会を振り返ると，文明の進歩は，人類を人間らしい状態でなく，むしろ野蛮状態へ導いたと言わざるを得ず，進歩は退歩に逆転したと考えた。

C　**道具的理性**

近代の科学技術の進歩や産業社会の進展に伴って,「理性」は目的に対する効率的手段を判断･計算するだけの画一的な道具になってしまった, と考えた。

※自然を支配する道具と化してしまった「理性」は，人間本来の自由をかえって失わせた，とした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　**権威主義的パーソナリティ**

アドルノは，ファシズムの解明をテーマとした『**権威主義的パーソナリティ**』を著し，権威に弱く硬直した性格の人は，人種・宗教などに基づく偏見をもちやすく，人間を上下関係の中に序列づけて考える（＝差別意識をもつ）傾向があるとした。

②フロムとマルクーゼ

A　**フロム**（1900 ～ 80 年）

フランクフルト学派に精神分析学を導入して，のち新フロイト派に連なった社会心理学者。著書『**自由からの逃走**』で，現代人は社会の束縛から解放され自由な個人となったが，それゆえに耐えがたい孤独に陥り，強力な指導者に隷属したり，全体主義的な社会に浸りきったりすることにより，自由から逃れ楽になろうとする傾向をもつ，と述べた。

※近代以降，人間は「理性」を駆使して自由を獲得してきたはずだが，その自由が時に耐えがたいほどの重荷になることもある。人間はその重荷から逃れようとして，結果的にファシズムの台頭を許してしまうことがある，と説いた。

B　**マルクーゼ**（1898 ～ 1979 年）

管理社会の中で批判的な理性を喪失し，現状を肯定するだけの人間を「**一元的人間**」と名付け，本来の人間的自由を阻害する現代社会を厳しく批判した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③ハーバーマス→フランクフルト学派「第２世代」

フランクフルト学派「第１世代」は，ファシズムに陥った**「原因」**を考えたが，**「第２世代」**の**ハーバーマス**（1929年～）は，主著『コミュニケーションの理論』などで，ファシズムの**「防止方法」**を提示した。彼は，多様化が進む戦後社会では，**討論**を通じて強制を伴うことなく**合意**をつくり出すことができる，と論じ，人と人との対等で自由なコミュニケーション行為において働く**対話的理性〔コミュニケーション的理性〕**に目を向けた。

※ハーバーマスは，人は互いに合意に至ることを可能にするような「理性」（＝対話的理性）をもっているとし，道具的理性を排除した新たな社会システムの実現を模索・検討した。主著『公共性の構造転換』『コミュニケーション的行為の理論』。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　分析哲学

①当初の思想→哲学は無意味

オーストリアに生まれ，**イギリス**で活躍した**ウィトゲンシュタイン**（1889～1951年）は，当初『論理哲学論考』を著して**「語りえぬものについては，沈黙せねばならない」**という立場をとっていた。

※自然科学・社会科学においては，命題の真偽（しんぎ）を確定できるが，**神や道徳などに関する宗教や哲学の言語は，現実の事象との対応関係がない**（＝人文科学）。つまり，これまでの哲学的問題の多くは「語り得ぬものを語ろうとした」ために生じたとし，**近代哲学など無意味である**，と考えた。

②その後の思想→言語ゲームと分析哲学

その後，ウィトゲンシュタインは，日常生活における言語の使用や規則の習得について分析し，**「言語ゲーム」**という概念を導入し言語の問題を捉え直した。言葉には，どれも固有の意味があるのではなく，何らかの規則に従い使われる中で，特定の意味・働きをもつのであり，使用者はそのルールを自覚しているわけではない。それは，ある人がトランプでゲームをしている人々の輪に入って，そのゲーム特有のジョーカー札の使い方を覚えることに似ている。つまり，日常言語は，互いにゆるく繋がりながら，互いを位置付けているだけだ，とした。そして，自然科学・社会科学における言語の使用もまた，多様な言語ゲームの一つであるにすぎないと考えた。

※このように，言語使用のあり方そのものの仕組みを問う学問を**分析哲学**といい，大きな思想的潮流となった。

③ウィトゲンシュタインの思想の意義

従来，形而上学的なレベルで議論されてきた哲学のテーマを日常生活（＝形而下）に引きずり下ろし，**真の命題を，抽象的な「世界」ではなく，現実世界で考え直そうとした。**主著**『論理哲学論考』『哲学探究』**。

4　構造主義

①構造主義とは？

フランクフルト学派(独)やウィトゲンシュタイン(英)の分析哲学とともに,「理性」を絶対視してきた近代哲学を破壊するような思想に，**フランス**で登場した**構造主義**がある。構造主義では，部族社会（＝象徴的）であれ，文明社会（＝科学的）であれ，**人間や各個人が何をどう思考しようとも，社会制度や文化の背後には，一貫した無意識の規則である「構造〔システム〕」がある**，と捉える。

※人間社会には「進歩」などというものは存在せず，同じ構造の下で**「変換」**するだけだ，とした。

※**スイス**の言語学者**ソシュール**の構造言語学が，構造主義のモデルとなった。

②レヴィ＝ストロース→文化相対主義

A　主張

フランスの文化人類学者**レヴィ＝ストロース**（1908 ～ 2009 年）は，非西洋のいわゆる“未開社会”に暮らす人々の実地調査を行い,彼らのもつ「野生の思考」の内に，自然と文化を調和させる可能性を見いだした。

※未開民族の儀礼中心の生活は,西洋近代文明から見れば野蛮に感じるが,そこには文明人の科学的思考に少しも劣ることのない複雑な規則に基づいた一定の「構造」があることを明らかにした。

B　**諸文化は対等の価値をもつ**

「文明社会こそ優秀（＝進歩），未開社会は野蛮（＝停滞）」と文化に優劣をつけ，前者が後者を支配し克服すべき，等と考えることは，**自文化中心主義〔エスノセントリズム〕**に基づく誤りであるとした。

※西洋近代文明における，「理性と科学技術に基づく社会」が頂点に位置するわけではないことを指摘し，文明社会に住む人々に根底的反省を迫る態度をとった。主著**『野生の思考』『悲しき熱帯』**『親族の基本的構造』。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③フーコー→文化相対主義

Ａ　主張

フランスの哲学者**フーコー**（1926 ～ 84 年）は，近代以降の西洋文明社会では,「理性」を基準に, 無意識的に近代的秩序から逸脱するものを**「狂気」**とみなし，異常なものとして排除してきたとした。

※この**排除の論理**によって，本来，多様なあり方をもつはずの人間や文化は，西洋近代の価値観を基準に序列化されてきた。そして，その位置づけに根拠はないのに，序列化により社会の監視･管理が強まったとして，**近代の成立過程を批判**した。

Ｂ「理性」の絶対視を批判

近代以降，人間が「理性」を絶対視し，自らの内にある非理性的なものを支配･抑圧できる人こそ正常かつ健全である，とみなす傾向を問題視した。それは，その時代特有の「真理」イメージに基づく一つの考え方にすぎないのに，多くの人間はそこに気付かない。その結果，自らの内にある正常でないものを自ら進んで否定し，社会への服従を自覚なく選択することになる。

※近代では，理性的なものと非理性的なものを選別し，後者を排除する権力行使が当たり前になることで，監視に怯(おび)え管理を許し，社会規律に進んで従う人間が生み出されてきた（＝人間が規格化されてきた)。フーコーによれば，実存主義のサルトルが言うような「自由な意志に基づく主体的な生き方」も，近代社会の枠組みの中で刷り込まれた選択肢でしかない。それは与えられた理想であり，そこに向かい生きることは，結局「自発的な服従」にすぎないと批判した。

Ｃ　**「知の考古学」**を提唱

フーコーは, 西洋の歴史を客観的に分析し, 確固とした「理性」や「真理」という考えは，絶対的でも何でもなく歴史的産物にすぎない，ということを明らかにした。主著『**言葉と物**』『**狂気の歴史**』『**監獄の誕生**』『性の歴史』。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

５　その他の現代思想

①レヴィナスの倫理的主体

A　主張

リトアニア生まれのユダヤ人で，ナチス＝ドイツのホロコースト〔大量虐(ぎゃく)殺(さつ)〕により家族を失い**フランス**に帰化した哲学者**レヴィナス**（1906～95年）は，自己意識の中に取り込めない**他者**が現れる場を**「顔」**という言葉で表現した。

※そして，近代的理性が「他者をどう役立てるか」という発想でしか物事を評価してこなかった暴力性を照らし出した。

B　**「汝(なんじ)殺すなかれ」**

レヴィナスの著書『**全体性と無限**』によれば，他者性をもつ「顔」が自己に迫る「汝殺すなかれ」という倫理的命令の呼びかけは，世界を道具とみなすことを止め，他者にも苦痛が存在することを自覚し，その苦痛に自己が責任をもつ態度である。

※逆に，自己に役立たないものを排除するとは，世界を自己に同化させる営みに他ならない。それは，他者のいない世界を生きようとすることであり，ならば，人間に個として存在する意味はない。

※それを他者の苦痛を克服することで覆したときに，初めて人間は存在の無意味さを克服し，**倫理的主体**になる，とした。

②ハンナ＝アーレントの公共性と全体主義

ドイツ生まれのユダヤ人で，**アメリカ**に亡命した政治学者**ハンナ＝アーレント**（1906～75年）は，ヒトラーのナチス＝ドイツやスターリンのソ連を典型とする**全体主義**が生まれるメカニズムを解明しようとした。彼女は，人間の行動を**労働**（＝生命維持のため食糧を得る行為）・**仕事**（＝自然を加工し物をつくり，文化的世界を形成する行為）・**活動**（＝私的利害の束縛から解放され公的な政治空間で自由に話し合い，言葉で相手を動かし**公共性**の領域〔**公共的空間**〕をつくる行為）の３つに分けた。

※しかし，現代社会では，私的領域と公的領域が混同され，政治から公共性が失われていく，とした。その結果，人間の個性が見失われ，孤立して無力感にとらわれた大衆が帰属感を求めて全体主義に陥ってしまう，とした。主著『**全体主義の起源**』『**人間の条件**』。

※実存主義のハイデッガーと過去に恋愛関係であったハンナ＝アーレントは，ナチスを擁護した彼を，戦後に責めることはしなかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③ボーヴォワールのジェンダー論

A　主張

フランスの文学者・**実存主義者**である**ボーヴォワール**（1908～86年）は，パリ大学でサルトルと出逢い，生涯連れ添ったが，「互いの自由恋愛には干渉しない」とした契約結婚関係であった。彼女は女性の自立を追及し，生物学的性差〔セックス〕と**社会･文化的性差〔ジェンダー〕を明確に区別**した。

B　**「人は女に生まれるのではない。女になるのだ」―『第二の性』より―**

ボーヴォワールは，人間集団にあっては何事も意味付けがなされているため自然のままではあり得ず，とりわけ「女性」は文明がつくり上げた「（通常の性＝男性から逸脱した）もう一つの性」であると論じた。

※つまり，最初から女の運命には「女性らしさ」という他人が求める暗黙の意図が介在している。この，暗に求められる「女性らしさ」の内容が異なっていたら，「女性」の運命は全く別の結果になっていただろう，と考えた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④ロールズの正義論→リベラリズム〔自由主義〕の代表

A　主張

アメリカのハーバード大学の政治哲学者**ロールズ**（1921～2002年）は，著書『**正義論**』の中で，自由や富などの「各人それぞれが望む生を実現するために必要な基本財」を分配する正義の原理を，社会契約説の理論に基づき探究した。

B　正義の二原理→**「公正としての正義」**を実現するために

1　人はみな自由で，平等な権利をもつが，他者の権利を侵害してはならない。

２ a　社会の格差は，平等な機会の下での公正な競争の結果でなければならない。

b　社会の格差は，（競争の結果生まれた）最も恵まれない人々の生活改善につながる限りで認められる。

C　**功利主義を批判**

ロールズは，「個人の快楽を求める行動がそのまま社会全体の幸福につながる」とする功利主義を批判，「社会とは人々の（暗黙の）合意に基づき成り立つべきである」とする社会契約説の復権を唱えた。

D　マイケル＝サンデル（米）による批判→コミュニタリアリズム〔共同体主義〕の代表

1　善の追求という目的を書き，個人的権利の保障を優先する無目的な正義論。
※社会はまとまりを欠き，政府も方向性を打ち出せず，政治が行き詰まる。

2　ロールズの人間観にコミュニティへの属性がない。
※所属するコミュニティを考慮しない議論は現実と乖離（かいり）する。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤センンの潜在的アプローチ

A　主張

インド生まれでイギリスで活動した**アマーティア＝セン**（1933年〜）は，開発と**貧困**の問題などを専門とする厚生経済学者。「自分にとって価値があると思う諸目的」を追求する自由（＝**潜在能力〔ケイパビリティ〕**）を等しく保障することが重要である，と指摘した。

※格差の是正には，生きる環境や能力が異なる人々に対し，同じ財を分配するのではなく，基本的な潜在能力の平等を保障することが必要だと考えた。

B　**潜在能力アプローチ〔ケイパビリティ＝アプローチ〕**

センは，人間は多様な存在であるので，ロールズ（米）の唱える分配の正義ではなく，**潜在能力の機能がどれほど発揮できているか**，で格差是正を評価しようとした。

※貧困などの格差問題は，単に所得を向上させることで解決できるわけではない，と考えた。

※ 1998年，アジア人として初めてノーベル経済学賞を受賞した。

⑥デリダの脱構築

フランスの哲学者**デリダ**（1930 〜 2004年）は，西洋哲学が基礎としてきた言葉〔ロゴス〕中心主義や，デカルト（仏）に代表される物心二元論的思考など，階層化された思考を解体し，新たな価値世界を歴史の中で再構築するため**「脱構築」**を主張した。これは，「絶対的な真理を確立するために，今ある真理を否定する」という思考活動を同時に行う哲学的立場である。

※デリダは代表的な**ポスト構造主義**〔脱構造主義〕の思想家。他にも，同じフランスの**ドゥルーズ**や**ガタリ**などが有名。

⑦サイードのオリエンタリズム

パレスチナ人〔アラブ人〕としてエルサレムに生まれた**アメリカ**の思想家**サイード**（1935 〜 2003年）は，著書『**オリエンタリズム**』の中で，近代の西洋社会が自らを東洋と区別し，東洋を非合理的・後進的とみなすことでアイデンティティを形成した過程を指摘し，それを**オリエンタリズム**と呼んだ。そして，これが西洋による植民地支配を正当化してきた，と批判した。

※植民地の独立後も続く，支配の歴史によって形成された抑圧や偏見を批判する，ポストコロニアリズムの理論を唱えた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第23講　倫理確認テスト

1　フロイトのいう，人間の根源にある欲望を統御する良心を何というか？

①　エス〔イド〕　②　自我〔エゴ〕

③　超自我〔スーパーエゴ〕　④　性衝動〔リビドー〕

2　ユングのいう，人類に共通する普遍的なイメージや観念の世界を何というか？

①　元型〔アーキタイプス〕　②　個人的無意識

③　エディプスコンプレックス　④　エレクトラコンプレックス

3　フランクフルト学派「第１世代」である，ホルクハイマーとアドルノの共著とは？

①　『夢判断』　②　『啓蒙の弁証法』

③　『権威主義的パーソナリティ』　④　『自由からの逃走』

4　フランクフルト学派「第１世代」のマルクーゼは，管理された社会の中で批判的な理性を喪失し，単に現状を肯定するだけの人間を何と名付けたか？

①　「マージナル＝マン〔境界人・周辺人〕」　②　「ダス＝マン〔ひと・世人〕」

③　「死への存在」　④　「一元的人間」

5　「言語ゲーム」という概念を導入し，分析哲学を創始したイギリスの哲学者とは？

①　ベーコン　②　ベンサム　③　ミル　④　ウィトゲンシュタイン

6　『野生の思考』『悲しき熱帯』を著した，構造主義の祖とは？

①　レヴィ＝ストロース　②　フーコー　③　ドゥールズ　④　ガタリ

7　レヴィナスは，自己意識の中に取り込めない他者〔他性〕が現れる場を何という言葉で表現したか？

①　「顔」　②　「ジェンダー」　③　「狂気」　④　「対話的理性」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

8　ハンナ＝アーレントの著書を一つ選べ。

①　『精神分析入門』　②　『コミュニケーション行為の理論』

③　『第二の性』　④　『全体主義の起源』

9　ハーバード大学で「公正としての正義」について講義した政治哲学者とは？

①　ロールズ　②　サンデル

③　アマーティア＝セン　④　ボーヴォワール

10　『オリエンタリズム』を著し，西洋による植民地支配の正当化を批判したアメリカの思想家とは？

①　ハーバーマス　②　デリダ　③　サイード　④　パース

解答

1	③	2	①	3	②	4	④	5	④
6	①	7	①	8	④	9	①	10	③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 24 講　現代社会の諸課題①

1　生命倫理

①生命倫理〔バイオエシックス〕とは？

生命工学〔バイオテクノロジー〕や医療技術の進歩に伴って新たに登場した，生老病死（しょうろうびょうし）をめぐる問題や研究のこと。

※生命現象を総合的に扱う学問は，**生命科学〔バイオサイエンス〕**という。

②生殖技術の進歩〔生殖革命〕→「デザイナーベビー」も可能に

A　**人工授精（じゅせい）**

精子を人工的に，直接子宮内に注入する。

B　**体外受精**

母体から卵子を取り出し，体外で受精させる。

C　**代理出産**

受精卵を第三者の女性〔**代理母**〕の子宮に移し，出産してもらう。

※ 2017 年現在，日本では自主規制により実施できない。

D　**出生前診断**

胎児の性別や障害・遺伝性の病気の有無などを，出産前に診断する。

※着床前診断と胎児診断があり，日本では条件つきで認められているが，ともすれば**中絶**に結びつき，生命を安易に選別する発想につながりかねない倫理的問題を抱えている。

※一方で，中絶を認めないのは，女性の「**リプロダクティブ・ヘルス・ライツ**〔性と生殖に関する健康と権利〕」を侵害するという見方もある。

③遺伝子工学の発達

A　**遺伝子組み換え**

遺伝子〔ＤＮＡ・デオキシリボ核酸〕の一部を切り取り，別の生物の遺伝子とつなぎ，新たな遺伝子をつくる技術。

※遺伝子組み換え技術を利用した**遺伝子操作**により，農作物の品種改良や病気の遺伝子治療の研究が行われているが，安全性や環境への影響の面で議論が起こっている。

※遺伝子組み換え作物について，日本の食品衛生法では，2001年から安全性の審査や表示が義務付けられている。

B　**クローン**

同じ遺伝子をもつコピー生命体。受精卵クローンと体細胞クローンがある。

※後者は1996年にイギリスで**クローン羊ドリー**が誕生し，世界に衝撃を与えた。

※日本では2001年にヒトに関する**クローン技術規制法**が施行されている。

C　**ヒトゲノム解析**

ヒトの遺伝情報，すなわち「人間の設計図」の全体の解読を試みる。

※2003年，日本を含む国際プロジェクトにより，一応の終了宣言が出された。

④再生医療

将来的に，脳などの傷んだ組織や，腎臓などの臓器修復を目指す**再生医療**分野の研究は，20世紀末以降，急速に進んでいる。

A　**ＥＳ細胞　〔胚性幹細胞（はいせいかん）〕**

人工的に培養した初期の受精卵〔初期胚〕を利用した，万能細胞。

B　**ｉＰＳ細胞〔人工多能性幹細胞〕**

皮膚などの体細胞を利用したもの。

※2012年，京都大学の山中伸弥教授は，これの開発によりノーベル生理学・医学賞を受賞した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤臓器移植と脳死

A　**生体移植**

日本では，生体移植の提供者〔**ドナー**〕は基本的に親族に限られており，ドナーを見つけられない移植患者〔**レシピエント**〕も多い。

B　死体移植

従来は家族の同意に基づき，**心臓死**した人から角膜や腎臓の移植が行われてきた。しかし，心臓や肝臓の場合は国内では不可能だった。

※心臓死は，**心拍停止・自発呼吸停止・瞳孔拡大**（どうこう）の三兆候によって判断する。

C　**脳死**

事故や病気により脳幹・小脳・大脳という全脳の機能が不可逆的に停止した状態。

※自発呼吸はできるが大脳部分の機能のみ大きく喪失しているのは，植物状態という。

D　**臓器移植法**の制定（1997 年）

臓器を提供する場合に限り，脳死を「人の死」と認める。

E　**臓器移植法の改正**（2009 年）

本人（年齢制限なし）のドナーカードへの署名による生前の意思表示がなくても，拒否の意思表示がない限り，家族の同意があれば臓器提供が可能で，本人（15 歳以上）の意思表示があれば親族への優先提供を認める。

※制度的には０歳からも臓器移植が可能となった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥現代の医療と死生観

A　**リビングウィル→「尊厳死」**の発想

人が自らの（終）**末期医療〔ターミナルケア〕**をどうしてほしいか，あらかじめ**「延命治療を拒否する」**等と文書で意思表明しておくこと。

B　**安楽死**

患者に回復の見込みがない場合，本人の意思に基づいて死に至らせること。積極的安楽死と間接的安楽死の２種類がある。

C　**インフォームドコンセント〔説明を受けた上での同意〕**

症状や治療内容，今後の治療方針などを十分に説明し，患者の理解や同意を得た上で医療行為を進めていくこと。

D　**ＱＯＬ〔クオリティ・オブ・ライフ，生命の質〕**

ＳＯＬ〔サンクティティ・オブ・ライフ，生命の尊厳〕と相対する考え方。

※ホスピスケアはイギリスを中心に発達してきたが，日本でも広がってきている。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　環境倫理

①環境倫理とは？

A　**環境問題**

特に 20 世紀の科学技術の急速な発展に伴う，地球上における人類の活動の拡大によって生じた**公害**や**環境破壊**〔**環境汚染**〕。

B　**環境倫理**

環境問題を倫理的側面から考えたもの。地域計画・都市計画において快適な環境を求める，イギリスのアメニティ思想から意識され始めた。

C　環境倫理の三原則

1　**地球有限主義**→有限な地球環境や**生態系**〔**エコシステム**〕を保存していく

2　**世代間倫理**

3　**自然の生存権**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②地球環境問題

A　進行中の**地球環境問題**

地球温暖化，**オゾン層の破壊**，**酸性雨**，**熱帯雨林などの森林破壊**，**砂漠化**など。

B　**レイチェル＝カーソン**（1907 ～ 64 年，**アメリカ**の生物学者）

1962 年に『**沈黙の春**』を著し，**農薬**に使用される殺虫剤ＤＤＴや化学薬品などの乱用による生態系の破壊と，人間を含む全生物の死滅を警告。

C　**ボールディング**（1910 ～ 93 年，**アメリカ**の経済学者）

「**宇宙船地球号**」という比喩（ひゆ）を経済学に取り入れ，世界は運命共同体であるからこそ，自然環境の保全に取り組むべきだと広く訴えた。

D　**ハーディン**（1915 ～ 2003 年，**アメリカ**の生物学者）

論文で「**共有地の悲劇**」という表現を用い，有限な共有資源をめぐって各人が自由に，利己的に経済的利益を追求し続けると，最終的には全員が全てを失うという悲劇的結果を招くことを警告し，利益追求を最優先とする環境開発や資源利用を戒（いまし）めた。

E　**ローマクラブ**（地球規模の諸問題を扱う研究者集団）

1972 年に報告書『**成長の限界**』で，このまま地球上の開発が進めば，天然資源は枯渇，環境汚染が進行して限界が訪れると警告した。

F　**コルボーン**（1927 年～，**アメリカ**の生物学者）

1996 年に『**奪われし未来**』を著し，**ダイオキシン**などの**環境ホルモン**〔**内分泌（ないぶんぴつ）かく乱物質**〕の危険性を指摘した。

G　**Think globally, act locally〔地球規模で考え，地域から行動を〕**

消費者運動から始まった標語。地球環境への人間の影響力を意識するからこそ，人間のとるべき姿勢と決意を表している。

③原子力発電

石油や石炭は，地球温暖化の原因となる二酸化炭素〔CO_2〕を排出するため，これに代わるエネルギーとして**原子力発電**が利用されてきた。しかし，発電所内での事故や**放射性廃棄物**の処理など，安全面で大きな課題があることが問題視されている。

※太陽光・地熱・風力などの**再生可能エネルギー**を積極的に導入すべき，という声もあがっている。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④環境問題への国際的取り組み

1971年　**ラムサール条約**

※水鳥(みずどり)の生息地である湿地の保全を促進する。

1972年　国連人間環境会議→スウェーデンのストックホルムにて

※**「かけがえのない地球」**がスローガン。

※人間環境宣言採択，国連環境計画〔ＵＮＥＰ〕設立。

1973年　**ワシントン条約**

※絶滅の恐れのある野生動植物の国際取引規制。

1985年　ウィーン会議

※オゾン層を破壊するフロンガスを規制。

1987年　モントリオール議定書(ぎていしょ)

※特定フロンの全廃を採択。

1992年　国連環境開発会議〔地球サミット〕→ブラジルのリオデジャネイロにて

※**「持続可能な開発」**を原則とした**リオ宣言**と，行動計画**アジェンダ 21**。

※**気候変動枠組み条約，生物多様性条約**を採択。

1997年　地球温暖化防止京都会議〔ＣＯＰ３〕

※**京都議定書**を採択。

2002年　環境開発サミット〔リオプラス10〕→南アフリカのヨハネスブルグにて

2012年　リオプラス 20 →ブラジルのリオデジャネイロにて

2015年　地球温暖化防止パリ会議〔ＣＯＰ 21〕

※**パリ協定**を採択。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤日本の環境保全・保護

A　**足尾銅山鉱毒事件**で抗議運動を行った**田中正造**（しょうぞう）（1841 ～ 1913 年）

B　神社合祀（ごうし）令に反対した**南方熊楠**（みなかたくまぐす）（1867 ～ 1941 年）

C　典型七公害

騒音・振動・悪臭・大気汚染・土壌汚染・水質汚濁・地盤沈下。

D　**四大公害訴訟**→全て原告側が勝訴

1　**水俣病**（みなまた）**（熊本県，有機水銀が原因）**
※ **石牟礼道子**（いしむれみちこ）が『**苦海浄土**（くがいじょうど）』を発表。

2　**第二水俣病（新潟県阿賀野川**（あがのがわ）**下流域，有機水銀が原因）**

3　**イタイイタイ病（富山県神通川**（じんづうがわ）**下流域，カドミウムが原因）**

4　**四日市ぜんそく（三重県，亜硫酸**（ありゅうさん）**ガスが原因）**

E　**公害対策基本法**（1967 年制定，70 年改正）→ 1993 年，**環境基本法**に統合

F　**環境庁**の設置（1971 年，2001 年から**環境省**）

G　その他

企業の社会的責任〔ＣＳＲ〕としての**汚染者負担の原則〔ＰＰＰ〕**や，**環境アセスメント法〔環境影響評価法〕**などの定着。

⑥持続可能な循環型社会

A　**ゼロ＝エミッション**〔廃棄物ゼロ〕構想

B　**循環型社会形成推進基本法**（2001 年施行）

C　**３Ｒ**

リサイクル〔再生利用〕・リユース〔再使用〕・リデュース〔発生抑制〕。

※リフューズ〔拒否＝不要物を買わない・もらわない〕を加えると４Ｒ。

D　**グリーン・コンシューマー運動**

環境に配慮した商品を優先的に購入する消費行動を心掛ける。

E　**ナショナル・トラスト運動**

環境保全・保護のため寄付を募るなどして，ある地域を買収する。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　家族と地域社会

①家族の変化

A　「家（イエ）」制度の廃止

B　核家族

C　単独世帯

D　直系家族

E　複合家族〔拡大家族〕

②家族機能の外部化

A　**家族機能の外部化**

地域社会の連帯感も薄れる。

B　家庭内問題

ＤＶ〔ドメスティック・バイオレンス＝家庭内暴力〕，児童虐待，育児放棄〔ネグレクト〕，引きこもりなど。

③男女共同参画社会へ

A　女性の役割の変化

従来の貴重な労働力から，**専業主婦化**が進展。

B　男女平等社会へ→アメリカから「ウーマンリブ」運動が上陸

1　国際婦人年（1975 年）

2　**女子差別撤廃条約**（1979 年，国際連合総会）

3　**男女雇用機会均等法**（1985 年）

※改正により，**セクシャルハラスメント〔性的嫌がらせ〕**への配慮義務も。

※女性の就業率は**Ｍ字カーブ〔Ｍ字型曲線〕**を描く傾向にある。

4　**男女共同参画社会基本法**（1999 年）

※アファーマティブアクション〔積極的差別是正措置〕も掲げられる。

C　**ジェンダー〔社会的・文化的性差〕**の視点

1　**フェミニズム**〔女性解放論〕

※ジェンダーフリー〔性差別撤廃〕やエンパワーメント（＝女性が社会で力をもつ存在となること）をめざす。

2　**育児休業法**（1991 年制定）から**育児・介護休業法**（1995 年制定）へ

※性的役割分担の見直しをはかる。

3　**選択的夫婦別姓**の制度化についての議論

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④少子化

A　**少子化**

先進国の抱える共通問題。

B　**晩婚化・非婚化**

C　**合計特殊出生率**(しゅっしょうりつ)の低下→約1.4。

※2.08を下回ると人口減少へ。

D　**少子化対策基本法**（2003年）

※エンゼルプラン（1994年〜），新エンゼルプラン（2000年〜）を受けて。

⑤高齢化

A　**高齢化**社会（7％以上）→**高齢**社会（14％以上）→**超高齢**社会（21％以上）

日本の**老年人口（65歳以上）**の割合は約27％で超高齢社会。

B　**介護保険制度**（2000年〜）

40歳以上が保険料を負担。

C　ゴールドプラン（1989年〜）

※さらに新ゴールドプラン（1994年〜）→ゴールドプラン21（1999年〜）へ。

D　後期高齢者医療制度（2008年〜）

75歳以上を対象とする医療保険制度。

E　**ノーマライゼーション**の視点

年齢や身体能力にかかわらず，全ての人が当たり前に暮らせる社会が普通だという考え。

※**ユニバーサルデザイン**の採用，物理的・心理的な**バリアフリー**など。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 24 講　倫理確認テスト

1　同じ遺伝子をもつコピー生命体を何というか？

①　バイオエシックス　②　デザイナーベビー

③　クローン　④　ドリー

2「遺伝子」をアルファベットの略称で表したものを一つ選べ。

①　ＰＰＰ　②　ＤＮＡ　③　ＤＤＴ　④　ＤＶ

3　ｉＰＳ細胞の開発により，ノーベル生理学･医学賞を受賞した京大教授とは？

①　湯川秀樹　②　利根川進　③　佐藤栄作　④　山中伸弥

4　生体移植の提供者をカタカナで何というか？

①　ドナー　②　レシピエント　③　ジェンダー　④　ドリー

5　末期医療〔ターミナル＝ケア〕をどうしてほしいか，あらかじめ「延命治療を拒否する」等と文書で意思表明しておくことを何というか？

①　パターナリズム　②　ドナーカード

③　リビングウイル　④　ホスピス

6　症状や治療内容，今後の治療方針などを十分説明し，患者の理解や同意を得た上で治療行為を進めていくことを何というか？

①　リプロダクティブ・ヘルス・ライツ　②　インフォームドコンセント

③　ホスピスケア　④　アファーマティブアクション

7　アメリカの生物学者レイチェル＝カーソンの著書を一つ選べ。

①『沈黙の春』　②『成長の限界』

③『苦海浄土』　④『奪われし未来』

8　1992 年，国連環境開発会議〔地球サミット〕が開催された都市は？

①　モントリオール　②　ストックホルム

③　リオデジャネイロ　④　ヨハネスブルグ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　第二水俣病が発生した都道府県は？

①　熊本県　　②　新潟県　　③　富山県　　④　三重県

10　以下のうち，３Ｒに入らないものを選べ。

①　リサイクル　　②　リユース　　③　リデュース　　④　リフューズ

解答

1	③	2	②	3	④	4	①	5	③
6	②	7	①	8	③	9	②	10	④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 25 講　現代社会の諸課題②

1　情報社会

①情報社会の進展

A　**情報技術革命〔ＩＴ革命〕・情報通信技術革命〔ＩＣＴ革命〕**

20 世紀末以降，急速に**情報化**が進んでいる。

B　**「脱工業化社会」**

アメリカの社会学者**ダニエル＝ベル**（1919 ～ 2011 年）が説いた，情報社会と似た概念。

C　**高度情報社会**

先進国を中心に，**マスコミュニケーション**に代わり，**パーソナルコミュニケーション**が台頭。

※**インターネット**やケーブルテレビ，動画サイトなどのニューメディアを利用するとともに，ネットショッピングをしたり，**ＳＮＳ〔ソーシャルネットワーキングサービス〕**で交流したりする。

※**ｅコマース〔電子商取引〕**も盛んで，テレビ電話も珍しくない。店頭でモノやサービスを購入すると，**ＰＯＳシステム〔販売時点情報管理制度〕**で購入者や購入品の情報が記録され，クレジットカードや電子マネーで決済する。**スマートフォン**などのモバイル端末も手放せない。

D　**「疑似環境」**

アメリカのジャーナリストである**リップマン**（1889 ～ 1974 年）が 20 世紀初頭，**ステレオタイプな世論操作**の危険性などに警鐘を鳴らした用語。

E　**「疑似イベント」**

アメリカの歴史学者**ブーアスティン**（1914 ～ 2004 年）は，実際に起きたことよりも，**マスメディア〔大衆媒体（ばいたい）〕**によって再構成された「事実」のほうが本当らしく見え，そこに大きな価値を見いだそうとする現代社会に警鐘を鳴らした用語。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②情報社会の課題

A　**管理社会化**

地方公共団体の情報公開条例に続き，**情報公開法**制定（1999年）。

B　ハッキング〔不正アクセス行為〕

C　コンピュータ＝ウイルスのばらまき

D　フィッシング詐欺（さぎ）

E　**プライバシー侵害**

地方自治体の個人情報条例に続き，**個人情報保護法**制定（2003年）。

F　**知的財産権〔知的所有権〕の侵害**

G　テクノストレスやネットうつ

H　**バーチャルリアリティ〔仮想現実〕・サイバースペース〔仮想空間〕**と現実の混同

I　**デジタルデバイド〔情報能力格差〕**

格差解消のため，**ユビキタス社会**の実現がめざされている。

※メディアリテラシー・情報リテラシー・情報倫理〔ネチケットなど〕の必要性。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　国際化と多文化共生社会

①多様な文化と異文化理解

A　**文化摩擦**（まさつ）の克服

文化相対主義の立場に立つことが重要。

B　**国際社会→グローバル化・ボーダレス化**の進展

異文化理解が必要条件。

②多文化主義〔マルチカルチュラリズム〕

文化相対主義からさらに踏み込んで，一つの国家や社会の中で複数の文化が共存できるよう，その障害となる諸要素を社会政策により取り除いていこうという立場。

※自民族中心主義〔エスノセントリズム〕の克服が必要。

③日本における課題

A　**アイヌ問題**

1899 年から続いていた**北海道旧土人保護法**に代わり，1997 年に**アイヌ文化振興法〔アイヌ新法〕**を制定。

※2008 年，北海道洞爺湖（とうやこ）サミット開催に合わせ，衆参両院で『アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議』を採択。

B　**沖縄問題→**もと**琉球王国**

米軍基地問題など。

C　**在日韓国人・朝鮮人問題**

1999 年には，永住資格をもつ定住外国人に対する指紋押捺（おうなつ）制度が全廃された。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　国際平和と人類福祉

①国際社会への日本の貢献と課題

Ａ　**ＯＤＡ〔政府開発援助〕**

「顔の見えない」経済援助のみでなく，環境保全・医療・文化財保護など総合的な援助も望まれている。

Ｂ　ＪＩＣＡ〔国際協力機構〕の**青年海外協力隊**

発展途上国に赴き，農業や公共事業などの技術指導などを行う。

Ｃ　**ＰＫＯ〔国連平和維持活動〕**

※ 1992 年，自衛隊をカンボジアに派遣。以後，各地に拡大。

Ｄ　**ＮＰＯ〔非営利組織〕**の活動

1998 年，ＮＰＯ法〔特定非営利活動促進法〕制定。

Ｅ　**ＮＧＯ〔非政府組織〕**の活動

代表的なＮＧＯには，**アムネスティ・インターナショナル**，**国境なき医師団〔ＭＳＦ〕**，**国際赤十字**などがある。

②国際平和をめざして

Ａ　**ユネスコ憲章**の前文→ＵＮＥＳＣＯ〔国連教育科学文化機関〕

「**戦争**は人の心の中で生まれるものであるから，人の心の中に**平和のとりで**を築かなければならない」

Ｂ　初代ドイツ大統領ヴァイツゼッカー（1920 ～ 2015 年）の終戦 40 周年記念演説

「過去に目を閉ざすものは，結局現在にも目を開かなくなります」

Ｃ　**対人地雷全面禁止条約〔オタワ条約〕**（1999 年発効）

国際ＮＧＯの連合体である，**地雷禁止国際キャンペーン**〔ＩＣＢＬ〕からの強い働きかけが実る。

Ｄ　核軍縮の動き

1955年　**ラッセル・アインシュタイン宣言**

1957年　**第１回パグウォッシュ会議**

1963年　**部分的核実験禁止条約〔ＰＴＢＴ〕**

1968年　**核拡散防止条約〔ＮＰＴ〕**

1996年　**包括的核実験禁止条約〔ＣＴＢＴ〕**

1997年　化学兵器禁止条約の発効

2009年　プラハ演説

※アメリカのオバマ大統領が,「核のない世界」をめざすことを宣言。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③現代の消費社会・大衆社会

A　**マックス＝ウェーバー**（1864 ～ 1920 年，**ドイツ**の社会学者）

官僚制〔ビューロクラシー〕を考察。

B　**フロム**（1900 ～ 80 年，**ドイツ**の精神分析学者，フランクフルト学派「第１世代」）

著書『**自由からの逃走**』で現代の大衆を考察。

C　**リースマン**（1909 ～ 2002 年，**アメリカ**の社会学者）

著書『**孤独な群衆**』で，社会における人間の性格的傾向を，**伝統指向型（＝古代・中世）・内部指向型（＝近代）・外部〔他人〕指向型（＝現代）**の３つに分類。

D　**ボードリヤール**（1929 ～ 2007 年，**フランス**の社会学者）

著書『消費社会の神話と構造』で，場の空気を読み，突出しない程度に周囲と差異をつけて個性を主張する，という現代人の特徴を指摘した。

※現代の消費社会は，商品に少し差異を設けて多品種を展開することで，「流行からは外れたくないが，人とは違うものを使いたい」という刺激し続けている，と述べた（＝**記号としての消費**）。

E　**オルテガ**（1883 ～ 1955 年，**スペイン**の哲学者）

著書『**大衆の反逆**』で，現代とは，自分が他人と同じであることを喜び，自己満足的で無気力な平均人が権力を握る，歴史上はじめての時代である，と述べた。

④先進国の豊かさと国家間格差

A　日本はＧＤＰ世界第３位の**経済大国**

B　**南北問題**

先進国と発展途上国との格差問題。

C　**南南問題**

発展途上国間での格差問題。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤難民問題と人権保障

1948年　世界人権宣言

1951年　**難民の地位に関する条約〔難民条約〕**

　　　　※経済難民，環境難民なども発生。

1965年　人種差別撤廃条約

1966年　国際人権規約

1981年　国際障害者年

1985年　国際青少年年

1986年　国際平和年

1989年　**子ども〔児童〕の権利条約**

1991年　**ＵＮＨＣＲ〔国連難民高等弁務官事務所〕**の高等弁務官に緒方貞子が就任

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第25講　倫理確認テスト

1　マスコミのつくり上げる世界を「疑似環境」と呼び，ステレオタイプな世論操作の危険性に警鐘を鳴らしたアメリカ人ジャーナリストとは？

①　ボールディング　②　ダニエル＝ベル

③　リップマン　④　ブーアスティン

2　以下のうち，ＳＮＳ〔ソーシャルネットワーキングサービス〕と関係のないものを一つ選べ。

①　ＬＩＮＥ　②　ツイッター　③　フェイスブック　④　ＳＯＨＯ

3「仮想現実」をカタカナで言った用語とはどれか？

①　パーソナルコミュニケーション　②　テクノクラート

③　メディアリテラシー　④　バーチャルリアリティ

4「いつでも，どこでも，誰とでもネットワークを通じて情報のやり取りができるコンピューター社会」を何というか？

①　ユビキタス社会　②　情報社会

③　男女共同参画社会　④　多文化共生社会

5　マルチカルチャリズムとは何のことか？

①　文化相対主義　②　多文化主義

③　自民族中心主義　④　構造主義

6　日本の抱える多文化への課題としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　アイヌ問題　②　沖縄問題

③　在日韓国人・朝鮮人問題　④　少子高齢化問題

7「非政府組織」をアルファベットで書くと何というか？

①　ＮＰＯ　②　ＮＧＯ　③　ＵＮＥＳＣＯ　④　ＵＮＨＣＲ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

8　未だ発効していない，1996年に調印された核軍縮系の条約とは？

①　部分的核実験禁止条約　　②　核拡散防止条約
③　包括的核実験禁止条約　　④　化学兵器禁止条約

9　官僚制〔ビューロクラシー〕の研究で有名な，ドイツの社会学者とは？

①　マックス＝ウェーバー　　②　ハンナ＝アーレント
③　フロム　　④　マルクーゼ

10　『大衆の反逆』を著し，現代社会を考察したスペイン人哲学者とは？

①　ボードリヤール　　②　オルテガ
③　リースマン　　④　ヴァイツゼッカー

解答

1	③	2	④	3	④	4	①	5	②
6	④	7	②	8	③	9	①	10	②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。